

令和5年度 一般会計歳出 15款 8項 2目 13節

期 間

工事完了年月日
令和6年3月15日

令和5年1月24日 提出

令和11年9月28日 まで

設 計 書

件 名 矢 向 小 学 校 仮 設 校 舎 賃 貸 借

設 置 場 所 横 浜 市 鶴 見 区 矢 向 三 丁 目 8 番 1 号

概 要

- ・ 仮設校舎等の設置工事
- ・ 仮設校舎等の賃貸借
- ・ 仮設校舎等の解体工事

理 由

矢向小学校建替えにおいて、令和6年度以降に予定している既存校舎解体工事に先立ち、工事中も学校運営を継続させるために仮設校舎の賃貸借契約を行います。

直接工事費 科目別内訳書				
名称	数量	単位	金額	備考
I. 設計・監理費	1	式		
II. 仮設校舎設置解体工事	1	式		
III. 諸経費	1	式		
IV. 貸借借料	1	式		
計				
消費税相当額				10%
総 計				

直接工事費 科目別内訳書				
名称	数量	単位	金額	備考
I. 設計・監理費 設計費（仮設許可、計画通知、手続含む） 工事監理費	1 1	式 式		
計				
II. 仮設校舎設置解体費 仮設校舎設置解体費 共通仮設費	1 1	式 式		
計				
III. 諸経費 諸経費（現場管理費、一般管理費、公租公課含む）	1	式		
計				
IV. 貸貸借料 貸貸借料	1	式		
計				
合 計				

直接工事費 科目別内訳書				
Ⅱ. 仮設校舎設置解体費				
名称	数量	単位	金額	備考
1. 一期工事 (仮設校舎、仮設渡り廊下、仮設倉庫)	1	式		
2. 二期工事 (内部改修)	1	式		
3. 解体工事 (仮設校舎、仮設渡り廊下、仮設倉庫)	1	式		
合 計				

直接工事費 科目別内訳書				
Ⅱ. 仮設校舎設置解体費 1. 一期工事				
名称	数量	単位	金額	備考
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
合 計				

直接工事費 科目別内訳書				
Ⅱ. 仮設校舎設置解体費 2. 二期工事				
名称	数量	単位	金額	備考
内部解体改修工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
合 計				

矢向小学校仮設校舎賃貸借 支出割合

(消費税及び地方消費税相当額を含む)

年度月	支出割合(%)	支払金額(円)
5年度	40.00	
3月	40.00	
6年度	10.00	
4月		
5月	2.50	
6月		
7月		
8月	2.50	
9月		
10月		
11月	2.50	
12月		
1月		
2月	2.50	
3月		
7年度	10.00	
4月		
5月	2.50	
6月		
7月		
8月	2.50	
9月		
10月		
11月	2.50	
12月		
1月		
2月	2.50	
3月		
8年度	10.00	
4月		
5月	2.50	
6月		
7月		
8月	2.50	
9月		
10月		
11月	2.50	
12月		
1月		
2月	2.50	
3月		
9年度	10.00	
4月		
5月	2.50	
6月		
7月		
8月	2.50	
9月		
10月		
11月	2.50	
12月		
1月		
2月	2.50	
3月		

10年度	10.00	
4月		
5月	2.50	
6月		
7月		
8月	2.50	
9月		
10月		
11月	2.50	
12月		
1月		
2月	2.50	
3月		
11年度	10.00	
4月		
5月		
6月		
7月	10.00	
8月		
9月		
合計	100.00	

矢向小学校仮設校舎賃貸借仕様書

横浜市教育委員会事務局教育施設課

第1章 総則

1-1 委託内容及び履行期限

仮設校舎の設計施工（法的手続き含む）、仮設校舎の賃貸借業務及び解体業務
契約締結日から令和11年9月28日
法定手続きとは下記内容を指す

- (1) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律に規定される書面の提出
- (2) 建築士法第24条の7の規定に基づく書面の提出
- (3) 建築士法第22条の3の3の規定に基づく書面の提出
- (4) 測量業務（現況測量データは有）、平板載荷試験、建築計画、設計、図面作成及び仮設校舎の建設に伴う官公庁等への手続き（建築基準法第85条第6項申請、建築基準法に規定する建築確認申請、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、横浜市福祉のまちづくり条例に適合、消防法等関係法令に規定する諸手続き等全て）を行なう。

1-2 工事概要書

設置場所	神奈川県横浜市鶴見区矢向3丁目8-1
主要用途	校舎（仮設校舎）・器具庫・仮設渡り廊下
工事延床面積	校舎（約950㎡） 器具庫（約20㎡） 渡り廊下（約23㎡）
構造・規模	校舎（軽量鉄骨造 3階建て） 器具庫（軽量鉄骨造 平屋建て） 仮設渡り廊下（軽量鉄骨造 平屋建て）
用途地域	第一種住居地域
防火地域	準防火地域

※賃貸借期間途中で、1階家庭科室をキッズクラブ室へ改修する工事並びに費用を見込むこと。

1-3 契約条件

使用期間 令和6年3月15日から令和11年3月31日まで

※使用期間の短縮又は延長及びそれに伴う契約期間の変更については、別途協議とする。

※使用期間終了後は、速やかに手続を行い、解体及び粗整地を行うこと。また、解体及び粗整地にかかる費用は本契約に含む。

1-4 適用範囲

当該工事にあたっては、本仕様書及び図面、特記仕様書に記載してある事項による。それらに記載されていない事項については、原則として受注金額の範囲内で市と協議し決定するものとする。

1-5 作成図書

設計にあたっては、関係法令を遵守すること。契約締結後、速やかに本仕様書及び特記仕様書、図面に基づき、詳細設計、申請資料等の作成を行い、事前相談・許認可申請等の手続きを受注者の責で完成させること。

受注者が作成する一般的な設計図書（以下、「設計図書」という。）は、仮設計画図、建築図、電気設備図、給排水衛生設備図、その他設備施工図、諸官庁提出図面（構造図、構造計

画書、計画通知)、その他必要図書とする。

1-6 使用材料等

原則として工事に使用する材料は、特記仕様書に定める品質及び性能を有する新品とする。
なお、アスベスト含有建材の使用は禁止する。

鉄骨製作にあたっては、品質確保の観点から自社工場での製作・整備・加工・出荷が可能であり、自社工場である旨、証明する書類を提出すること。

1-7 工事監理業務

受注者は工事監理者を任命し、計画通知に伴う建築基準法上等の着工前から完了までの検査及び諸手続きに関する以下監理業務を行う。また、以下の手続きについて写真を用いた書類を提出すること。

- (1) 着工前手続き
- (2) 施工計画等の確認、検査確認等、監理月報の作成、施工中手続き
- (3) 完了時手続き、検査立会等

1-8 施工前協議

施工前に、設計図書を市に提出し、市と協議を行うこと。

1-9 施工体制等

工事に際しては、関連法令等を遵守した上で施工管理体制を確立し、仮設計画、工事工程等について協議を行い、工程管理、安全対策、品質の確保等を適切に行わなければならない。また、工事車両の搬入は、事前に近隣住民に周知し、トラブルのないよう努め、周辺住民等への工事説明会開催時には必要な書類を作成し同席すること。

1-10 疑義

工事内容に疑義が生じたときには、市と協議を行い決定すること。

1-11 安全対策

工事施工中の安全確保に関しては、関係法令を遵守し、「建設工事公衆災害防止対策要領」に従い、工事の施工に伴う災害の防止に努めなければならない。また、工事に際しては、児童及び近隣住民の安全を確保すること。

第2章 施工計画

2-1 一般共通事項

- | | | |
|----------------|---------------------------------------|---|
| (1) 事前現場調査 | <input checked="" type="checkbox"/> 可 | <input type="checkbox"/> 不可 |
| (2) 官公庁その他への届出 | <input type="checkbox"/> 市 | <input checked="" type="checkbox"/> 受注者 |

2-2 仮設工事

- | | | |
|--------------|---------------------------------------|---|
| (1) 現場事務所 | <input checked="" type="checkbox"/> 要 | <input type="checkbox"/> 不要 |
| (2) 工事用仮設トイレ | <input checked="" type="checkbox"/> 要 | <input type="checkbox"/> 不要 |
| (3) 工事用水 | <input type="checkbox"/> 支給 | <input checked="" type="checkbox"/> 受注者負担 |
| (4) 工事用電力 | <input type="checkbox"/> 支給 | <input checked="" type="checkbox"/> 受注者負担 |
| (5) 仮囲い | <input checked="" type="checkbox"/> 要 | <input type="checkbox"/> 任意 (受注者が安全を確保) |
| (6) 交通整理員 | <input checked="" type="checkbox"/> 要 | <input type="checkbox"/> 任意 (受注者が安全を確保) |

2-3 土工事

- (1) GLは事前に高低差測量を行い協議の上決定する。
- (2) 建設発生土を含む発生材が生じた場合は、横浜市と協議の上、法に則って適切に処分すること。
- (3) 再生砕石の使用 可 不可
- (4) 地質調査資料の有無 有 無
- 受注者負担において平板載荷試験を実施し、構造耐力上必要な地耐力の確認及び不同沈下がおきない旨等の検討を行うこと。また、地盤改良等が必要な場合は別途横浜市と協議を行うこと。

2-4 本体工事

- (1) コンクリート強度は設計強度21N/mm²以上とする。
- (2) 床の積載荷重 建築基準法による 市構造基準による
- (3) 鉄骨製作工場の認定 自社規定による 要 (ISO9001 認証)
(書類提出 要)
- (4) 鉄骨錆止め塗装 建築工事標準仕様書を適用 自社規定による
- (5) 「公共建築物構造設計の用途係数基準」における用途係数は1.00とする。

2-5 仕上工事

- (1) 外部仕上材仕様 自社規定による 図面の仕上げ表による
- (2) 内部仕上材仕様 自社規定による 図面の仕上げ表による

2-6 その他

- (3) 地上障害物の処理 指定場所に移設 指定場所へ処分
受注者の責任において処分 別途協議
- (4) 地中障害物の処理 指定場所に移設 指定場所へ処分
受注者の責任において処分 別途協議
- (5) セキュリティシステム 別途加入 非加入
- (6) 清掃契約 有 無
- (7) 試験、製品検査 要 (公共建築工事標準仕様書に準拠) 自社規定による
- (8) ガス 要 不要
- (9) ケーブルテレビ 別途加入 非加入
- (10) プロバイダー (インターネット) 別途加入 非加入
- (11) 避難器具 要 (点検含む) 別途
- (12) 消防用設備 要 別途
- (13) 昇降機 要 不要
- (14) 受水槽 要 不要

第3章 設備

- 3-1 給水、排水、ガス、空調、電気、電話等を設置すること。
- 3-2 衛生器具等は事前に市と協議のうえ施工すること。
- 3-3 照明器具、コンセント位置及び弱電機器等は事前に市と協議のうえ施工すること

第4章 雑部

- 4-1 仕上ユニット等は、図面、標準図を参照し製作図等を作成の上、納入・設置を行うこと。

4-2 案内板・室内板については、名称を確認のうえ製作すること。

第5章 引渡検査

- 5-1 受注者は工事が完了したときは、必要な許認可手続を経たうえで、その旨を市に通知しなければならない。
- 5-2 市は完了の通知を受けたときは、すみやかに確認の検査を行う。検査に合格しない場合、受注者はその責において直ちに手直しを行い、再検査を受けるものとする。
- 5-3 検査に合格したときは、市はすみやかに引渡しを受けるものとする。
- 5-4 受注者は引渡し前に建物の内外にわたり十分に清掃を行うものとする。
- 5-5 引き渡しに際し受注者は、完成図、維持保全に関する資料、引渡し品（貸与品）、目録、諸官庁届出書、その他必要書類を市に提出する。

第6章 維持管理

受注者は、賃貸期間中、必要な保守点検（法定点検）を行うものとする。市は物件を注意して維持管理する義務を負う。各々費用負担する事項については次のとおりとし、その以外の事項については、その都度協議により決定する。

- | | | |
|-------------|----------------------------|------------------------------|
| (1) 公租公課 | <input type="checkbox"/> 市 | ■受注者 |
| (2) 火災保険 | <input type="checkbox"/> 市 | ■受注者 |
| (3) 法定点検 | ■市 | <input type="checkbox"/> 受注者 |
| (4) 各種消耗品 | ■市 | <input type="checkbox"/> 受注者 |
| (5) 電気料金 | ■市 | <input type="checkbox"/> 受注者 |
| (6) ガス料金 | ■市 | <input type="checkbox"/> 受注者 |
| (7) 上下水道使用料 | ■市 | <input type="checkbox"/> 受注者 |
| (8) 清掃 | ■市 | <input type="checkbox"/> 受注者 |
| (9) セキュリティ | ■市 | <input type="checkbox"/> 受注者 |
| (10) 保守点検 | <input type="checkbox"/> 市 | ■受注者 |

(法定点検)

第7章 工事上の疑義

工事内容に疑義が生じたときは市と協議を行い決定すること。

矢向小学校仮設校舎賃貸借特記仕様書

横浜市教育委員会事務局教育施設課

1 建物概要

(1) 名称

矢向小学校仮設校舎

(2) 設置場所

神奈川県横浜市鶴見区矢向3丁目8-1

(3) 構造規模等

仮設校舎：軽量鉄骨構造 3階建て

仮設渡り廊下：軽量鉄骨造 平屋建て

仮設器具庫：軽量鉄骨造 平屋建て

(4) 敷地面積

10,543.8 m²

(5) 建築面積

仮設校舎：約3,600 m²

器具庫：約200 m²

仮設渡り廊下：約230 m²

(6) 延床面積

仮設校舎：約9,500 m²

器具庫：約200 m²

仮設渡り廊下：— m²

2 一般共通事項

本工事は、この仕様書による他は原則「公共建築工事標準仕様書 建築工事編（最新版）」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）、「公共建築工事標準仕様書 機械設備工事編（最新版）」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）、「公共建築工事標準仕様書 電気設備工事編（最新版）」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）に準ずる。

3 建築工事

(1) 直接仮設工事

建築に係るやり方、墨出し・現寸型板、外部足場、安全手摺、防災養生シート、養生、清掃後片付け一式とする。

(2) 土工事

基礎工事等に係る既存舗装の解体、根切り、埋め戻し、残土処分、砕石地業一式とする。なお、残土は、市担当者との協議の上、法に則って適切に処分すること。アスファルトはリサイクル処分を行うこと。

(3) コンクリート工事

基礎工事等に係るコンクリートの材料及び打設手間及び運搬費一式とする。

(4) 型枠工事

基礎工事等のコンクリート設置に係る型枠損料及び運搬費一式とする。

(5) 鉄筋工事

基礎工事等に使用する材料、加工手間、運搬費一式とする。使用するコンクリート用棒 D10～D16 については、SD295A、D19 以上は SD345 とする。

(6) 鉄骨工事

鉄骨建物本体等に使用する鉄骨等の材料は工場加工費、運搬費、鉄骨建て方費、建て方に使用する重機の損料、錆び止め塗装費等一式とする。なお、鉄骨断面等は構造計算により安全を確かめるものとする。

(7) 木工事

建具廻りの枠等一式

(8) 金属工事

壁下地軽鉄、天井下地軽鉄、天井点検口及び切り込み補強一式とする。

(9) 左官工事

雑部のモルタル塗り等一式とする。

(10) 外部建具工事

外部に面する建具とその金物一式とする。原則、建具はアルミ製とする。なお、出入り口については鍵付きとする。外部に面する建具には、カーテンを設置すること。

(11) 内部建具工事

内部に面する建具とその金物一式とする。なお、普通教室、図工室、家庭科室、倉庫の出入り口については鍵付きとする。

(12) ガラス工事

建具に使用するガラス、ガラスシーリング及びガラスクリーニング一式とする。原則強化透明4mmとし、一部協議により型板ガラスとする。

(13) 塗装工事

図面に記載のある仕様と同等以上の塗装一式とする。

(14) 内装工事

図面に記載のある仕様と同等以上の床、壁、天井、巾木、廻り縁材等一式とする。

(15) 仕上げ・ユニット工事

整備項目は図面に記載のある備品リスト内の工事区分の備品とし、必要に応じて転倒防止措置を施すこと。各備品リストの仕様（寸法、材質、機能）は「横浜市小・中学校標準図 G95 型 12 改（G家具）（令和2年2月）」を参照のうえ、市と協議し決定すること。なお、キッズクラブ、図工室については添付の図面を参照すること。

普通教室には着替え用の間仕切カーテンを教室中央に設けること。

(16) その他

解体時については、現況復旧、整地は粗整地とする。

本建物で使用する材料は原則規制対象外又はF☆☆☆☆とするとともにアスベスト非含有とする。

建具には原則として指挟み防止の措置を行うこと。

横浜市福祉のまちづくり条例の整備基準に適合するよう整備すること。

施工完了後、「横浜市建築局所管工事揮発性有機化合物（VOC）等の室内濃度測定マニュアル」に従いVOC測定を行い、報告書を提出すること。

4 電気設備工事

電気設備工事の実施設計における性能基準及び性能技術基準は、原則として「建築設備設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修 最新版）」（以下「設計基準」という。）に準拠し、次の設備を施設すること。

なお、原則として電線、ケーブル類はエコケーブルとする。

(1) 電力引込設備

- ア 仮設校舎の電気引込み先は、横浜市と協議の上決定すること。
- イ 高圧引込みが発生する場合については、波及事故防止装置付き区分開閉器を設置すること。

(2) 受変電設備

- ア 受変電設備は既存キュービクルの改修または仮設用屋外キュービクル式等を想定している。
(消防認定品、ただし消防との事前協議により承諾を受ければ消防認定同等品でもよい)。
- イ 受変電基礎を耐震震度 1.0G 以上とすること。
- ウ 設置場所は市担当者と協議の上で設置すること。
- エ キュービクル式屋外受変電設備を設置する場合はネットフェンス H1800 以上で関係法令に従うかたちで囲うこと。
- オ トランスの騒音、振動に配慮すること。

(3) 幹線設備

- ア 仮設校舎の電灯までの配管・配線及び機器の取付け一式とする。
- イ 幹線は人が触れないよう敷設すること。
- ウ 電灯分電盤のうち消防設備用電源、機械警備用電源等の特定遮断器は配線用遮断器で整備できるものとする。
- エ 漏電火災警報器は、消防関係法令に基づき設置対象となった場合のみ整備すること。

(4) 動力設備・電灯・コンセント設備

(動力)

- ア 各階空調、衛生、消火機器等への電力供給のため、動力盤を設置し、二次側配線工事を行うこと。

(電灯・コンセント)

- ア 各階に分電盤、各室に配電盤を設けること。
- イ 屋外、水回りに設置するコンセント回路用分岐開閉器は ELB とすること。
- ウ 標準図により必要諸室にコンセントを設けること。また、位置に関しては市担当者と協議の上決定する。

- エ 屋外、水回りに設置するコンセントは防水仕様とすること。
- オ コンセントは口数を満たすと共に、調査の上容量を満たすこと。
- カ 電灯等スイッチ類は各室、昇降口、廊下等適切な箇所設置すること。
- キ 照明器具の設置箇所は、建物内、玄関周り及び屋外動線付近の外壁とし、屋外動線の照度が外壁灯では不十分な場合、別途外灯または、投光器を設置して、夜間の照度を確保すること。
また、スイッチ類は居室、昇降口、廊下等で適切な箇所設置すること。
- ク 請負者は、接地抵抗・絶縁抵抗・照度測定、作動試験等の必要な各種試験測定を行い、報告書にまとめて提出すること。
- ケ 照度基準については、J I S 基準及び設計基準に準拠するものとするが、概ねの設計照度は次のとおりとする。

(ア) 教室 : 500lx 以上

(イ) 玄関、廊下、トイレ等 : 100lx 以上

- コ 照明器具については、ランニングコスト削減を図るため LED 照明とする。また、日常の教

育に支障がないよう必要な台数を設置すること。

(5) 電話設備

- ア MDF から各諸室までの配管・配線を行うこと。
- イ 必要に応じて関係機関と協議を行うこと。

(6) テレビ共聴設備

- ア 放送室からの映像がテレビ設置室にて視聴可能とすること。

(7) 情報通信用配管・配線設備

- ア 職員室から各居室まで光ケーブル用配管・配線を行うこと。
- イ 工事は市担当者及びその指定業者と十分に協議を行うこと。
- ウ 今回の仮設校舎建設に伴い、必要となる居室の LAN 設備として、インターネット環境へ接続できる設備（配線等）一式を敷設すること。

(8) 防災設備

防災設備は法令に基づき施設すること。

(9) 放送設備

- ア 既存校舎からの一般放送が可能なように、配線、配管を行うこと。
- イ 各居室及び廊下にスピーカー設置し、配線・配管を行う。

(10) インターホン設備

- ア キッズクラブ用の親機をあらかじめ 1 期工事にて見込んでおくこと。
- イ キッズクラブ用の位置、仕様は施設管理者及び市担当者との協議の上決定する。
- ウ 既存門扉にあるインターホンと親機の接続を行う。

(11) 機械警備設備

- ア 機械警備設備配線用の空配管設置を行う。
- イ 工事は市担当者及びその指定業者と十分に協議を行うこと。

(12) 電気錠設備工事

- ア キッズクラブ用の電気錠制御盤の設置及び既存門扉にある電気錠との接続を行う。

(13) その他

その他関係法令等で設置義務が生じる設備については、本工事において施設すること。

5 給排水設備工事

(1) 給水・給湯設備

- ア 給水設備は既存校舎からの分岐または、新規取り出しを想定している。
- イ 水道メーター設置は本工事とすること。
- ウ ガス給湯形式により、各必要諸室への給湯設備及び配管を行うこと。
- エ 給水配管は H1VP 管、給湯管は HL 管とし、原則保温を設置する。
- オ 水道管は増圧直結方式とする。
- カ 手続に要する費用および申請事務費、水道加入金は本工事に含むものとする。
- キ 給水設備の工事は、神奈川県県営上水道条例に基づいた設計を行い、申請及び施工は「指定給水装置工事事業者」が行うものとする。

(2) 排水・通気設備

- ア 汚水排水は、既存汚水桝に接続する。ただし、現地調査の上、既存排水管及び公設桝が利用不可の場合、必要に応じて新設する。

- イ 契約終了時には、現状に復旧すること。
- ウ 下水道本管との接続は、自然流下を原則とするが、構造的に不可能な場合は、中継用汚水槽を設けポンプによる排水も可とする。
- エ 原則、配管種はVP管とすること。
- オ 汚水・排水管の必要な箇所には有効な通気管を設け、3階まで立上げて外部まで開放する。
- カ 汚水・排水設備の工事は、横浜市下水道条例に基づいた設計を行い、申請及び施工は「下水道指定工事店」が行うものとする。
- キ 手続に要する費用および申請事務手数料は工事に含むものとする。

(3) 雨水排水設備

樋桶からの雨水を枡で受け、雨水設備（側溝等）に接続する。

(4) 衛生器具設備

- ア 各階、各部必要な箇所に手洗所を設ける。（別図による）
- イ 大便器、小便器は節水型とすること。
- ウ 各手洗所の水栓形状はレバー水栓とする。
- エ 紙巻器は各便器に2箇所設置すること。
- オ 手洗所には洗面器、水石鹸入れを設置すること。
- カ 手洗所前には流し台を設けること。

6 空気調和設備工事

(1) 空調調和設備

- ア 標準図に伴う必要諸室に仮設の空冷ヒートポンプエアコン(リース)を設置する。
- イ 仕様は新冷媒・天井吊型・インバーター形式とする。
- ウ 能力は各室で冷房 200[W/m²]以上、暖房 220[W/m²]以上とし、能力上不足となる恐れのある箇所に関しては設備を上げるなど考慮すること。
- エ 室外機はガード付きとし、外部に設置すること。さらに、児童が直接手を触れることが可能な場所に室外機を設置する場合は防護フェンス等を設置すること。
- オ リモコンは教室内入口付近の学校が指定する場所に設置する。
- カ 冷媒管の保温厚さはガス管 20 mm以上、液管 10 mm以上とする。

(2) 換気設備

- ア 各居室必要箇所に換気扇を設けること。
- イ 3階天井裏には夏季の熱射対策として、屋根裏換気を確保すること。
- ウ 換気扇の外部に雨等の吹込み対策を講じること。
- エ 換気は24H換気に対応したものとする。

7 ガス設備工事

- ア 都市ガスを引き込むこと。
- イ 家庭科室へ供給すること。
- ウ ガス会社の仕様とすること。

8 消火設備

消火設備の設置については、所管消防署と十分協議し、必要な手続きを行うこと。

9 外構その他工事

- ア 仮設校舎建設に伴い、支障となる複合遊具・鉄棒（一部）・砂場の撤去・整地を行う。

10 解体工事

- ア 仮設校舎建設前の原状に復旧すること。(範囲仕様は発注者と協議の上)
- イ グラウンドは粗整地程度とする。

11 リース備品の設置

- ア 標準図を参考に実施設計段階で実地調査を行いリースで対応する備品について横浜市教育委員会、建築局、学校と十分に精査すること。精査の結果、不足する備品はリース対応とすること。
- イ 設備機器に必要な電気・給排水・ガスの引きこみ・接続工事は本件に含むこと。
- ウ リース備品の配置場所については各関係者と協議を行い決定すること。また、備品設置のため床壁、天井内補強等を本工事に含むこと。

12 キッズクラブの整備(2期工事)(令和7年3月工事予定)

- ア 外部に面したサッシには網戸を設置する。
- イ モニター付きインターホン及び電気錠操作盤を学校用とは別に家庭科室内に設け、キッズクラブにて門扉からの呼び出しに応答及び門扉の開錠を可能とするために既存の門扉設置されているインターホンと電気錠と接続すること。
- ウ 家庭科室内にて使用した備品類は一部撤去とし、キッズクラブ用ロッカーを新設すること。(図面参照)
- エ 家庭科室内で利用した、流し台、洗濯パンはそのままキッズクラブでも使用することとする。
- オ 家庭科室内の備品撤去後のビス穴等の補修をおこなうこと。

13 安全対策

- ア 工事中は安全面における責任者を常駐させ、災害危険防止に対し十分な対策を考慮すること。
- イ 仮設計画については安全に留意した仮設計画とする。
- ウ 仮囲いは H2.0m 程度の万能鋼板とすること。また、南東側東門には車両ゲートとしてアルミ製門扉を設置すること。(図面参照)
- エ 仮囲い、車両ゲートは各関係者と協議を行うこと。
- オ 工事車両の誘導及び歩行者、児童の安全に努めると共に、外周道路を汚さないよう工事敷地内に鉄板等を敷設すること。(図面参照)
- カ 本建物建設中は緊急連絡体制を確立し常時連絡可能にしておくこと。

14 法令順守

- ア 関係法令、指導通達及び計画通知等における指導を遵守すること。
- イ 本建物は建築基準法 85 条 6 項の仮設建築物であるが、ロ-2) 準耐火建築物の要件を満たすよう施設計画をおこなうこと。
- ウ 防火上主要間仕切り壁については、建築基準法 85 条 6 項における緩和対象がとして、本案件の施設計画をおこなうこと。
- エ その他、法令に関する部分で施工図と計画通知図が異なる場合は、計画通知図を優先とすること。

15 その他条件

(1) 建具

- ア 2、3 階各室の外部建具は、転落防止のため窓下端を FL+1,200 以上の高さとする。
- イ 各教室の廊下側に欄間を設け、通風、換気及び採光に配慮すること。
- ウ 出入口の扉は、全て管理用の鍵付きとすること。鍵の区分としては各関係者と協議の上、

決定すること。

エ 各居室の窓にはカーテンの設置を行うこと。

(2) 安全配慮

ア 構造物、リース備品等は出隅部を面取りした形状とし、止むを得ず角状となる場合はコーナーガード部材等を設置すること。

イ 耐久性に考慮し使用するデッキプレートについては厚 1.6、溶融亜鉛めっき仕上げとする。

ウ 各諸室の外部建具（窓）には、落下防止のため外れ留め対策を設置すること。

エ 内部引戸については、指詰め防止策を講じること。

オ 外部建具には戸当りや、指挟み防止等の安全対策を講じること。

カ 廊下とトイレ等の床は防滑性の材質とすること。

キ 安全上の配慮が必要と思われる箇所には開放制限を行うこと。

(3) その他

ア 仮設校舎建設のための仮囲いについては、市担当者と協議の上位置等を決定すること。
また、工事進捗に応じて、盛替えること。

イ 渡り廊下には、防砂・防雨に備えて、カーテン式の透過性のある養生シートを施工すること。

ウ 建物出入口（玄関、キッズルーム出入口等）には庇を設けること。

エ 建物を大きさは既存埋設管の関係や、敷地状況を考慮し、建物桁側寸法については、図面の寸法を遵守すること。

オ 本仕様書に疑義が生じた場合、市担当者と協議の上決定する。

室内空気中の化学物質の抑制に関する特記仕様書

1 建築材料等の使用制限の原則

建築材料等の使用制限の原則は、以下のとおりとする。ただし、該当する材料がない等の事由により、本原則によりがたい場合の措置は協議による。

(1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブスチレンを発散する材料については、F☆☆☆☆とする。やむを得ず、F☆☆☆☆又はその同等品（旧JAS 又は旧JIS におけるFco、Eco を含む。）とする場合は、あらかじめ市担当者の承諾を得ること。

対策をとる建築材料等

- ・ 合板・木質系フローリング・構造用パネル・集成材・単板積層材・MDF
- ・ パーティクルボード・その他の木質建材
- ・ 家具・書架・その他の什器等(合板類、接着剤及び塗料を使用する場合)
- ・ ユリア樹脂板
- ・ 壁紙
- ・ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び巾木等に使用する接着剤
- ・ 保温材・緩衝材・断熱材
- ・ 塗料
- ・ 仕上塗材

(2) トルエン、キシレン及びエチルベンゼン（以下「トルエン等」という。）を含有する塗料及び接着剤についてはトルエン等の含有量が少ない規格品とする。

対策をとる建築材料等

- ・ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び巾木等に使用する接着剤
- ・ 塗料
- ・ 溶剤

(3) クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノブカルブを含有しない非有機リン系の防腐・防蟻剤とし、加圧式防腐、防蟻処理等は工場で行い、十分に乾燥した後に現場に搬入する。

対策をとる建築材料等

- ・ 木材保存（木材の防腐・防蟻処理）剤

(4) フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない、難揮発性の可塑剤を使用している接着剤とする。

対策をとる建築材料等

- ・ 壁紙用接着剤（規格品とする）
- ・ 木工用接着剤

2 施工中の安全管理

接着剤及び塗料の塗布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させる。

3 測定

次により、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、市担当者に報告する。

- ・ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド

※ D N P H誘導体固層吸着／溶媒抽出－高速液体クロマトグラフ法

- ・ 検知管法
- ・ 定電位電解法

- ・トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン

※ 固層吸着／溶媒抽出法－ガスクロマトグラフ／質量分析法

- ・ 固層吸着／加熱脱着法－ガスクロマトグラフ／質量分析法
- ・ 容器採取－ガスクロマトグラフ／質量分析法

- ・測定対象室及び箇所数

室名	箇所数	回数／時期
普通教室、家庭科室、 図工室	4カ所	各1回／引渡前

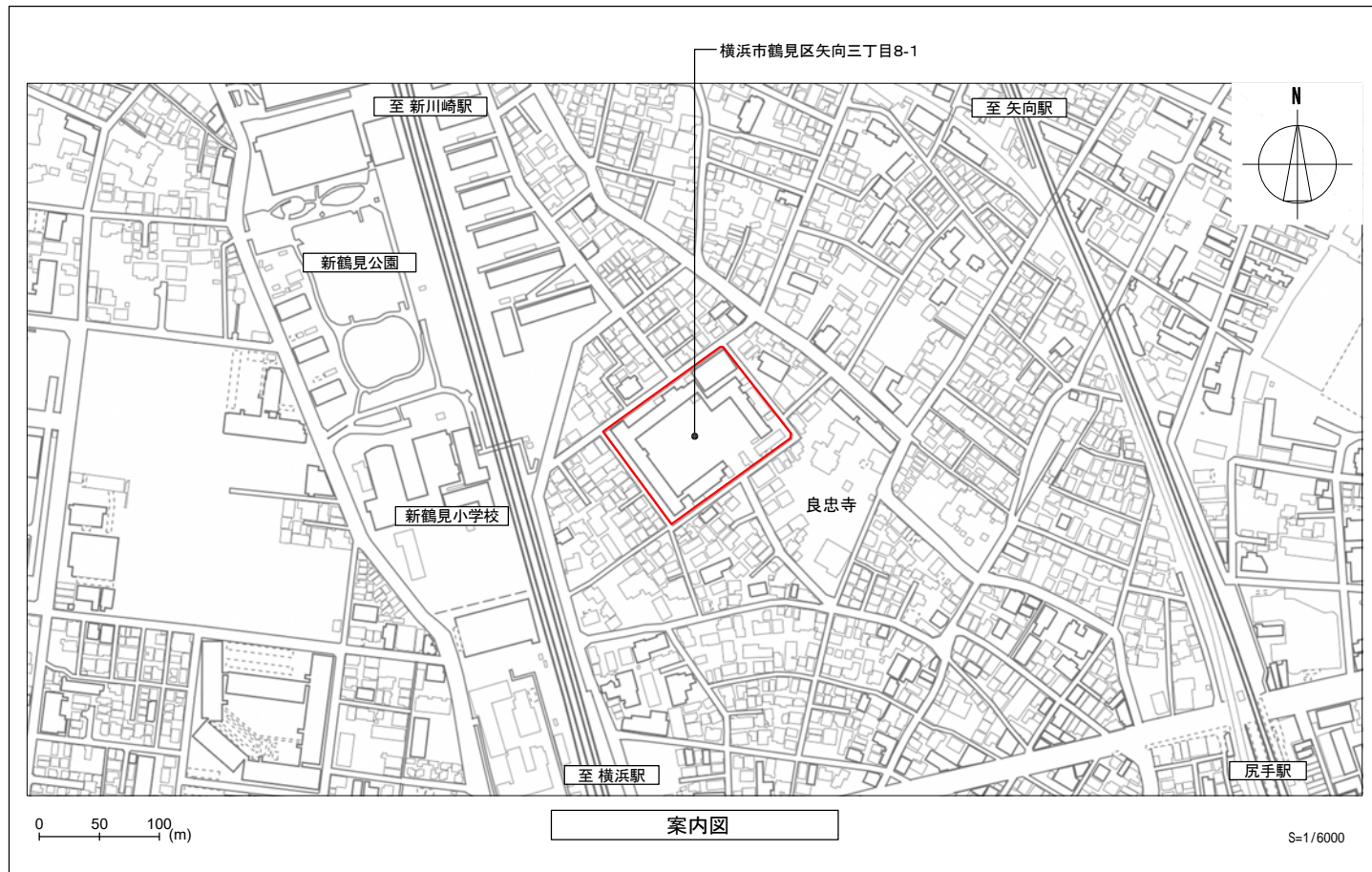
- ・空気資料の採取方法等

空気資料の採取方法等は、原則として厚生労働省から示されている「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」による。ただし、本工事に適用困難な部分については、市担当者と協議による。なお、簡易な測定方法による場合は、採取した測定機器の特性等を考慮して、市担当者と協議の上、計画書に定める。

4 測定後の措置等

測定の結果、厚生労働省の指針値を上回った場合の措置は、市担当者の指示による。

測定対象化学物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）
ホルムアルデヒド	0.08 ppm (100 μg/l)
アセトアルデヒド	0.03 ppm (48 μg/l)
トルエン	0.07 ppm (260 μg/l)
キシレン	0.20 ppm (870 μg/l)
エチルベンゼン	0.88 ppm (3,800 μg/l)
スチレン	0.05 ppm (220 μg/l)
パラジクロロベンゼン	0.04 ppm (240 μg/l)



■設計概要(仮設校舎棟)

注意事項: ●印をつけたものを適用する。

一般事項	工事名称	矢向小学校仮設校舎賃借	契約区分	○ 本設 ● 仮設	
	建設地	神奈川県横浜市鶴見区矢向3丁目8-1	用途・仕様	小学校 準耐火建築物ロ-2	
	地域指定	用途指定 第1種住居地域(60/200)	その他指定	第4種高度地区、緑化地域、法22条区域、日影(10mを超える建築物/4m/4h/2.5h)	
建物概要(参考)	規模	防火指定	○ 防火地域 ● 準防火地域 ○ 指定なし	景観計画区域	
		階数	3	軒高	設計GL+11.710m
		建築面積	(仮設校舎)10.125×30.680+2.7×7.275=330.27㎡ (屋外階段)3.675×6.900=25.35㎡ (仮設校舎合計)355.62㎡	延床面積	(1階)10.125×30.680+2.7×7.275=330.27㎡ (2階)10.125×30.680=310.63㎡ (3階)10.125×30.680=310.63㎡ (仮設校舎合計)951.53㎡
		最高高さ	設計GL+12.210m	屋根勾配	1/90(片流れ)
構造概要	躯体	軽量鉄骨造(ブレース)	地耐力	30 kN/m ² (● 長期 ○ 仮定)	
		基礎形式	● 鉄筋コンクリート布基礎 ○ H鋼基礎	積雪	30cm(600N/m ²)
内部軸組	1階床	床パネル(合板 t=12 根太:90x90/3@300)、大引: C-75x45x15x2.3@900	内壁	軽鉄軸組 ● 延焼の恐れのある部分(小屋裏まで立上げ)	
		合板 t=12、スタイロフォーム t=40、デッキプレート t=1.6 EZ-50、大引: C-75x45x15x2.3@900	● 有 ○ 無	● その他(天井面まで)	
		木杭φ900 ● 鋼製束	間仕切壁	○ 壁パネル(OSパネル)t=40、内側・外側)カー鉄板 t=0.27、内部)ウレタンフォーム充填	
		● 防湿フィルム t=0.075	○ 壁パネル(普通ISパネル)t=22、内側・外側)カー鉄板 t=0.35、内部)ウレタンフォーム充填		
2、3階床	● 合板 t=12、スタイロフォーム t=30、石膏ボード t=9.5、デッキプレート t=1.6 EZ-50 (告示1358号)	天井	● グラスウール敷込み t=50(24kg/m ² 品)(1・2階のみ)		
		● 有 ○ 無	○ 天井パネル:カー合板 t=2.5、鋼製野縁:LpH-75x90x15x2.0		
		● 鋼製束	● 軽鉄軸組 (● 防火上主要な間仕切り壁(小屋裏まで) ● その他)		
		○ 再生砕石 t=100、盛土			
外部仕上(参考)	屋根	● 二重折板断熱工法(はたらき幅450)(屋根勾配:1/90)	天井	○ 鋼製階段 有効巾:1400 蹴上げ:160 踏面:260	
		上弦材:ガルバリウム鋼板 t=0.6 H=161、断熱材:グラスウール(10kg/m ² 品 t=100)、	● 有 ○ 無	手摺: ● 両側1段(H=800 踊り場連続) ○ 片側1段(H=、)	
		下弦材:ガルバリウム鋼板 t=0.6 H=161	● 鋼製 ○ 木製	● 塩ビ製 ○ 鋼製	
		○ 折板葺き:ガルバリウム鋼板 t=0.6 H=161(キャップ式)ルーフィング	外巾木	● コンクリート打放しの上、モルタル補修程度	
外壁	○ 外壁パネル(OSパネル)t=40、内側・外側)カー鉄板 t=0.27、内部)ウレタンフォーム充填	裏面:無機質高充填 フォームプラスチック=4貼(屋内部分のみ)	ポーチ	○ 鋼製踏み段 ● アルミ製手摺(H=800)	
		● 外壁パネル(不燃ISパネル)t=35、内側・外側)カー鉄板 t=0.5、内部)ポリイソシアレートフォーム充填	● 有 ○ 無	● 土間コンクリート t=100(● 金ゴテ押え ○ 刷毛引き(スロ-部))	
		● 窯業系サイディング t=16(延焼のおそれのある部分)(鋼製鋼線)		WM6 φ-150x150、再生砕石 t=100	
				○ 合板 t=12、木製下地	
板金	● 水切:カーガルバリウム鋼板 t=0.35	● 棟押え:ガルバリウム鋼板 t=0.8、エドロン戸:ガルバリウム鋼板 t=0.5、止水面戸:カーガルバリウム鋼板 t=0.35	屋外階段	鋼製階段 有効巾:1400 蹴上げ:160 踏面:260	
		○ 鼻隠し:カーガルバリウム鋼板 t=0.5 (○ H=300 ○ H=450)	● 有 ○ 無	手摺: ● 両側1段(H=800 踊り場連続) ※転落防止措置はH=1,200以上とすること	
		● 軒先面戸: ● 二重折板用カーガルバリウム鋼板 t=0.35(普通面戸)	塗装	● 鉄部:錆止め塗装(JIS K 5621 2種)(F☆☆☆☆)1回塗り	
		○ カーガルバリウム鋼板 t=0.35(換気面戸)	● 有 ○ 無	● 見掛り部:珪藻土系樹脂エポキシ塗装(F☆☆☆☆)	
外構工事	舗装	○ 透水型アスファルト舗装	フェンス	○ 緑石	
		○ 花壇	門扉	○ 植樹	
		○ 植樹	U字溝	○ 植樹	
		○ 植樹	U字溝	○ 植樹	

設備概要	電気設備				機械設備				消防設備:小学校 別表(7)項 (各階無窓階)			
	工事項目	含む	別途	無	工事項目	含む	別途	無	工事項目	含む	別途	無
	受変電				給排水				消火器			
	幹線				衛生				誘導標識			
特記事項	● 法第28条の2の建築材料及び換気設備は政令で定める技術的基準に適合するものとする。				● 消防設備等は着工届及び設置届提出の際に再度審査とする。							
	● 内装材は下地・仕上F☆☆☆☆又は規制対象外とする。天井裏等はF☆☆☆☆以上とする。				● カーテン等は防火物品を使用する。							
	● 接着剤・内部建具・キッチン・家具はF☆☆☆☆とする。				● 全ての室に室名札(差換式)を設置。							
	● 使用建築材料はすべてノンアスベスト製品とする。				● 衝突のおそれのある部分や鋭角部はゴムカバー等で保護する。(H=1,500程度まで)							

■設計概要(仮設物置)(一般事項は仮設校舎棟に準ずる)

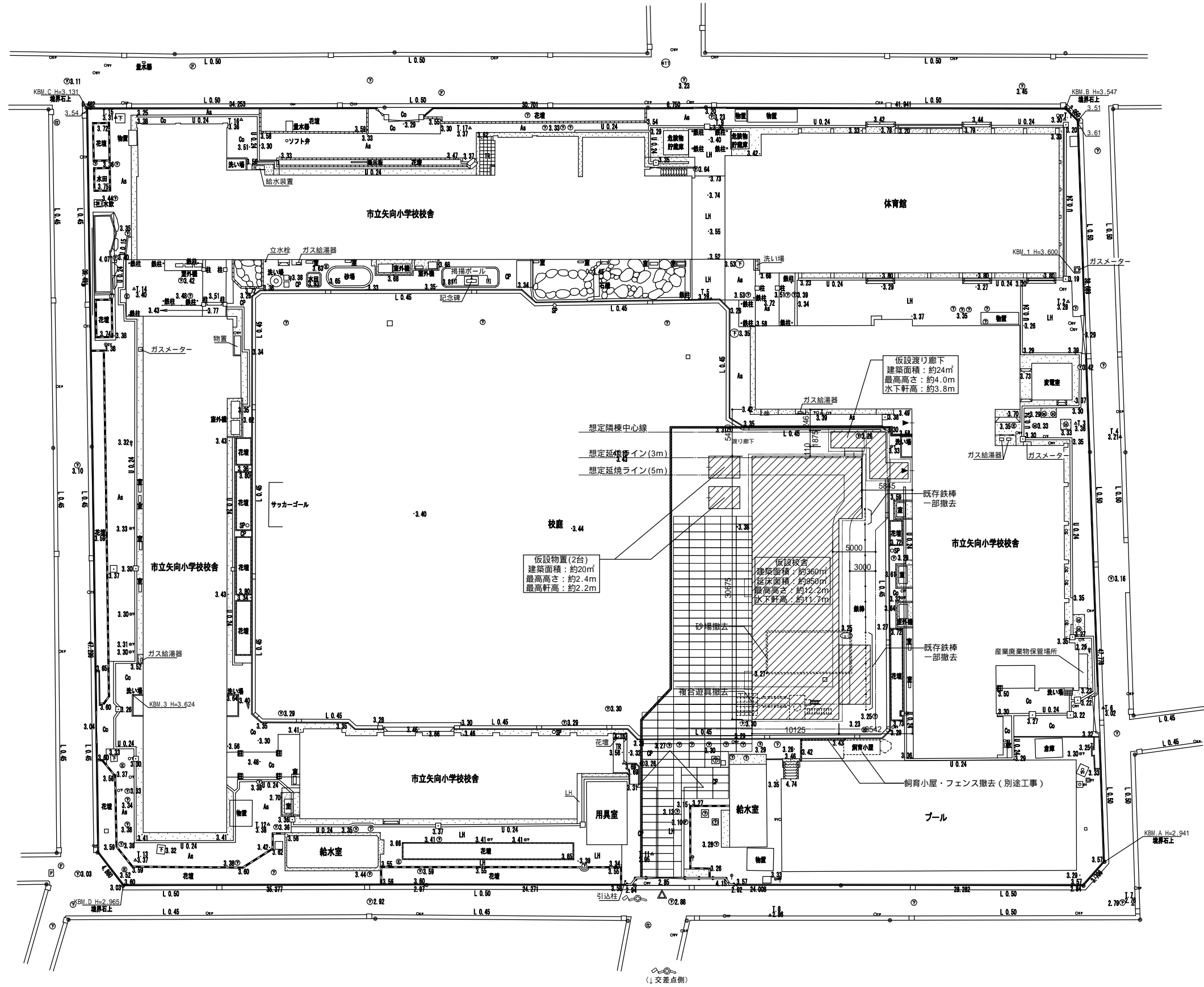
注意事項: ●印をつけたものを適用する。

建物概要(参考)	規模	階数	1	最高高さ	設計GL+2.355m	軒高	設計GL+2.210m	棟数	2棟	
構造概要	躯体	建築面積	(3.615×2.564)×2=18.54		延床面積	(3.615×2.564)×2=18.54				
		基礎形式	● 土間コンクリート t=120(● 金ゴテ押え ○ 刷毛引き)		内壁ふかし	○ 有 ● 無		間仕切壁		
外部仕上(参考)	屋根	● 7mm亜鉛合金めっき鋼板(H12建告第1365号、H12建告第1400号)		天井	屋根裏表し		その他			
		外壁	● 7mm亜鉛合金めっき鋼板		※3'物置ELMD(S)-253H型同等					
		扉	● 7mm亜鉛合金めっき鋼板 t=0.8							

■設計概要(渡り廊下棟)(一般事項は仮設校舎棟に準ずる)

注意事項: ●印をつけたものを適用する。

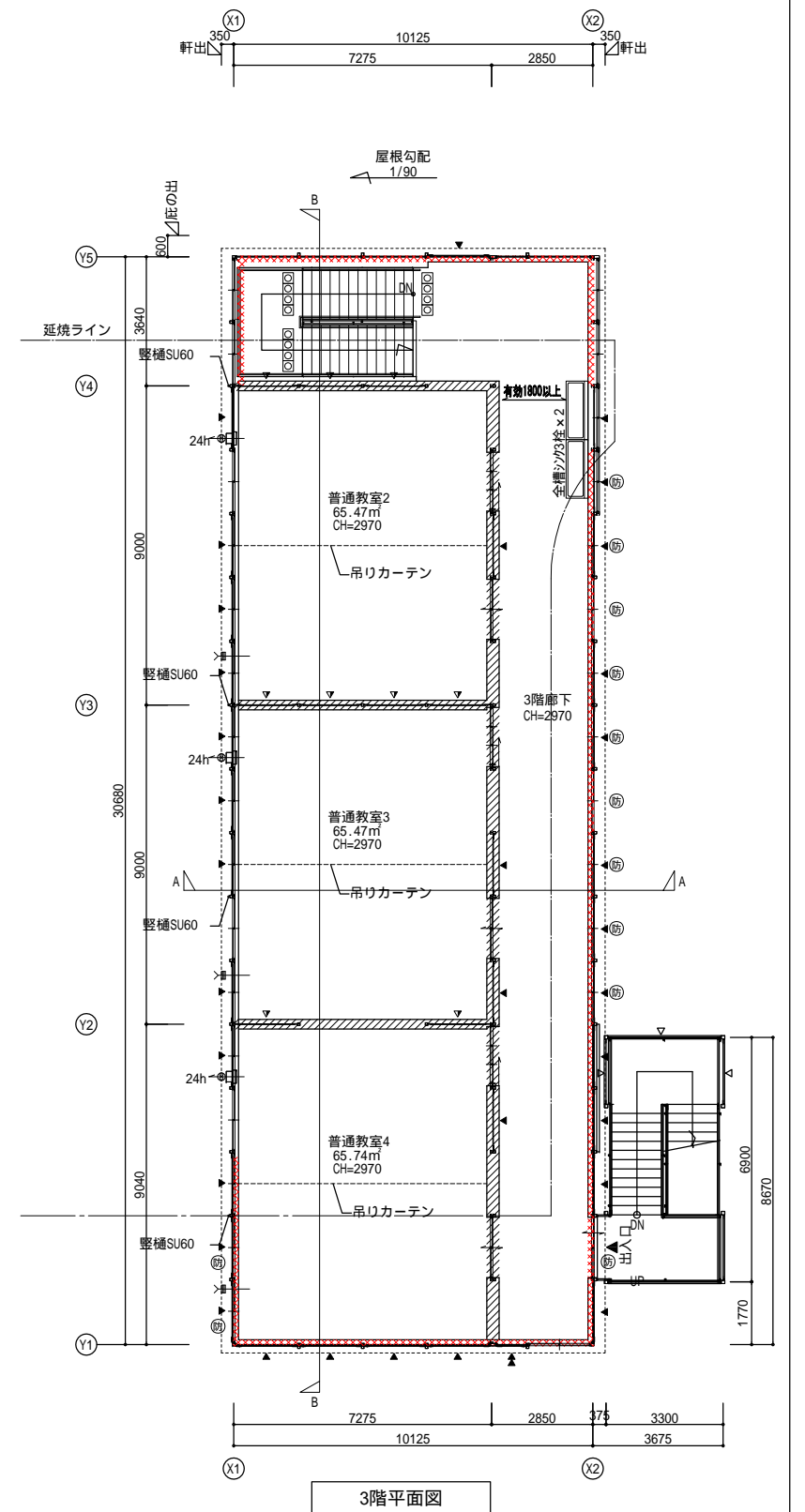
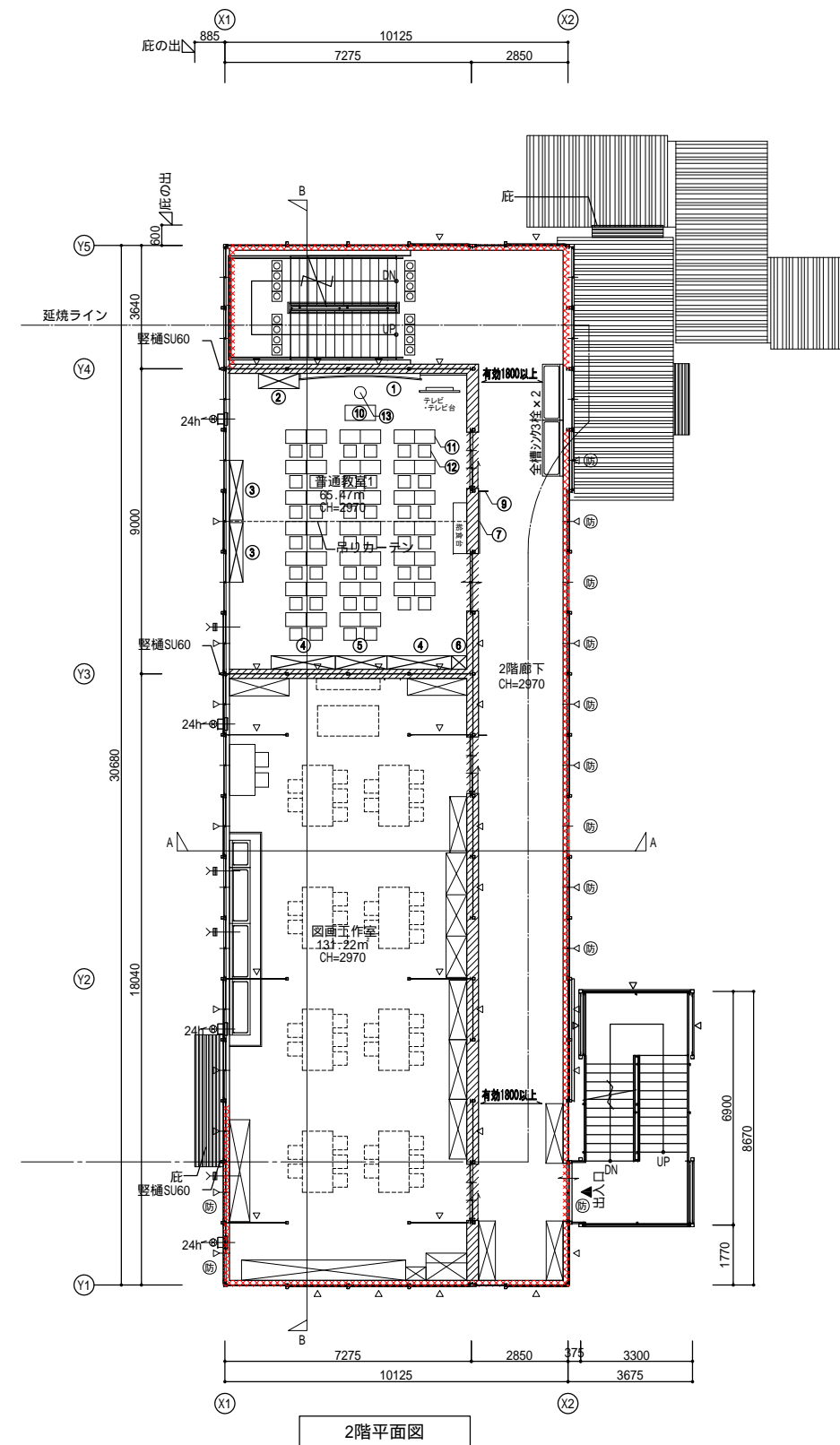
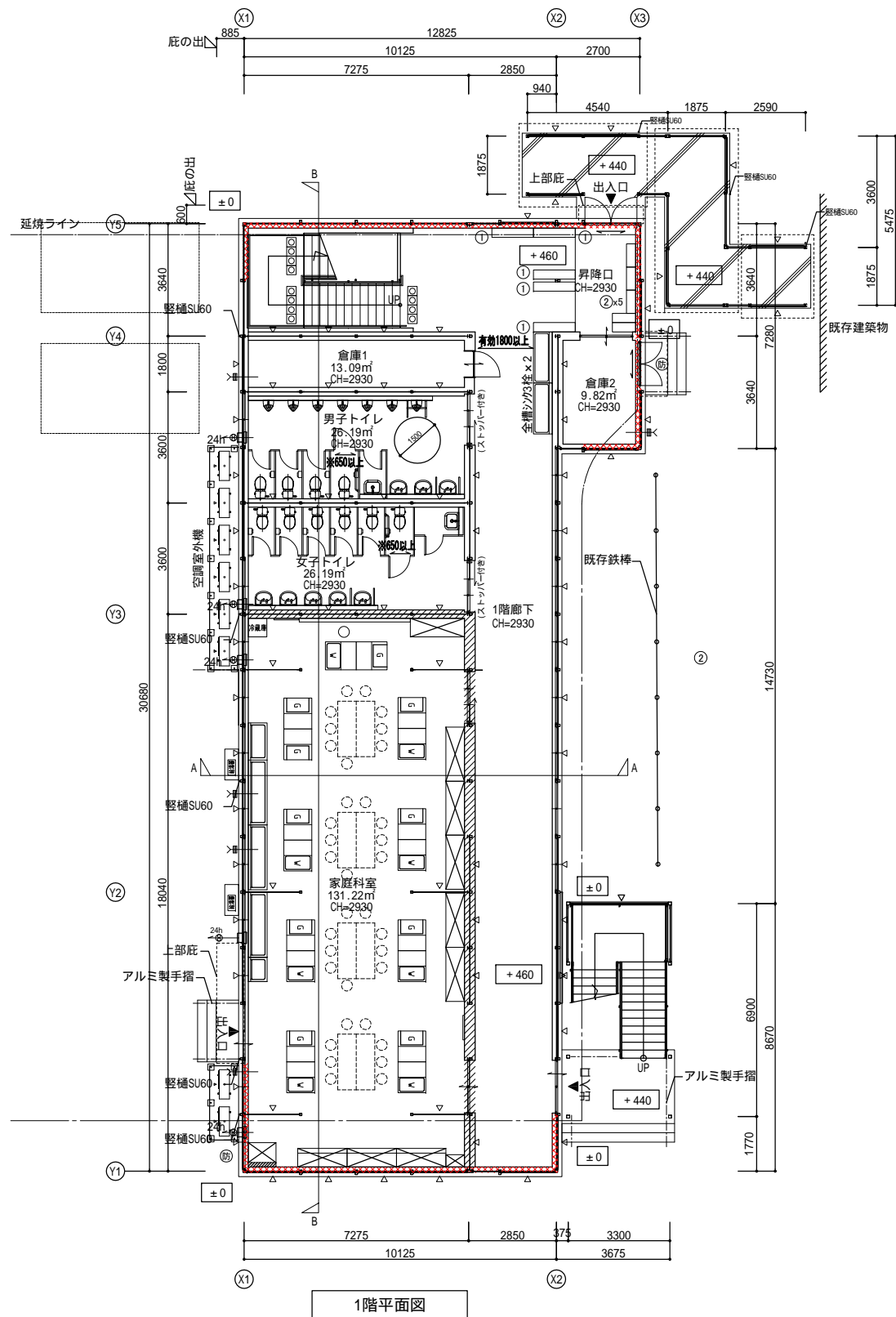
建物概要(参考)	規模	階数	1	最高高さ	設計GL+3.965m	軒高	設計GL+3.765m	屋根勾配	1/90(片流れ)
構造概要	躯体	建築面積	1.875×4.540+1.875×5.475+1.875×2.590=23.63㎡		延床面積	0.00㎡			
		基礎形式	● 鉄筋コンクリート布基礎 ○ 鉄筋コンクリートH基礎		床荷重	-		積雪	
内部軸組	床	● 土間コンクリート t=120(● 金ゴテ押え ○ 刷毛引き)		内壁ふかし	○ 有 ● 無		間仕切壁		
		WM6 φ-150x150、再生砕石 t=100、盛土		天井	屋根裏表し				
外部仕上(参考)	屋根	● 折板:ガルバリウム鋼板 t=0.6 H=161(キャップ式)、裏面:無機質高充填 フォームプラスチック=4貼(屋内部分のみ)		板金	● 水切:カーガルバリウム鋼板 t=0.35 ● クラパ込み:ガルバリウム鋼板 t=0.6		● 軒先面戸:カーガルバリウム鋼板 t=0.35(換気面戸)		
				庇	○ ガルバリウム鋼板 t=0.6 H=88(木製式)、鉄骨下地		○ 有 ● 無		
				その他	○ 雨水浸透枳 ○ 手摺:両側1段 H= (スロ-部)		※使用する材料は全て石綿・クロロビリスを含まないものとする。		
塗装	● 鉄部:錆止め塗装(JIS K 5621 2種)(F☆☆☆☆)1回塗り 見掛り部:珪藻土系樹脂エポキシ塗装(F☆☆☆☆)								



凡例	
○	設計GLからの計画地盤面の高さを示す(m)
▽	工事車両出入口
⊕	交通誘導員
—	仮囲い1(75x111 枠 H=3m)
—	仮囲い1(B型)1(75x111 枠 H=1.8m)
□	敷き鉄板 122
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> 仮囲い・交通誘導員の配置は参考とし、横浜市・学校関係者と協議の上詳細な位置を決定する 大型車両出入口時は交通誘導員を2名体制とし、学校関係者と協議の上詳細な位置を決定する 	

現況凡例	
△T.1	基準点
⊙	境界標
As	アスファルト舗装
Co	コンクリート舗装
LH	インターロッキング舗装
TR	タイル舗装
CP	コンクリート平板舗装
DH	ダスト舗装
□	コンクリートタキ
L 0.45	L型側溝
U 0.24	U型側溝
—	フェンス
—	鉄柵
—	レンガブロック
—	大矢石ブロック
—	コンクリートウォール
○	標識
—	門扉
—	階段
—	室外機
○	下水
○	ハンドホール
○	消火栓
○	仕切弁
○	NTT
○	マンホール
○	ガス栓
○	止水栓
○	スプリンクラー
○	散水栓
○	街灯
○	電話柱
○	電柱

横浜市教育委員会事務局		工事名 矢向小学校仮設校舎設置工事	
年月日 2022.12	縮尺 A3: 1/500	図面名称 配置図(参考図)	
設計者 株式会社 田辺設計		図面番号	校舎番号
田辺設計		完成	図取付枚数
田辺設計		図取付枚数	図取付枚数
			A - 02



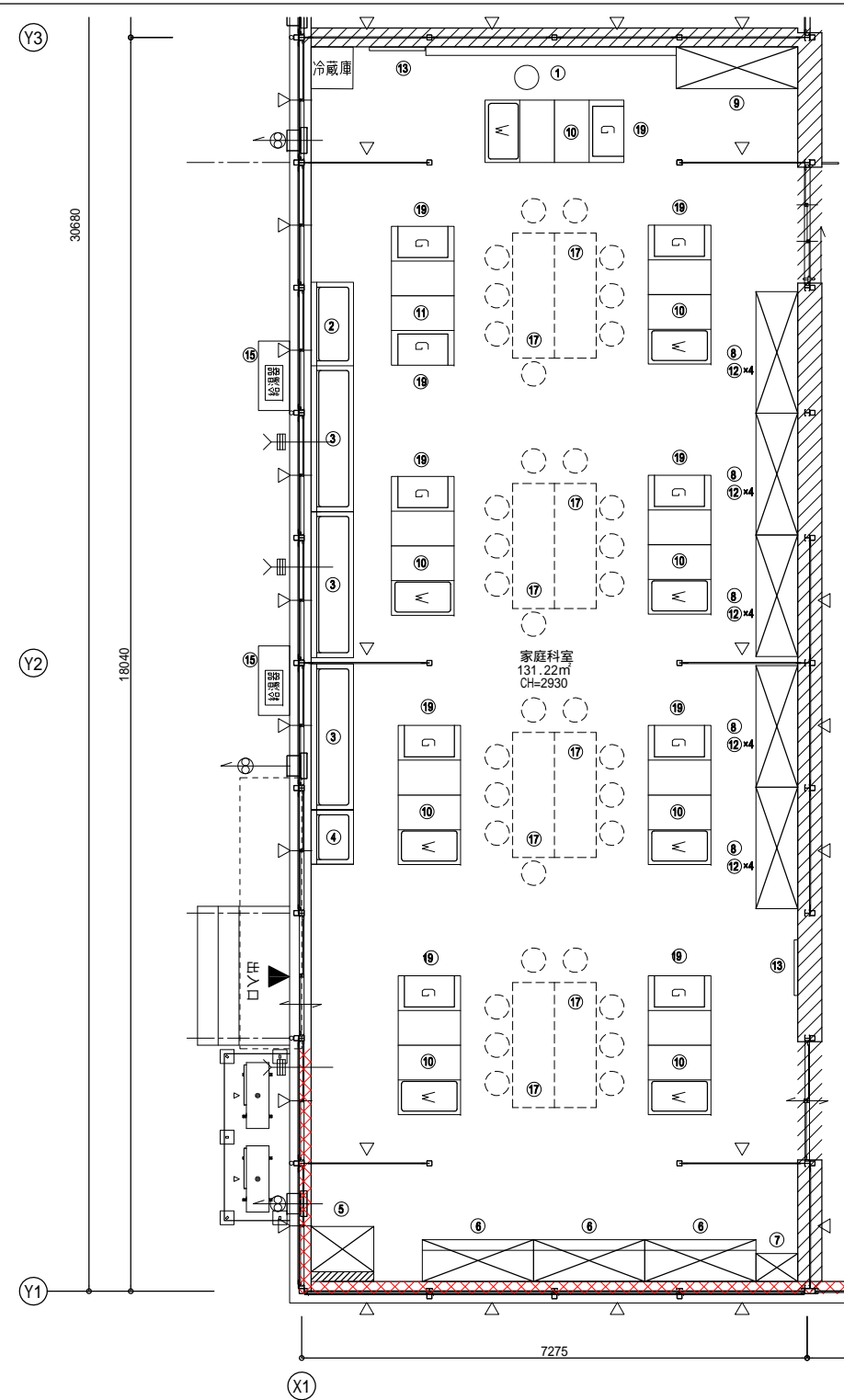
- 凡例
- : 換気扇(壁面)
 - ◻: 換気口(壁面)
 - 24h: 24時間換気表示
 - 114: 114条区画を示す
 - 114: 防火構造を示す
 - ±0.00: 設計QLからの高さを示す
 - ▽: プレース(H10)
 - ▽: プレース(H12)
 - ▽: 2段プレース(H12)
 - ▽: プレース(H15)
 - ⊕: 防火設備

No.	備品	数	W	D	H	備考	工事区分
①	下足入	5	1,350	300	1,630	G-1291	○
②	傘立	5				K-105C	○

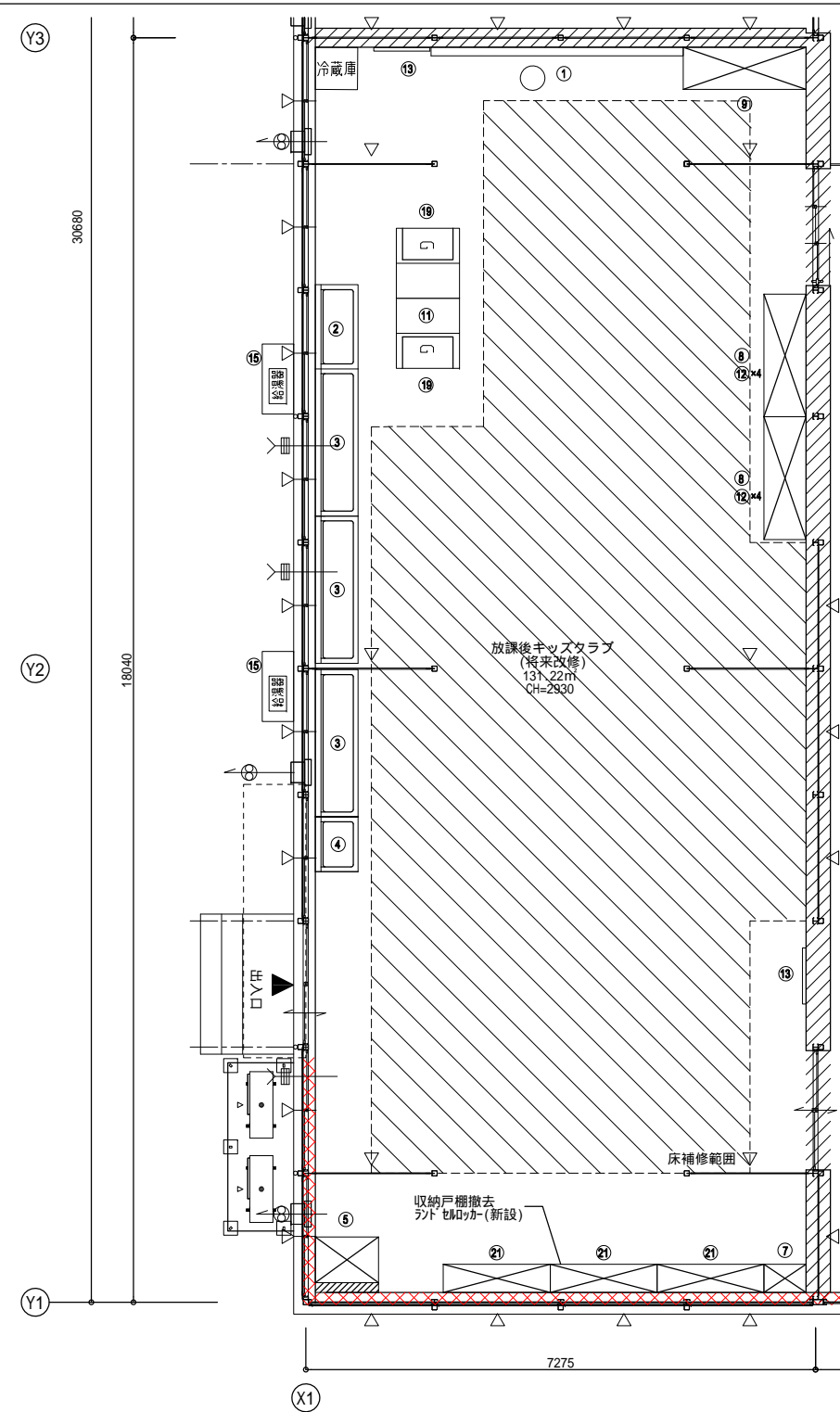
No.	備品	数	W	D	H	備考	工事区分
①	曲面黒板	1	3,600	1,200		G-630	○
②	教師用戸棚	1	1,200	450	2,000	G-410	○
③	観察台	2	1,760	400	740	G-480	○
④	児童用ロッカ	2	1,900	400	1,350	G-510A	○
⑤	児童用ロッカ	1	1,525	400	1,350	G-510B	○
⑥	掃除用具入	1	450	400	1,700	G-520	○
⑦	可動フック	2				図示による	○
⑧	換気扇枠	1				I-205	○
⑨	室名札	1	持出しタイプ			I-204A	○
⑩	教卓	1				K-101	○
⑪	机	40				K-301	○
⑫	椅子	40				K-301	○
⑬	教師用丸椅子	1				K-102	○
⑭	チリ箱	1				K-104	○

トイレを除く室の外壁開口部は全てカーテン設置とする
特記なき限り、横浜市小・中学校標準図に従いG備品、I備品を設置する

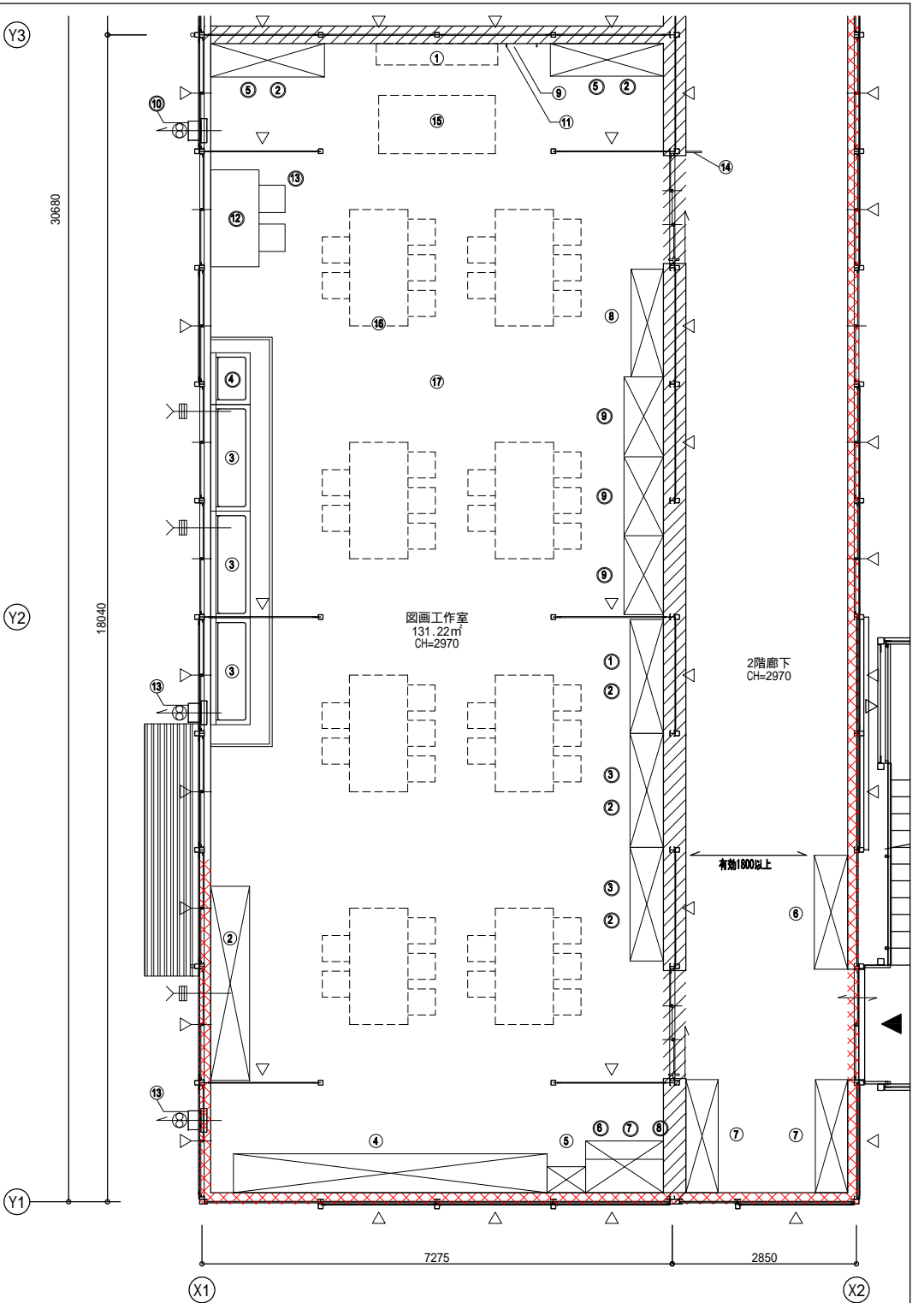
横浜市教育委員会事務局		工事名 矢向小学校仮設校舎設置工事	
年月日 2022.12	縮尺 A3: 1/200	図面名称 平面図(参考図)	図面番号
設計者	図面番号	校舎名	図面枚数
株式会社 田辺設計		棟番号	図面番号
TANIBE ARCHITECTS & ENGINEERS		棟名	A-04



家庭科室平面図



放課後キッズクラブ室(改修後)



図画工作室平面図

No	備品	数	W	D	H	備考	工事区分
①	ホワイトボード	1	3,600	x	1,200	G-611B	○
②	一掃流し(給湯付)	1	1,200	x	610 x 570	G-130A	○
③	一掃流し(給湯付)	3	2,100	x	610 x 570	G-134A	○
④	掃除用具	1	785	x	610 x 480	G-110	※x1
⑤	洗濯機	1	900	x	650 x 90		○
⑥	収納戸棚	3	1,600	x	450/600 x 2,000	G-416	○
⑦	収納戸棚	1	600	x	400 x 1,700	G-280	○
⑧	収納戸棚	5	1,750	x	600 x 2,040	G-312	○
⑨	収納戸棚	1	1,750	x	600 x 2,040	G-311	○
⑩	収納戸棚	8	2,000	x	900 x 725	G-720A	G#
⑪	洗面用鏡台	1	2,000	x	900 x 725	G-720B	G#
⑫	ミシン収納ケース	20	400	x	600 x 600	G-612	○
⑬	アルミ特撮看板	2	800	x	1,200	G-680B	○
⑭	ステンレスフック	4	φ			I-208B	○
⑮	給湯器カバー	2				I-105	○
⑯	壁名札	1	持出しタイプ			I-204A	○
⑰	壁名札	1	持出しタイプ			I-204A	○
⑱	食卓テーブル	8				K-150	○
⑳	食卓用丸椅子	38				K-117	○
㉑	2口ガスコンロ	10				K-501	○
㉒	椅子箱	2	表示表記なし			K-104	○

No	備品	数	W	D	H	備考	工事区分
①	ホワイトボード	1	3,600	x	1,200	G-611B	○
②	一掃流し(給湯付)	1	1,200	x	610 x 570	G-130A	○
③	一掃流し(給湯付)	3	2,100	x	610 x 570	G-134A	○
④	掃除用具	1	785	x	610 x 480	G-110	○
⑤	洗濯機	1	900	x	650 x 90		○
⑥	収納戸棚	1	600	x	400 x 1,700	G-280	○
⑦	収納戸棚	2	1,750	x	600 x 2,040	G-312	○
⑧	収納戸棚	1	1,750	x	600 x 2,040	G-311	○
⑨	洗面用鏡台	1	2,000	x	900 x 725	G-720B	○
⑩	ステンレスフック	4	φ			I-208B	○
⑪	アルミ特撮看板	2	800	x	1,200	G-680B	○
⑫	壁名札	1	持出しタイプ			I-204A	○
⑬	2口ガスコンロ	2				K-501	○
⑭	椅子箱	2	表示表記なし			K-104	○
⑮	洗面用ロッカー	3	1,525	x	400 x 1,700	G-510C	○

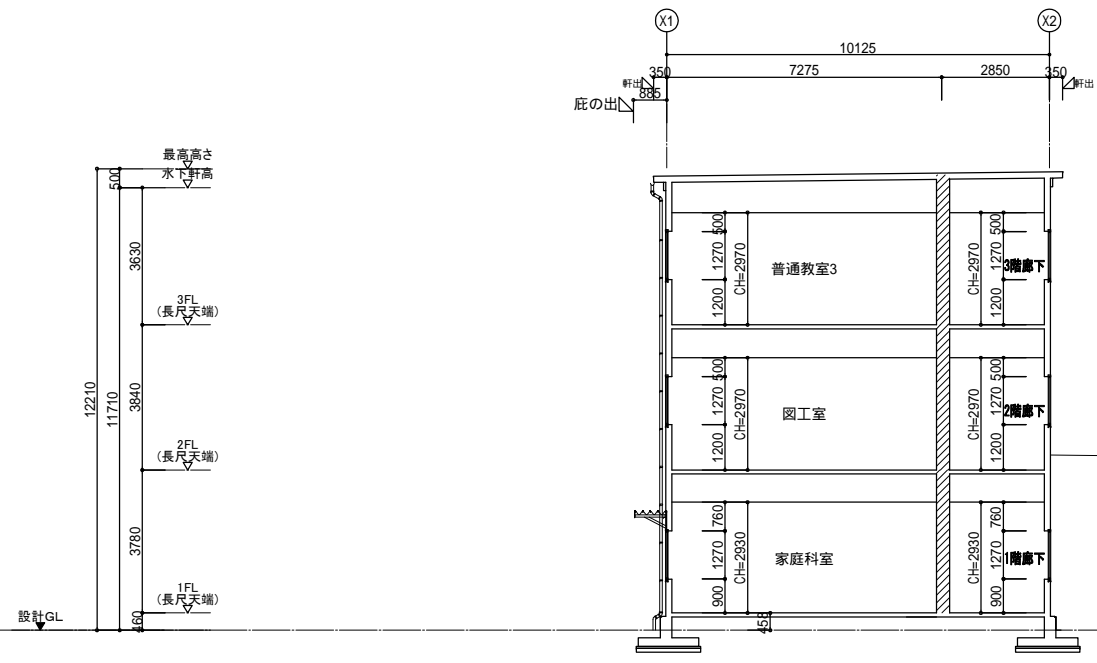
No	備品	数	W	D	H	備考	工事区分
①	移動引出枠	1	1,880	x	1,770		○
②	窓下作業台	1	3,000	x	600 x 670	G-483A	○
③	一掃流し	3	1,650	x	610 x 570	G-132A 水x3	○
④	作業台	1	4,850	x	600 x 670	G-482	○
⑤	掃除用具	1	600	x	400 x 1,700	G-280	○
⑥	シューズケース	1	1,750	x	500 x 2,040	G-321 廊下設置	○
⑦	展示棚	2	1,750	x	500 x 2,040	G-320 廊下設置	○
⑧	収納戸棚	1	1,665	x	600 x 2,040	G-315A	○
⑨	ステンレスフック	2	φ			I-208C	○
⑩	鏡	1	800	x	1,525	G-800A	○
⑪	ステンレスフック	6	φ			I-208B	○
⑫	ビクチャーレール	1				I-203A	○
⑬	換気扇	1				I-205	○
⑭	壁名札	1	持出しタイプ			I-204A	○
⑮	換気扇用木工台	1				K-458	○
⑯	洗面用木工台	8				K-457	○
⑰	木製角椅子	41				K-401	○
⑱	椅子箱	2	表示表記なし			K-104	○

No	備品	数	W	D	H	備考	工事区分
①	整理引出枠	1	1,760	x	615 x 960	G-231	○
②	整理戸棚(上段)	5	1,760	x	515 x 880	G-215B	○
③	引出付整理戸棚	2	1,760	x	515 x 960	G-230B	○
④	一掃流し	1	800	x	610 x 700	G-120 水x2	○
⑤	整理戸棚(下段)	2	1,760	x	515 x 960	G-211B	○
⑥	引出付整理戸棚	1	1,200	x	800 x 960	G-232	○
⑦	整理戸棚(上段)	1	1,200	x	515 x 880	G-214B	○
⑧	化粧天板	1				G-201C	○
⑨	作品保管箱	3	1,220	x	610 x 1,560	G-191	○
⑩	換気扇	1				I-205	○
⑪	壁名札	1	持出しタイプ			I-204A	○
⑫	食卓テーブル	1				K-151	○
⑬	木製角椅子	2				K-401	○

特記なき限り、横浜市小・中学校標準図の通り、G備品、I備品を設置する

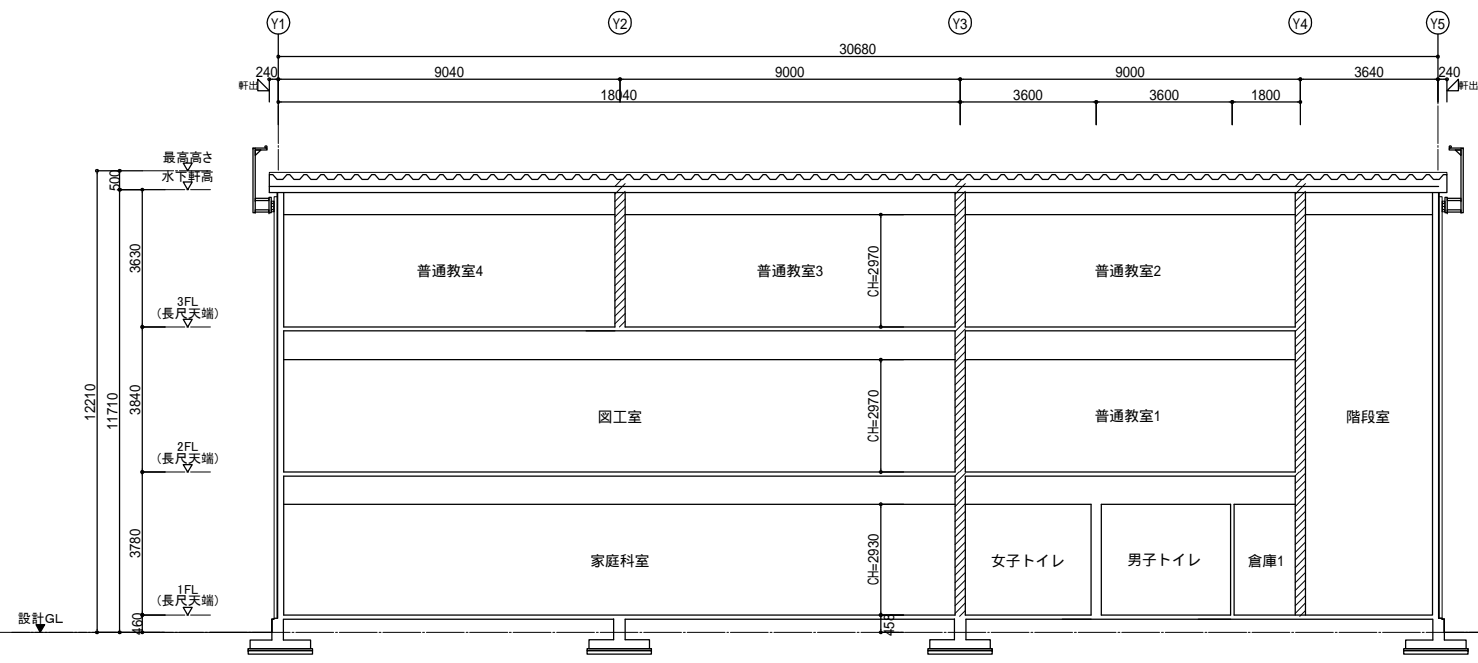
横浜市教育委員会事務局		工事名	矢向小学校仮設校舎設置工事		
年月日	2022.12	縮尺	A3: 1/100		
図面名称		平面図詳細図(参考図)			
設計者	株式会社 田 野 設 計 TANINO ARCHITECTS & PLANNERS	図面番号	棟番号	床階	図面枚数
					A-05

屋根勾配
1/90



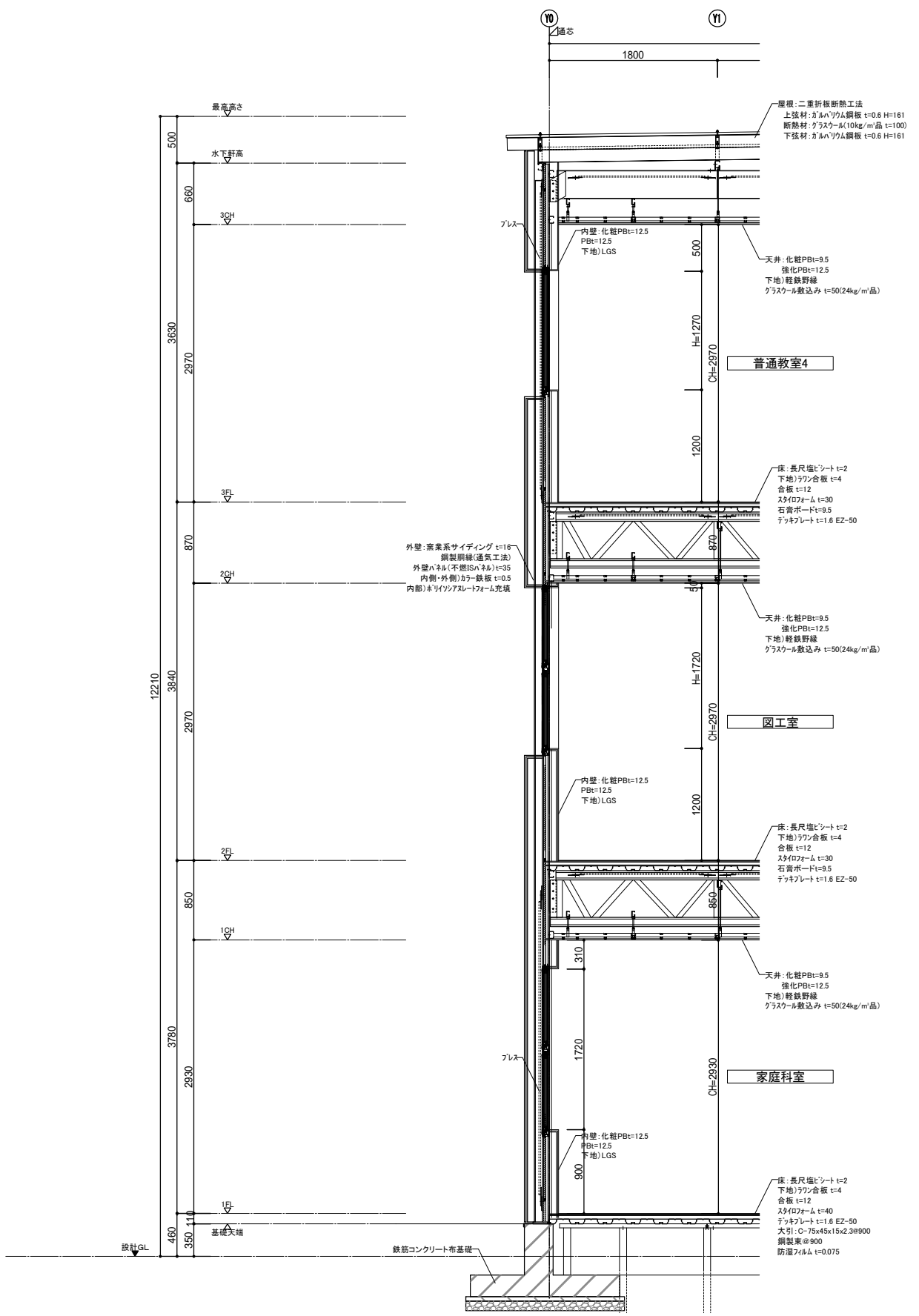
A-A断面図

凡例
114条区画を示す



B-B断面図

横浜市教育委員会事務局		工事名 矢向小学校仮設校舎設置工事	
年月日 2022.12	縮尺 A3: 1/200	断面図 (参考図)	
設計者 株式会社 田辺設計		図面番号	棟番号
株式会社 田辺設計 TANIBE ARCHITECTS & ENGINEERS		完成 年月	図面 種類
		図面枚数	図面番号
			A - 06

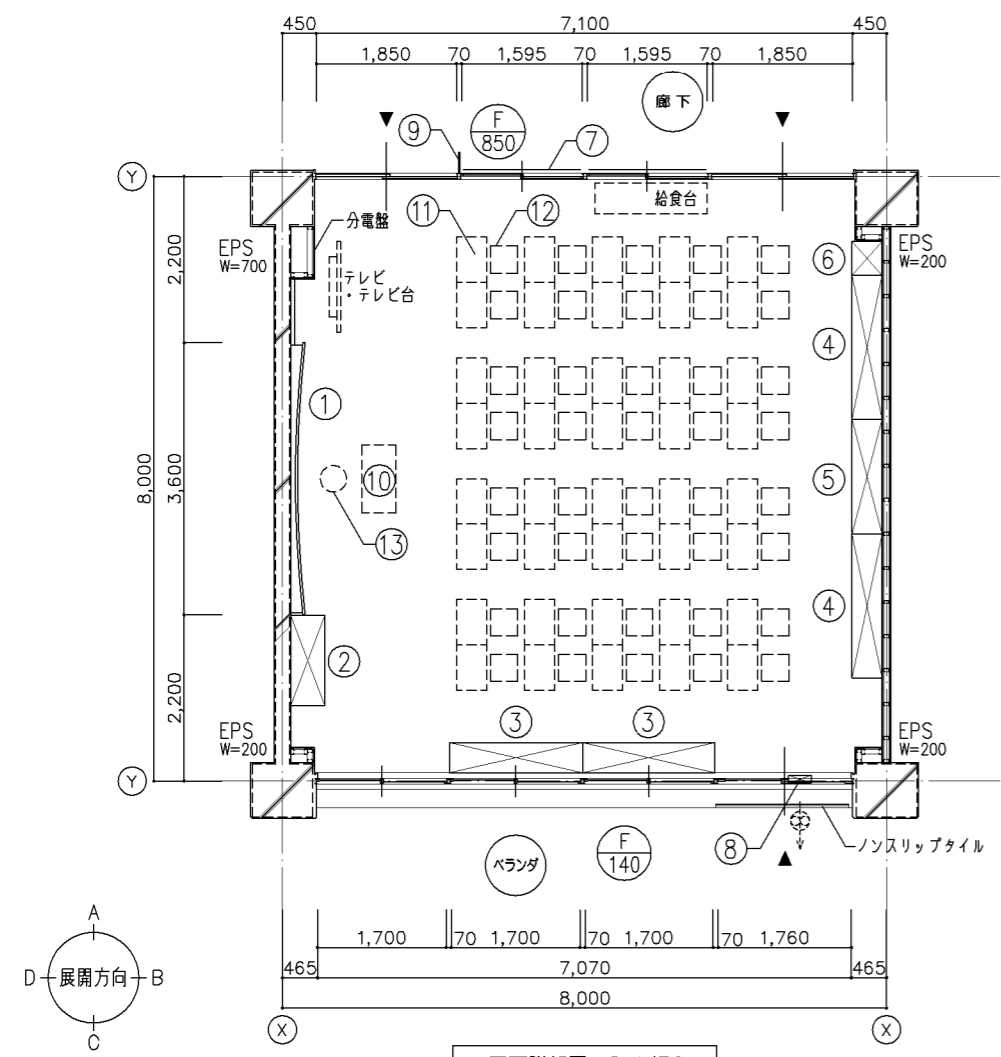


矩形図(X0, Y0~Y1間)

横浜市教育委員会事務局			工事名 矢向小学校仮設校舎設置工事		
年月日 2022.12	縮尺 A3: 1/60	図面名称 矩計図(参考図)			
設計者					
株式会社 田 田 設計 TANABE ARCHITECTS & ENGINEERS					
図面番号	棟番号	元注	図面	図面枚数	図面番号
					A - 07

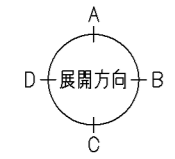
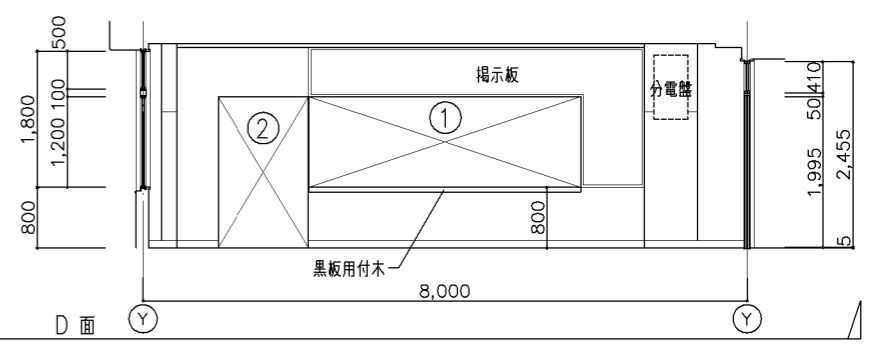
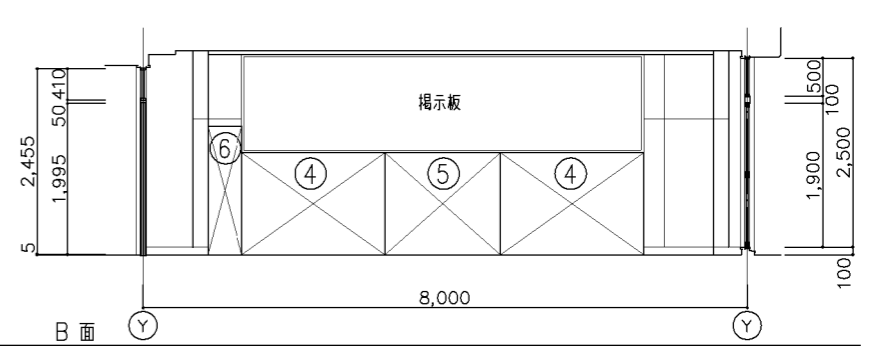
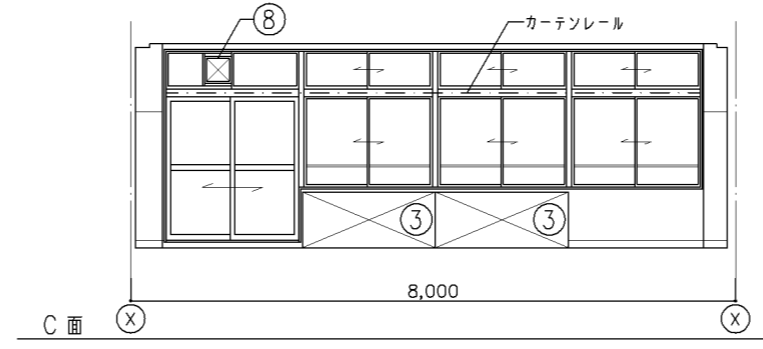
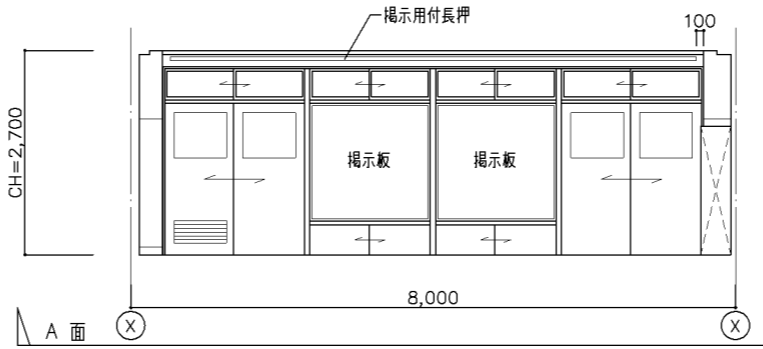
■標準耐火リスト(種別:ロ-2 3階建)

部位	屋根	屋根	外壁	2階床、3階床	柱・梁	階段
設計基準	不燃材料	不燃材料	準不燃材料	準不燃材料かつ、準耐火構造	不燃材料	不燃材料および準不燃材料
姿図						
認定番号など	NM-8697	NM-8697 NM-4634	NM-4441-1 NM-4441-2	告示第1358号第3項三号イ(1)、ロ(3)	告示第1400号	告示第1400号
部位	壁穴区画	壁穴区画	壁穴区画(階段下倉庫部)	スハントレル	その他(114条区画)	
設計基準	準耐火構造	準耐火構造	準耐火構造	準耐火構造	準耐火構造	
姿図						
認定番号など	告示第1358号第1項一号ハ(1)(ii)	FP060NP-0007同等仕様	告示第1358号第3項三号イ(1)、ロ(3)	告示第1358号第1項三号ハ(6)	告示第1358号第1項一号ハ(1)(ii)	



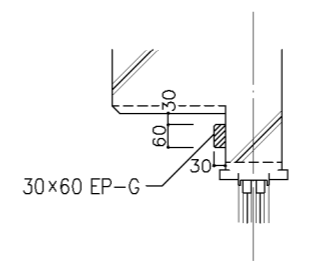
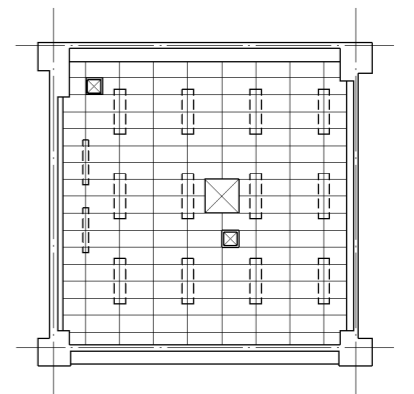
平面詳細図 S=1/50

展開図 S=1/50

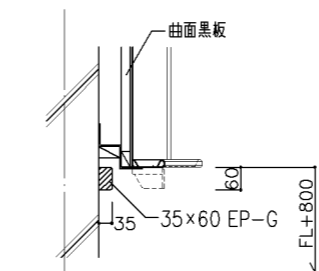


天井伏図 S=1/100

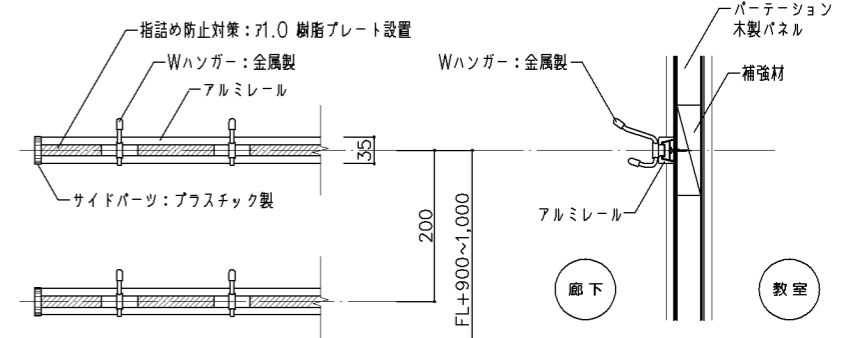
- 凡例 (位置は設備との打ち合わせに依る)
- ☒ 天井点検口 450角
 - ⊠ エアコン切込み補強
 - 照明器具設置位置を示す



掲示用付長押詳細図 S=1/10



黒板用付木詳細図 S=1/10



可動フック詳細図 S=1/5

(備品 No ⑦) ・L=1,500 (2段×2か所) ・1CR 40人分とする

参考図

備品リスト						工事区分		
No	備品	数	W	D	H	備考	工事	教育
①	曲面黒板	1	3,600	×	1,200	G-630	○	
②	教師用戸棚	1	1,200	×	450 × 2,000	G-410	○	
③	観察台	2	1,760	×	400 × 740	G-480	○	
④	児童用ロッカー	2	1,900	×	400 × 1,350	G-510A	○	
⑤	児童用ロッカー	1	1,525	×	400 × 1,350	G-510B	○	
⑥	掃除用具入	1	450	×	400 × 1,700	G-520	○	
⑦	可動フック	2				図示による	○	
⑧	換気扇枠	1				I-205	○	
⑨	室名札	1	持出しタイプ			I-204A	○	
⑩	教卓	1				K-101		○
⑪	机	40				K-301		○
⑫	椅子	40				K-301		○
⑬	教師用丸椅子	1				K-102		○
⑭	チリ箱	1	図示表記なし			K-104		○

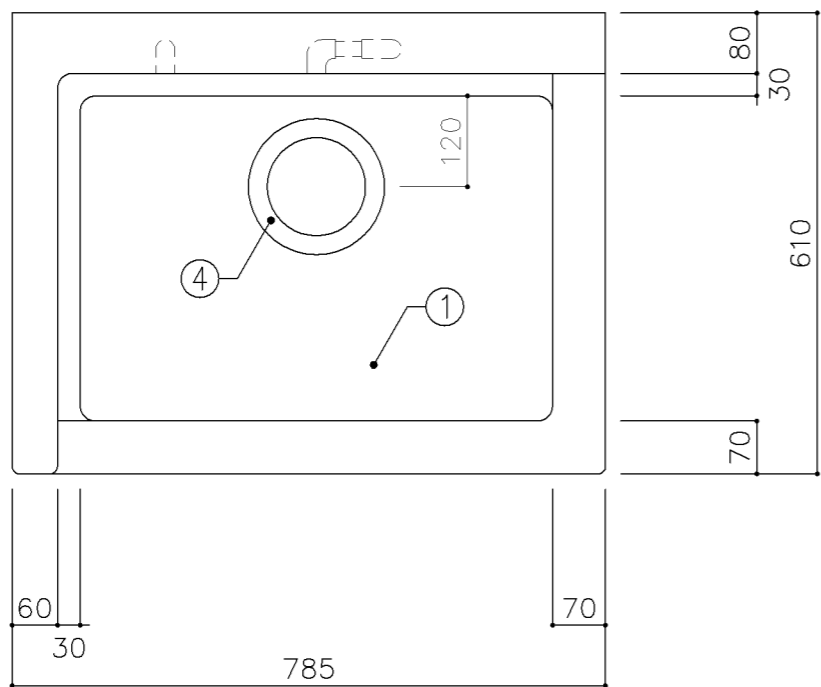
内部仕上表	
床	72 ビニル床タイル張り
幅木	ビニル幅木 H=100
腰	
壁	コンクリート打放し EP-G 75.5 しな合板目透し張り EP-G
天井	79.5 化粧吸音せつこうボード張り
梁型	コンクリート打放し EP-G
	掲示板: 掲示シート張り (75.5 ラフン合板下地)

改定の経緯

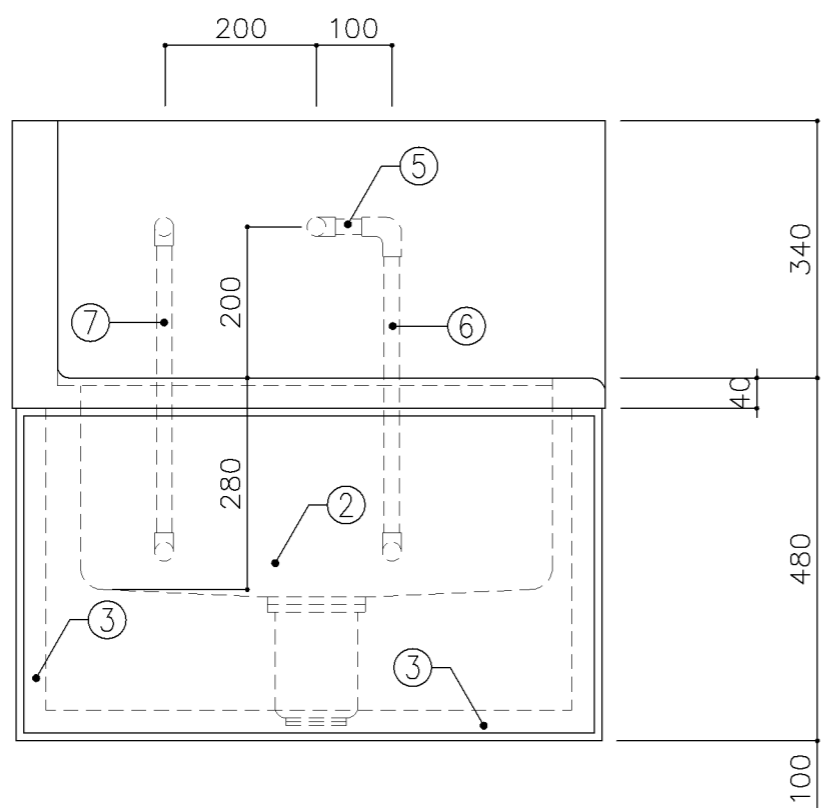
設計上の留意点
・可動フックの設置については、実施設計において関係局部署と十分調整すること。

横浜市建築局

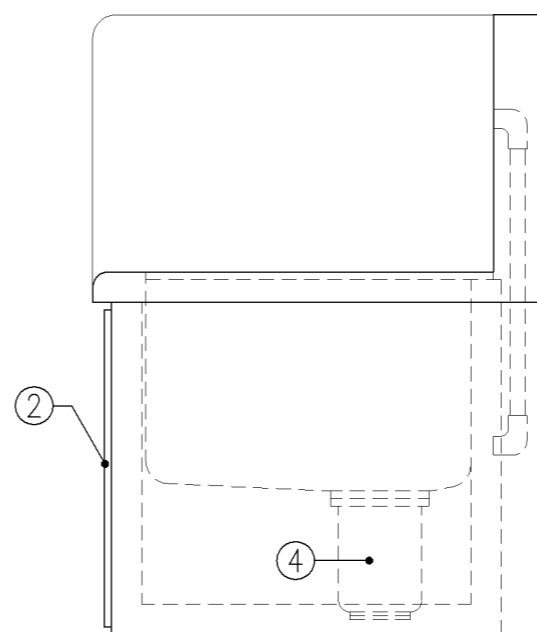
年月日	平成30年2月	縮尺	1/5.1/10.1/50.1/100	工事名	「横浜市小・中学校標準図校舎95型」12改【H29改訂】
図面名称	小学校 普通教室 平面詳細図・展開図				
設計者		施設番号		備考	
図面枚数		図面番号		図面番号	



平面図



正面図



側面図

寸法
W785 × D610 × H480

使用箇所
家庭科教室（小学校）

仕様		
番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用 ゴミ収納付
⑤	給水横引管	20A VA
⑥	給水縦引管	20A VA
⑦	給湯縦引管	20A HVA

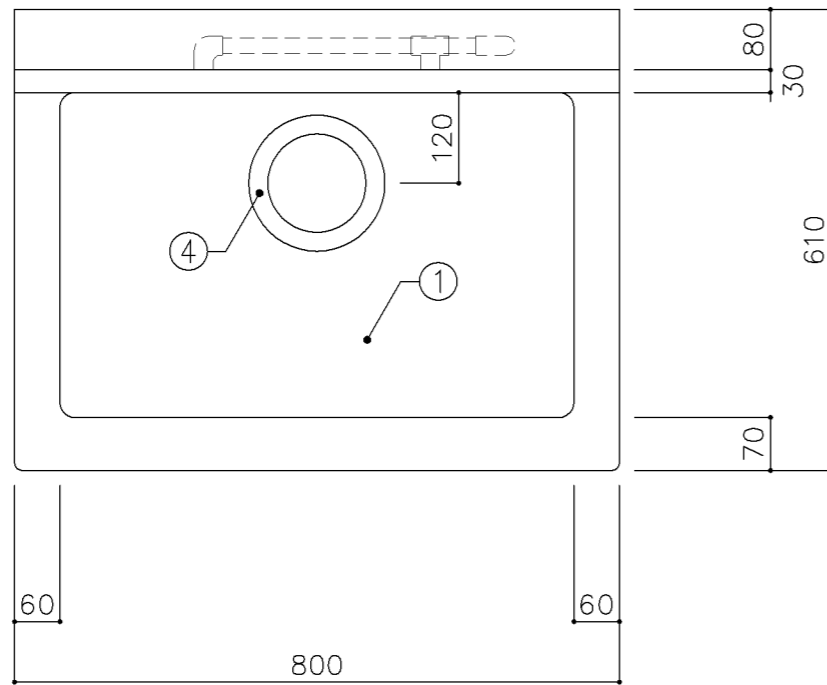
金物
番号 使用箇所 名称

特記事項
混合×1

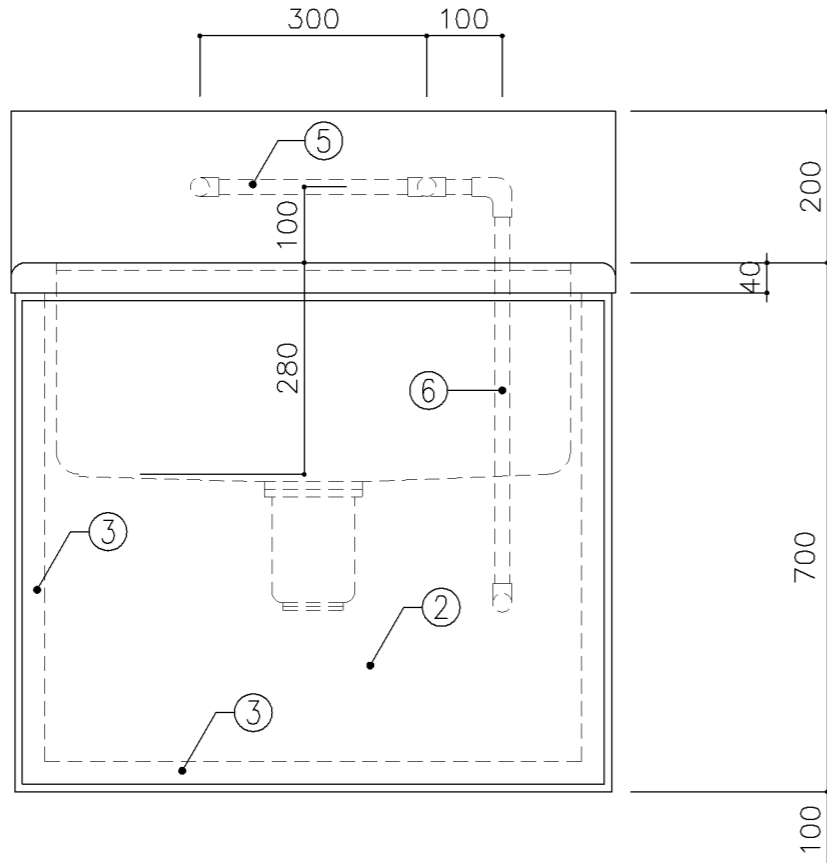
名称 清掃用流し（給湯付）
縮尺 1/10 記号 G-110
設計年月日 令和4年3月

参考図

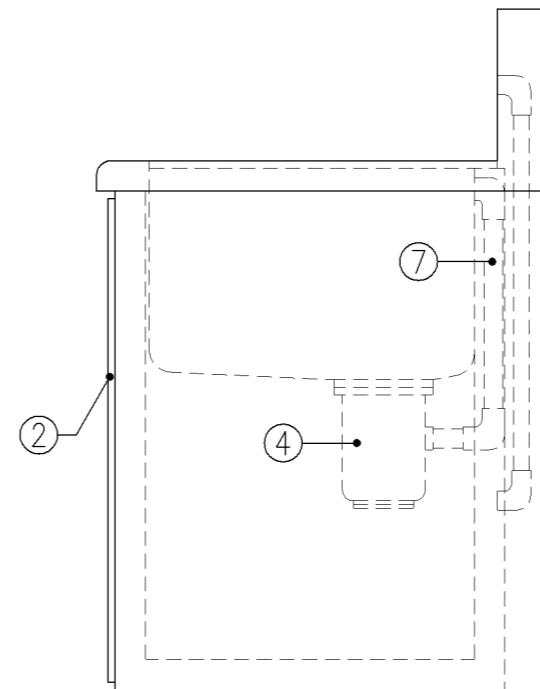
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸法
W800 × D610 × H700

使用箇所

図画工作準備室

仕様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	給水横引管	20A VA
⑥	給水縦引管	20A VA
⑦	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金物

番号 使用箇所 名称

特記事項

給水×2

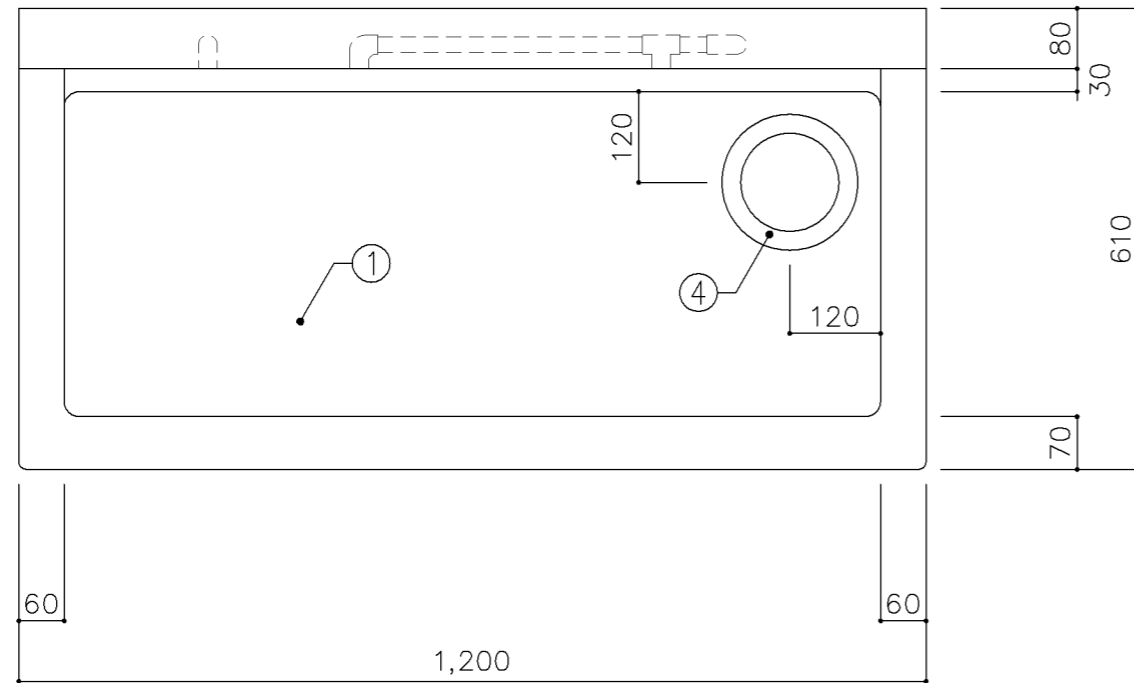
名称 一槽流し

縮尺 1/10 記号 G-120

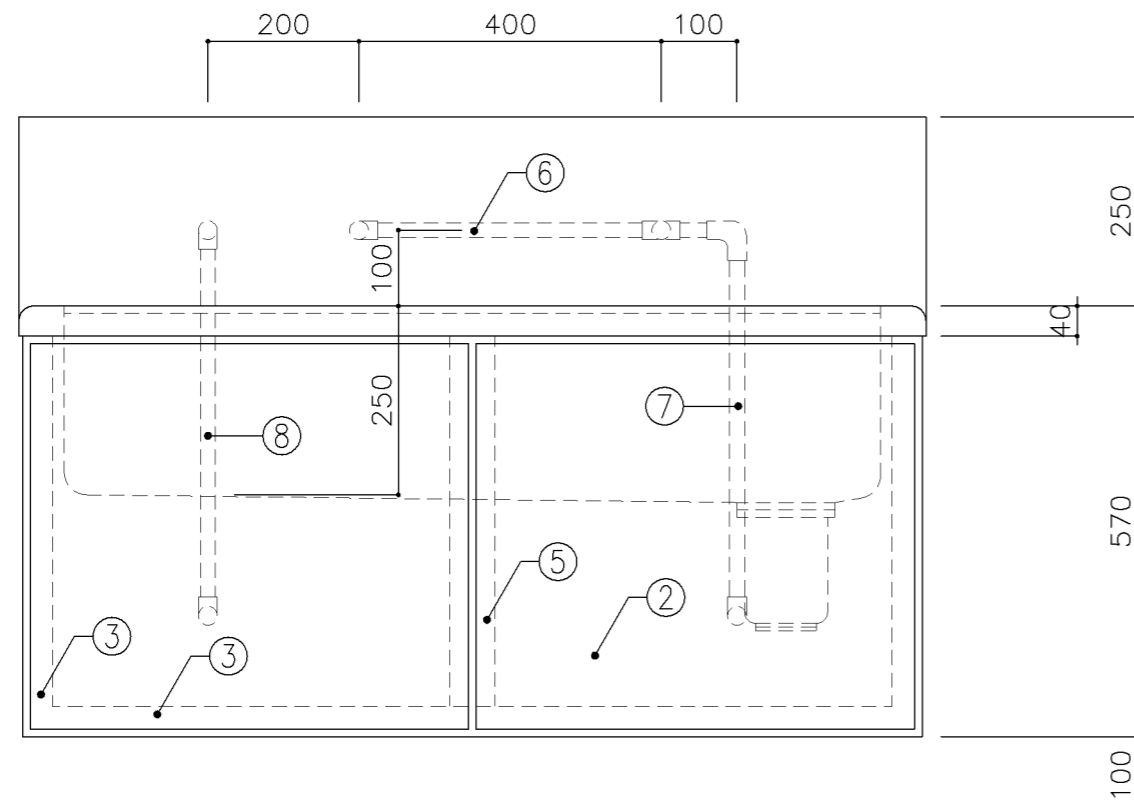
設計年月日 令和4年3月

参考図

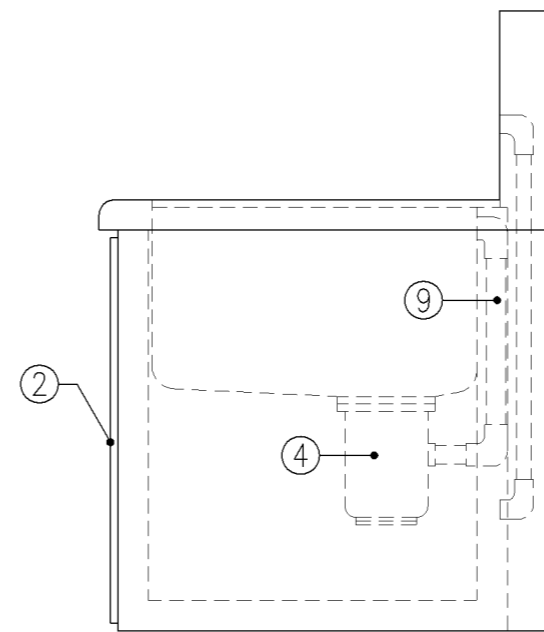
横浜市建築局



平面図



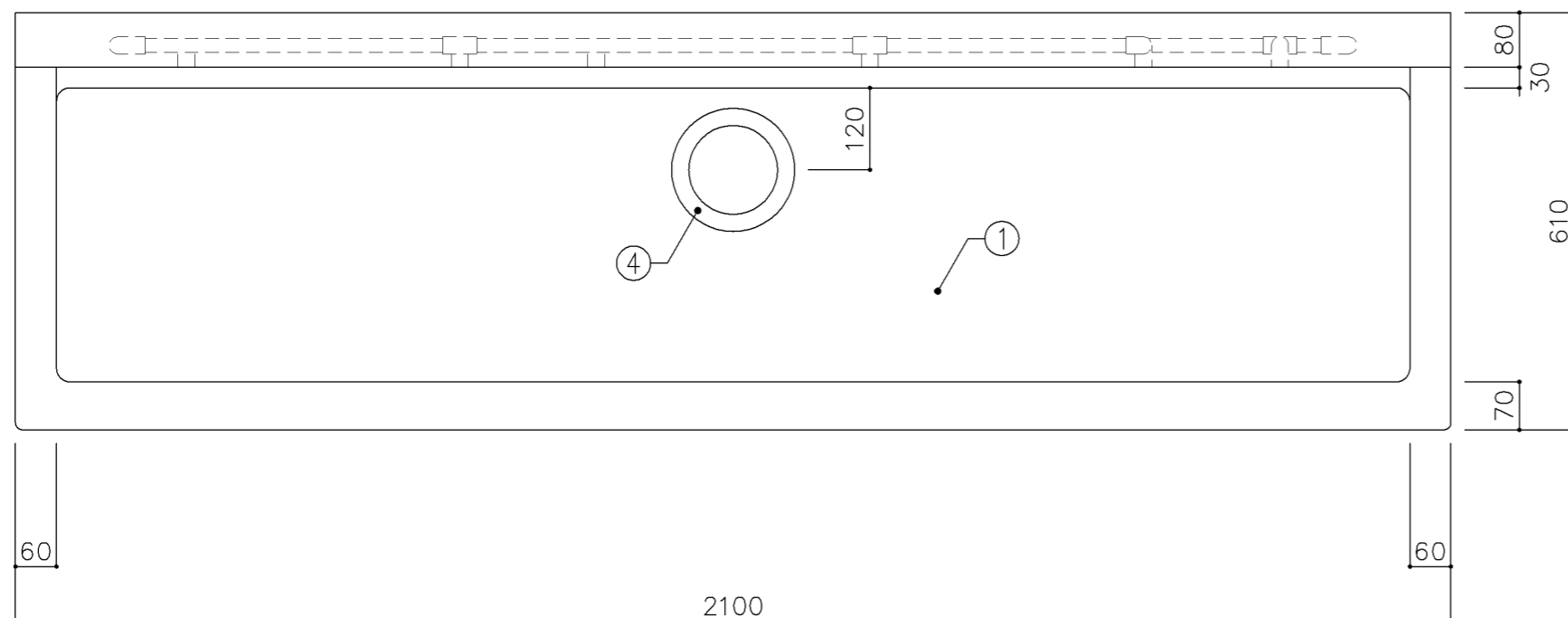
正面図



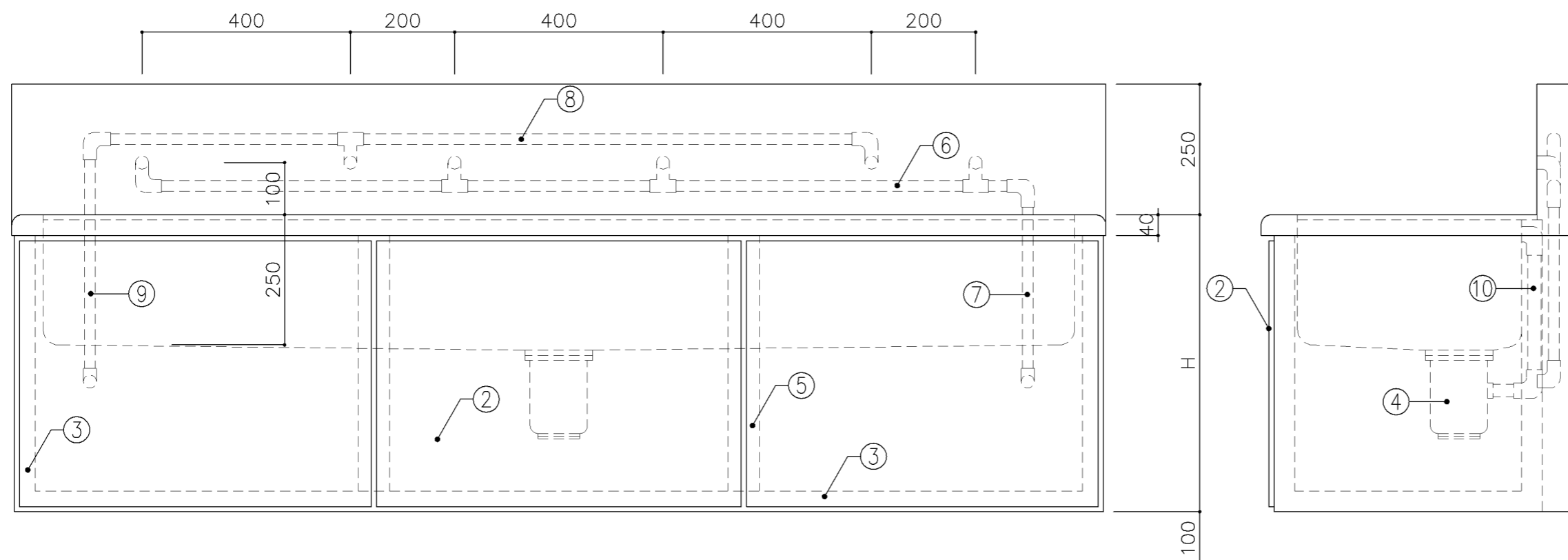
側面図

寸法		
W1,200 × D610 × H570		
使用箇所		
家庭科教室（小学校）		
仕様		
番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水縦引管	20A VA
⑧	給湯縦引管	20A HVA
⑨	オーバーフロー	25Aストレーナー付
金物		
番号	使用箇所	名称
特記事項		
給水×1		
混合×1（左）		
名称 一槽流し（給湯付）		
縮尺	1/10	記号 G-130A
設計年月日		令和4年3月
横浜市建築局		

参考図



平面図



正面図

側面図

参考図

寸法

A: W2,100 x D610 x H570

B: W2,100 x D610 x H660

使用箇所

A: 家庭科教室 (小学校)

B: 家庭科教室 (中学校)

仕様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水縦引管	20A VA
⑧	給湯横引管	20A HVA
⑨	給湯縦引管	20A HVA
⑩	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金物

番号	使用箇所	名称

特記事項

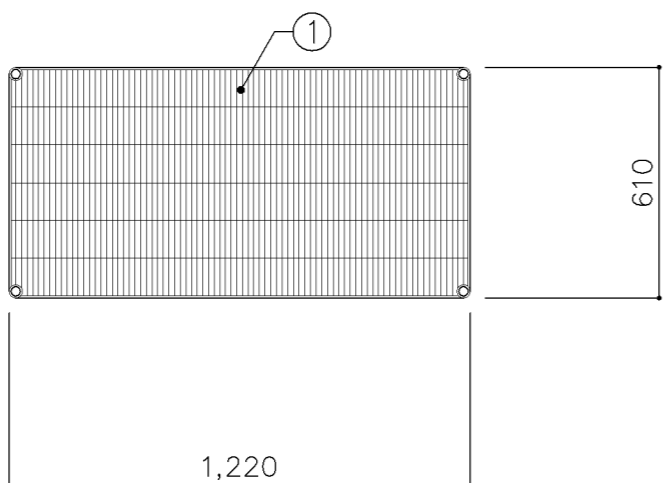
給水×2
混合×2 (交互)

名称 一槽流し (給湯付)

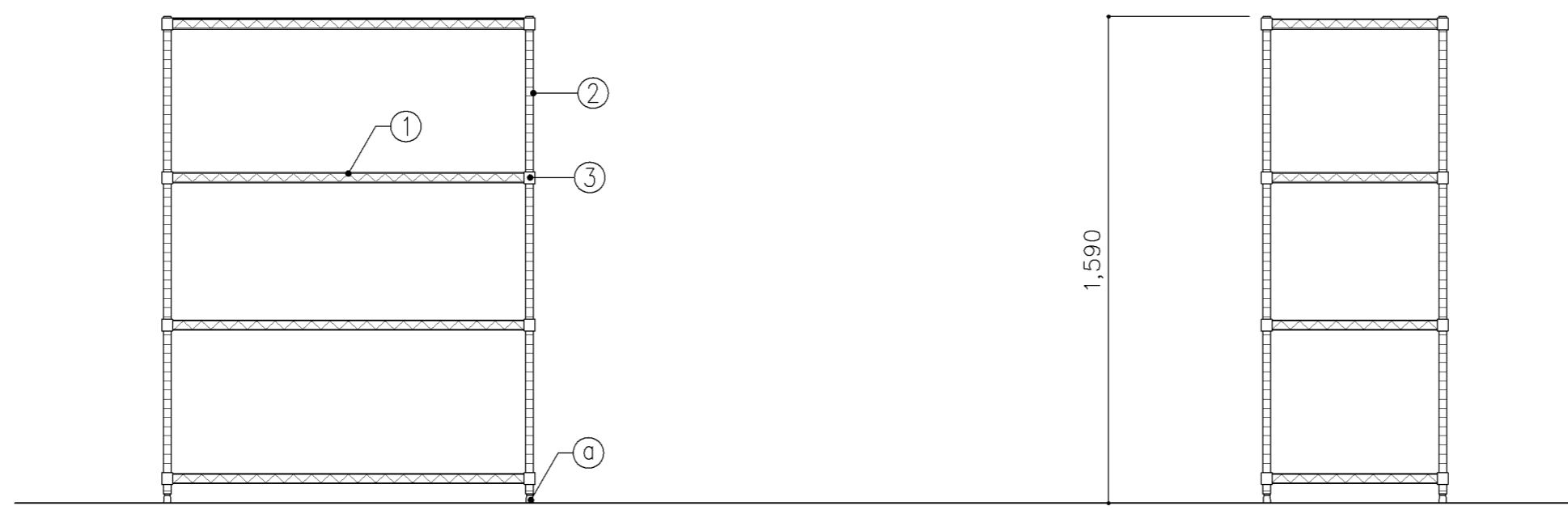
縮尺 1/10 記号 G-134

設計年月日 令和4年3月

横浜市建築局



平面図



正面図

断面図

寸 法	
W1,220 × D610 × H1,590	
使用箇所	
美術準備室 図画工作準備室	
仕 様	
番号	名称
①	棚板
	スチールワイヤ 3.75φ 4.8φ 5φ 6.35φ (クロムメッキ)
②	脚
	SUS 430-1.2t 25φ
③	テーパー
	ABS樹脂製

金 物	
番号使用箇所	名 称
ⓐ	脚
	床固定金物 (三角フットプレート) ~SUS 304 4ヶ所 (1ヶ所~3点止)

特記事項	
・エレクターシェルフ同等品とする。	

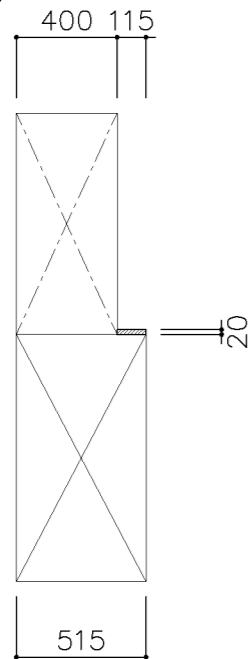
名称	作品保管棚		
縮尺	1/20	記号	G-191
設計年月	令和4年3月		
横浜市建築局			

参考図

G-200 スチール収納家具（化粧天板）

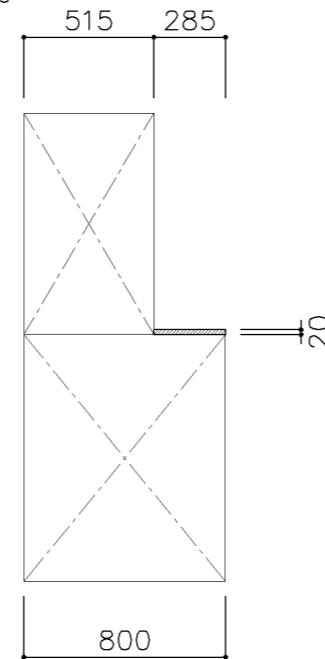
整理戸棚 1 段の場合及び 2 段の場合で、D 寸法が異なる場合は、下図の通り化粧天板張りとする。

A タイプ
W=1,200



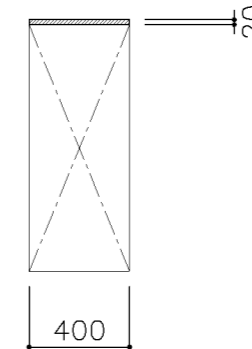
理科教室
技術教室
上: G-214A
下: G-210B

C タイプ
W=1,200



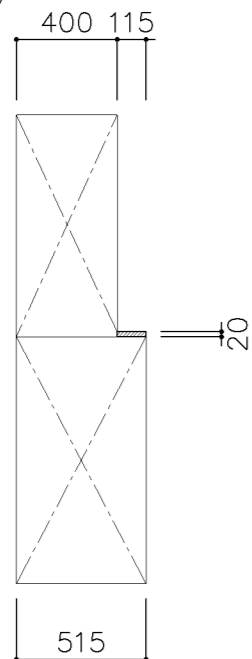
図画工作準備室
上: G-214B
下: G-232

E タイプ
W=1,760



校長室
多目的室（少人数指導）（中学校）
G-213B

B タイプ
W=1,760



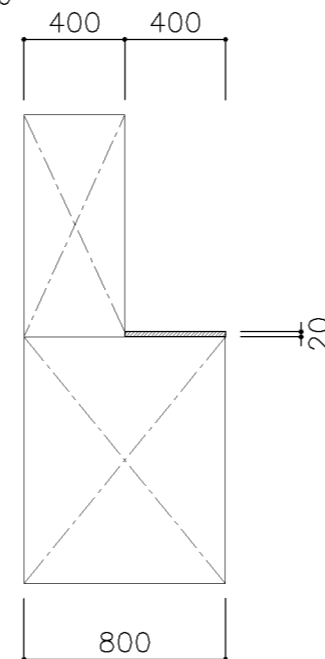
多目的室（水廻り学習等）
多目的室（少人数指導）（中学校）
PTA会議室
地域交流室
特別活動室
上: G-215A W=1,760
下: G-213C

理科準備室
上: G-215A W=1,760
下: G-211B

家庭科準備室（中学校）
上: G-215C W=1,650
下: G-230A

技術教室
上: G-215D W=1,550
下: G-211D

D タイプ
W=1,200



美術準備室
上: G-214A
下: G-232

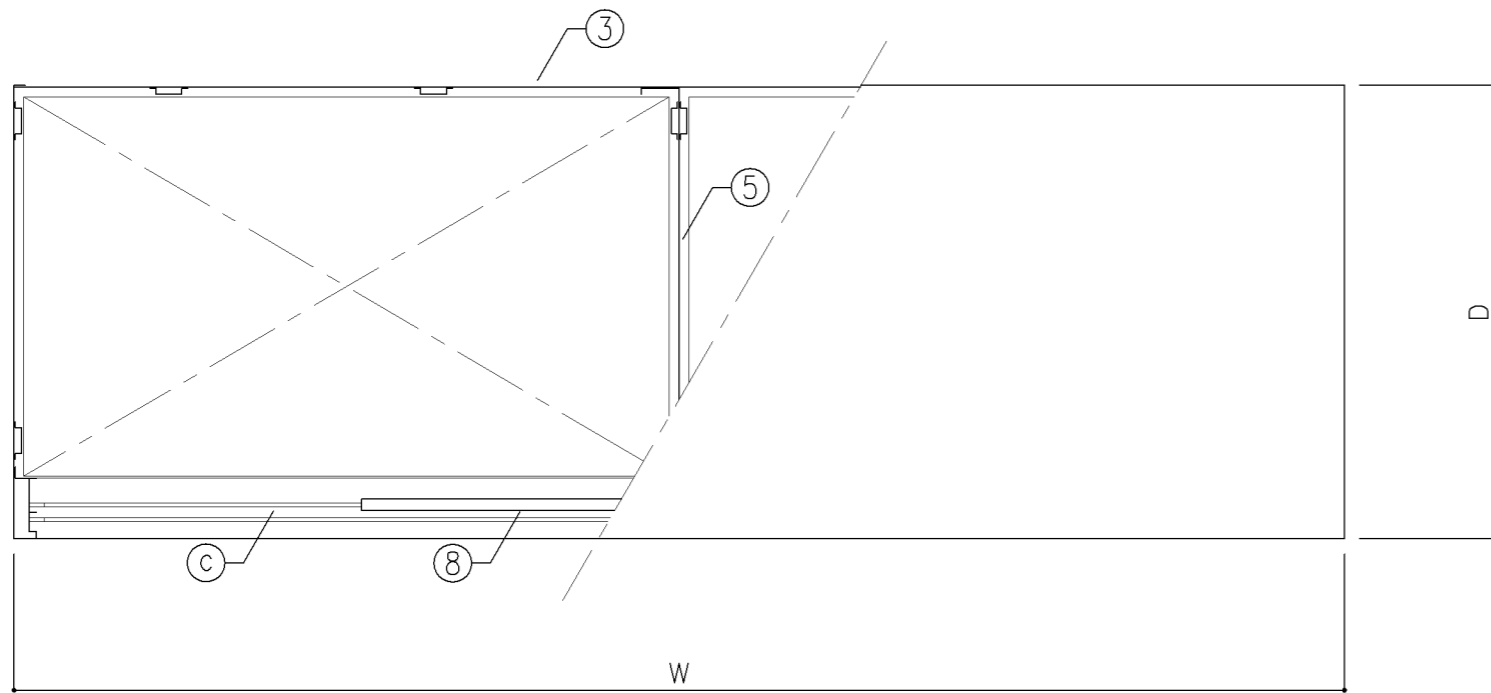
天板仕様

MDFコア、メラミン化粧シート張りとし前面は、全て丸面仕上とする。

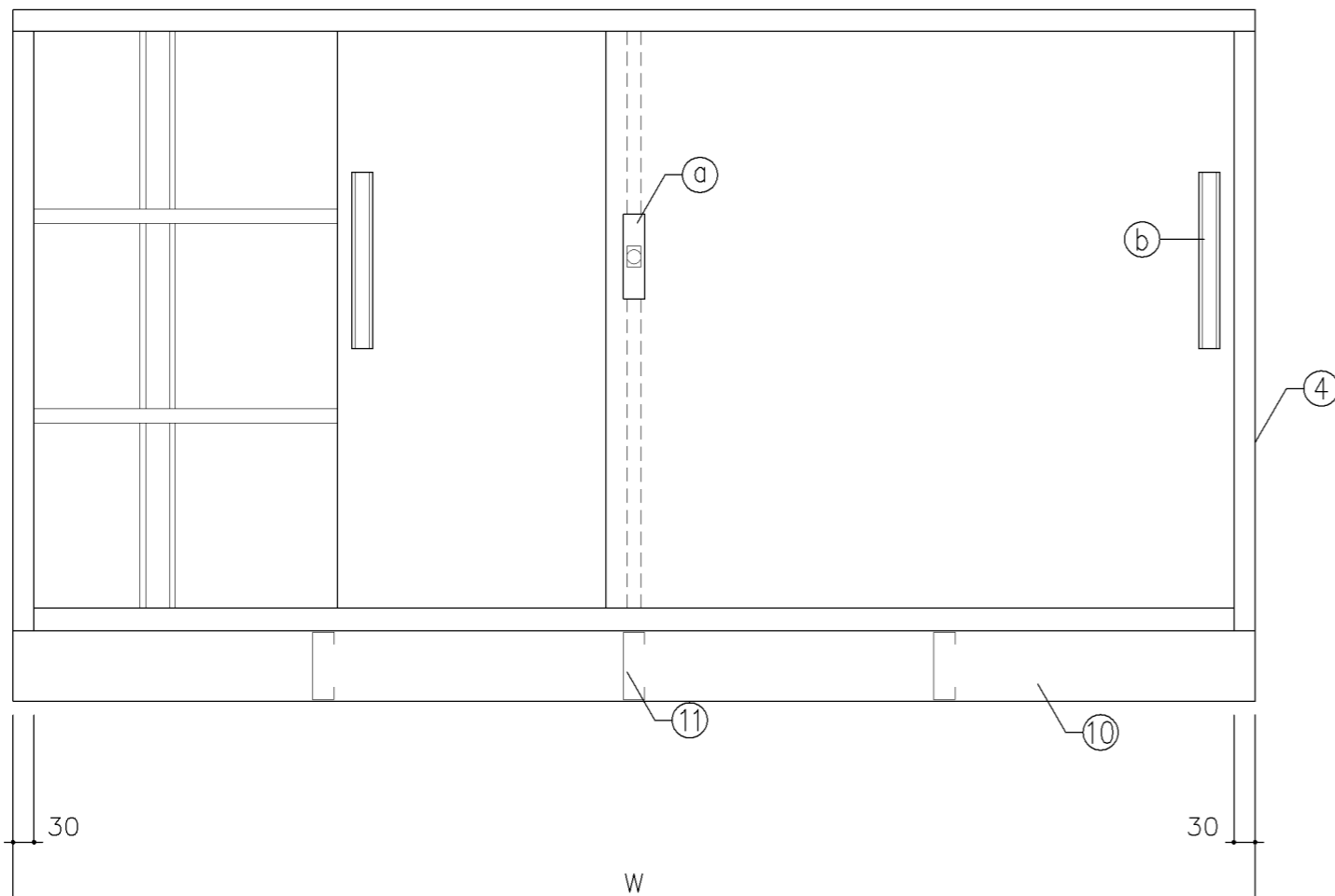
名称	化粧天板		
縮尺		記号	G-201
設計年月日	令和4年3月		

参考図

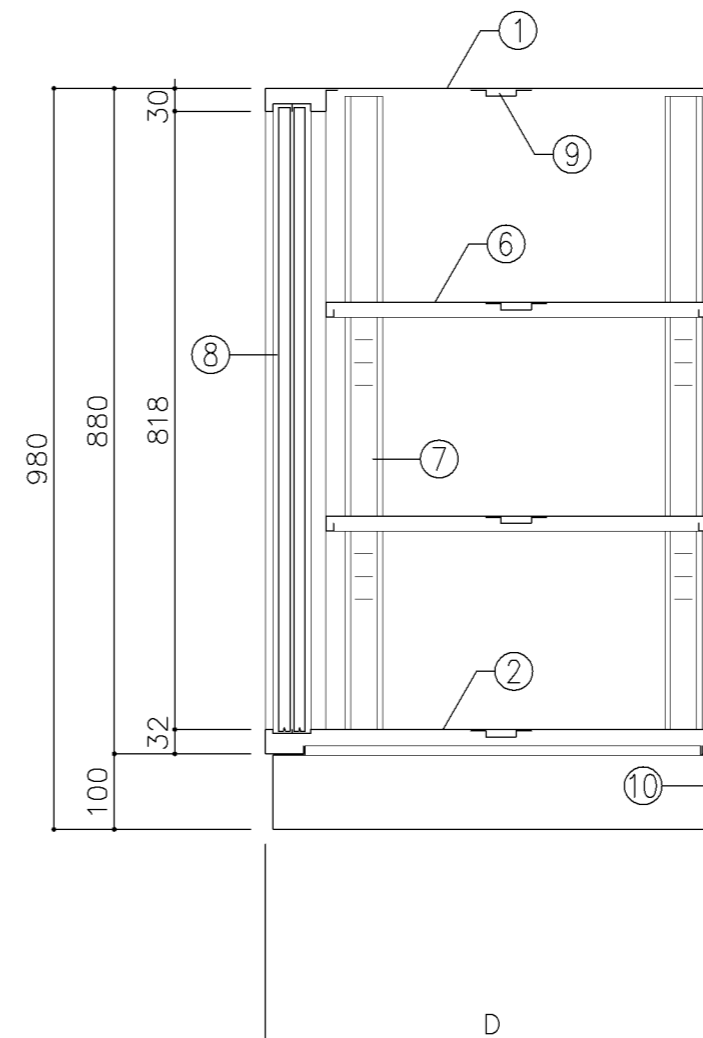
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

参考図

寸法

A	: W1,760 x D 400 x H 980
B	: W1,760 x D 515 x H 980
C	: W1,500 x D 600 x H 980
D	: W1,550 x D 515 x H 980

使用箇所

A	: 図書室（中学校）、教育相談室、進路指導室
B	: 理科準備室（小・中学校）、美術準備室 図画工作準備室
C	: 技術員室1（小学校）、湯沸室（中学校）
D	: 技術教室

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	棚板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	棚受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	引違戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑩	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
⑪	ベース補強	SPCC 1.0	焼付塗装

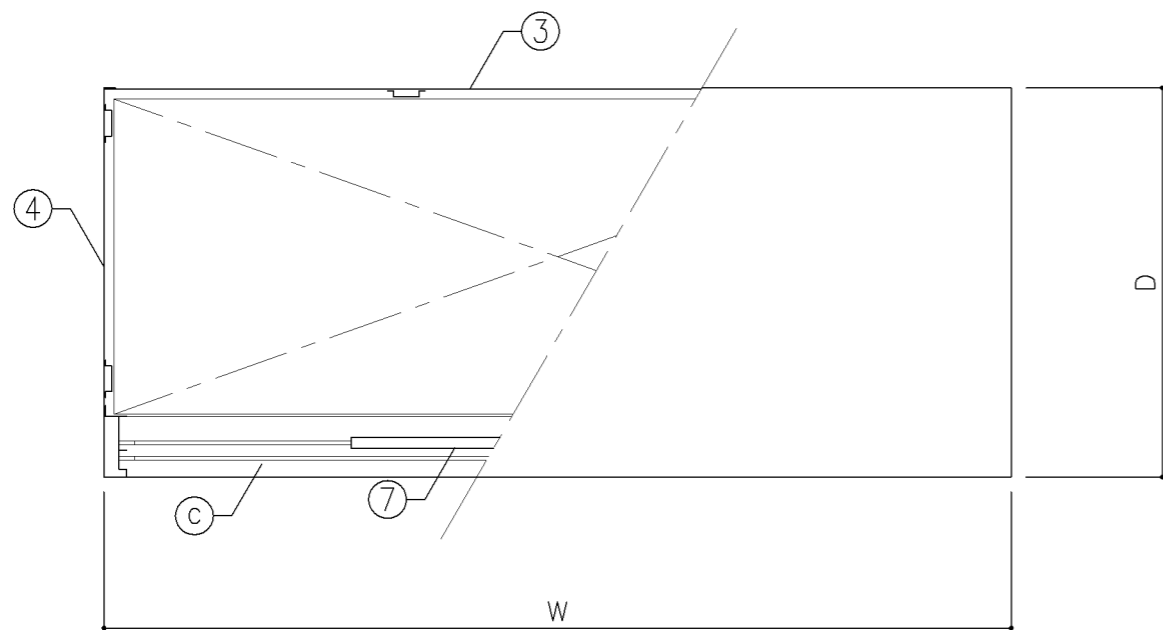
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
a	鍵飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
b	掘込引手	アルミ	アルマイト
c	レール	SPCC 0.8	焼付塗装
d	ソリダ-ブツ鍵	亜鉛合金	ニッケルメッキ
e	棚爪	SGC	

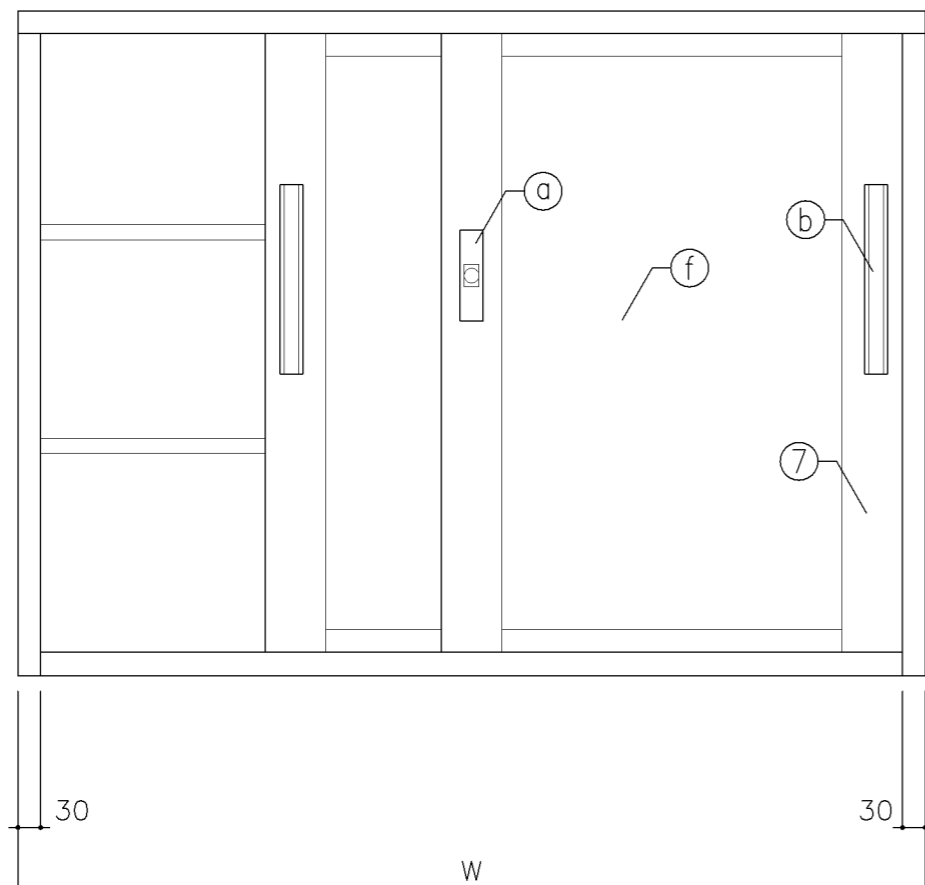
特記事項

名称	整理戸棚（下段）		
縮尺	1/10	記号	G-211
設計年月日	令和4年3月		

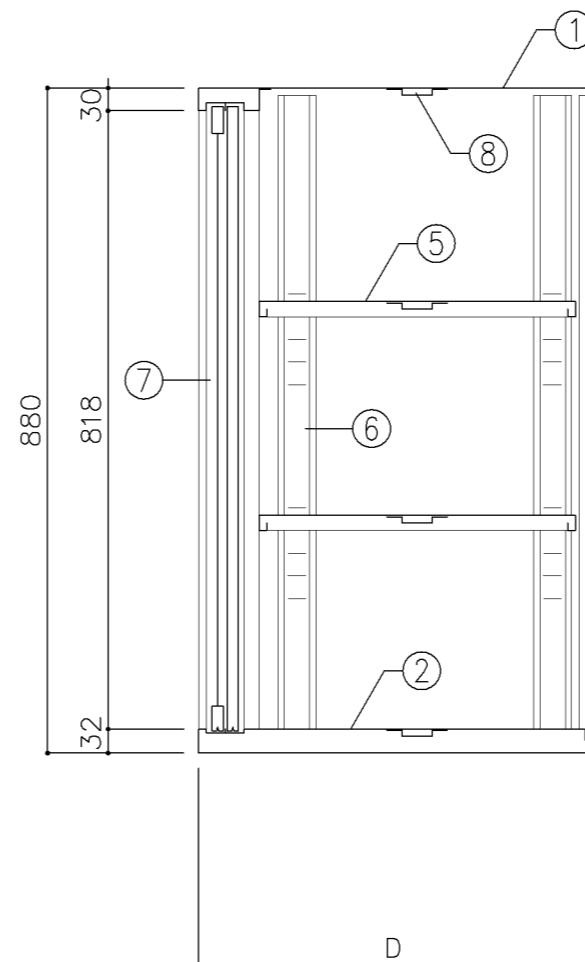
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法			
A	: W1,200	x D 400	x H 880
B	: W1,200	x D 515	x H 880
C	: W 880	x D 400	x H 880

使用箇所			
A : 理科準備室 (小学校)、美術準備室、技術教室			
B : 図画工作準備室、美術準備室			
C : 理科準備室 (中学校)			

仕様			
番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	棚板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	棚受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	框戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装

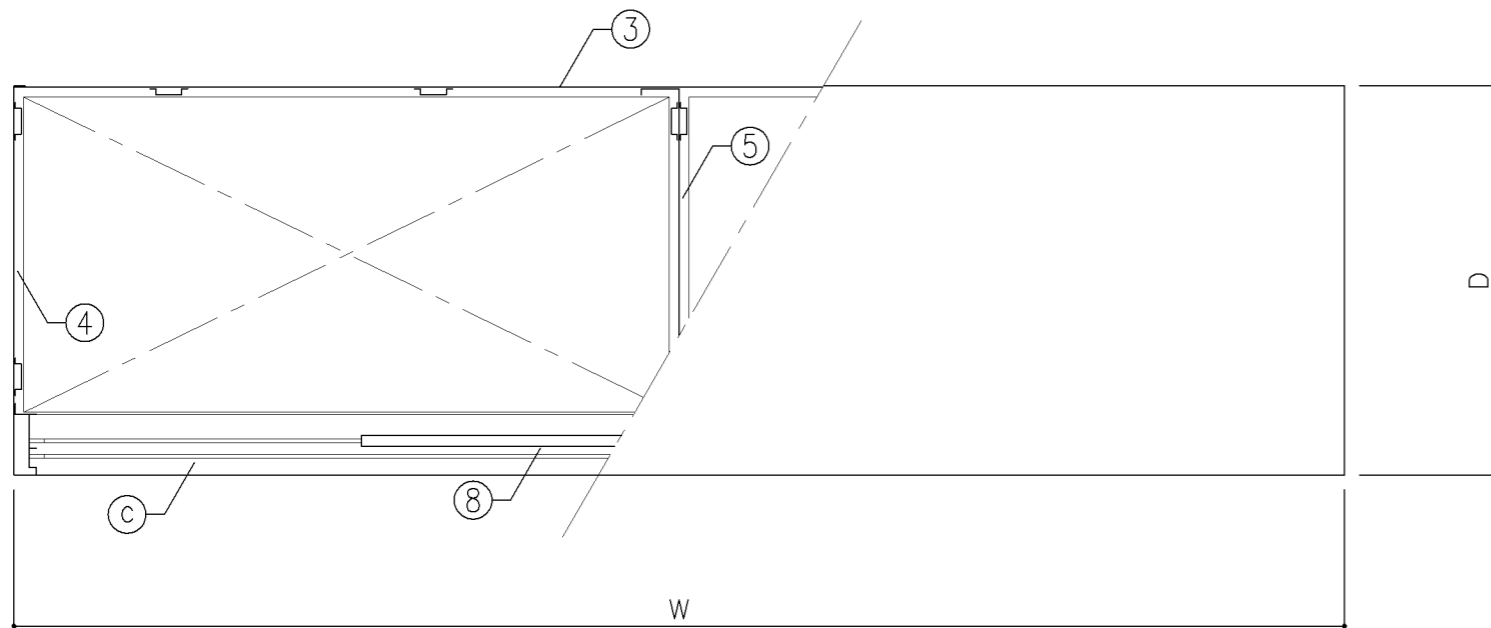
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
a	鍵飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
b	掘込引手	アルミ	アルマイト
c	レール	SPCC 0.8	焼付塗装
d	リリゲ-ブツ鍵	亜鉛合金	ニッケルメッキ
e	棚爪	SGC	
f	硝子	73ポリカーボネード板	

特記事項

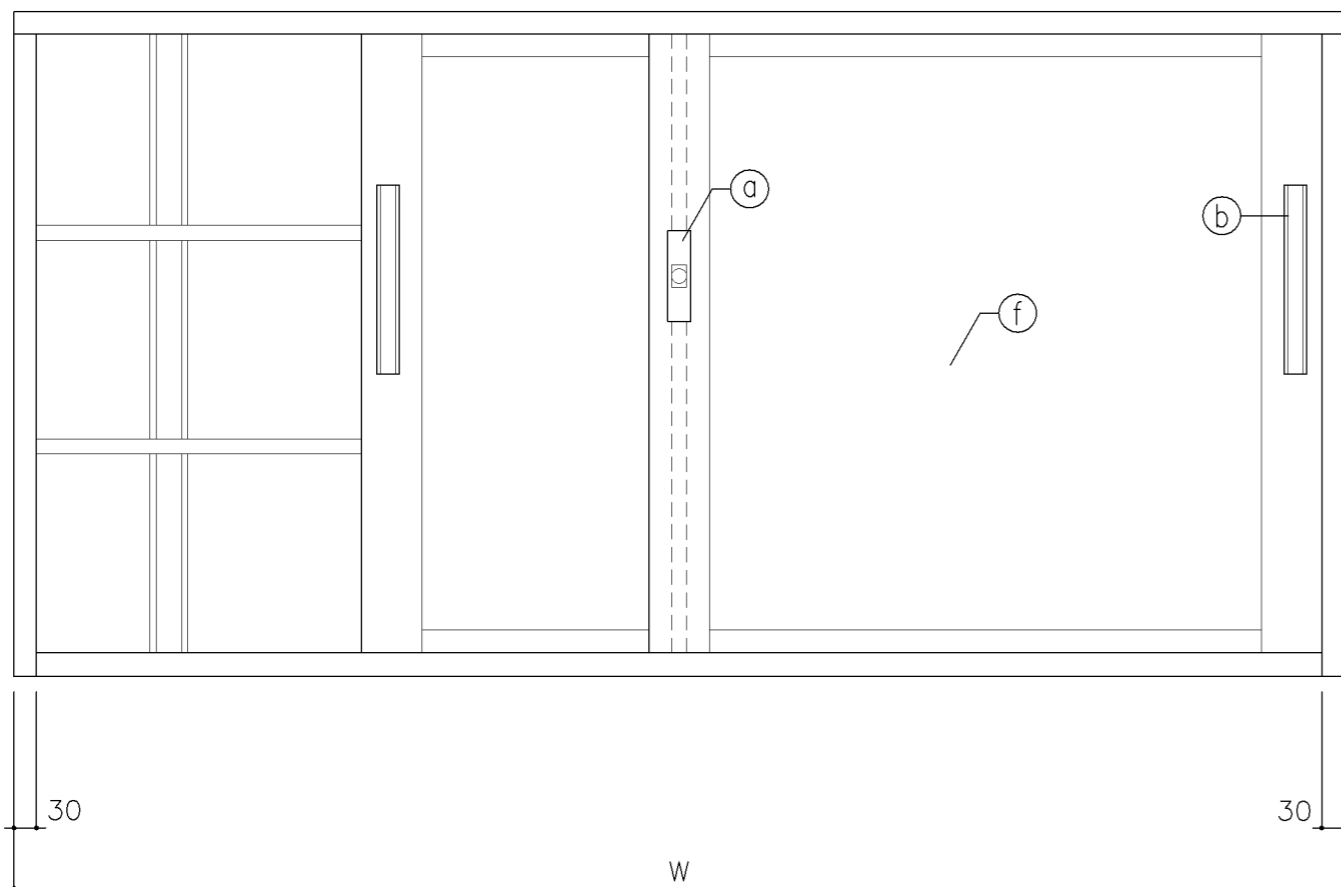
名称	整理戸棚 (上段)		
縮尺	1/10	記号	G-214
設計年月日	令和4年3月		

参考図

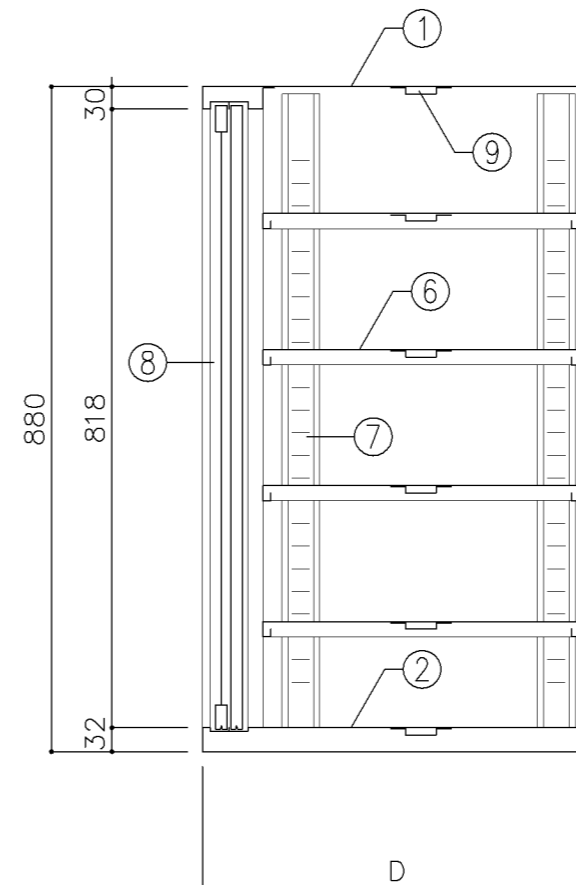
横浜市建築局



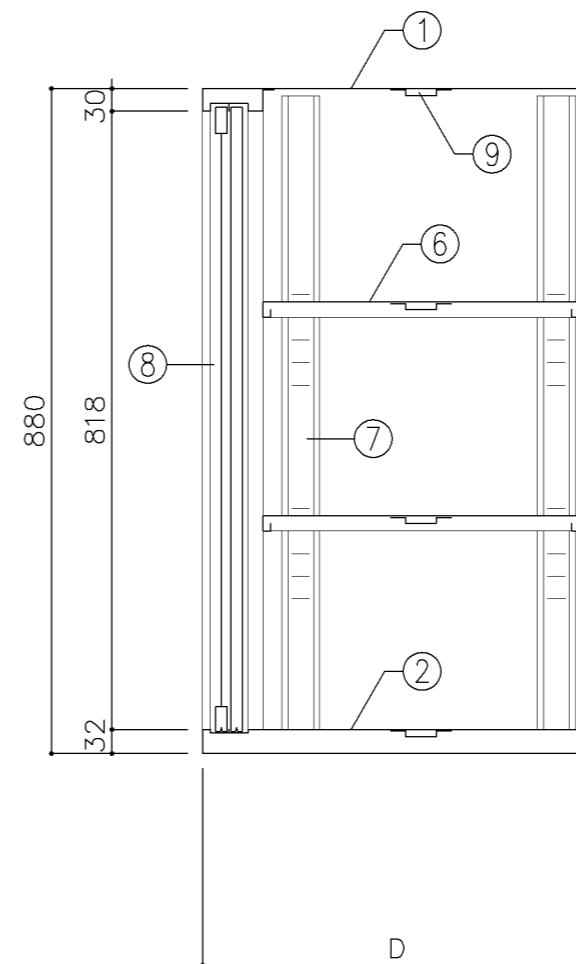
平面図



正面図



断面図



断面図

寸法			
A:	W1,760	x D 400	x H 880
B:	W1,760	x D 515	x H 880
C:	W1,650	x D 400	x H 880
D:	W1,550	x D 400	x H 880

使用箇所			
A: 理科準備室(小・中学校)、図書室(中学校)			
教育相談室、進路指導室			
多目的室(水廻り学習等)			
PTA会議室、地域交流室、特別活動室			
B: 保健相談室、図画工作準備室、美術準備室			
C: 家庭科準備室(中学校)			
D: 技術教室			

仕様			
番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	棚板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	棚受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	框戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装

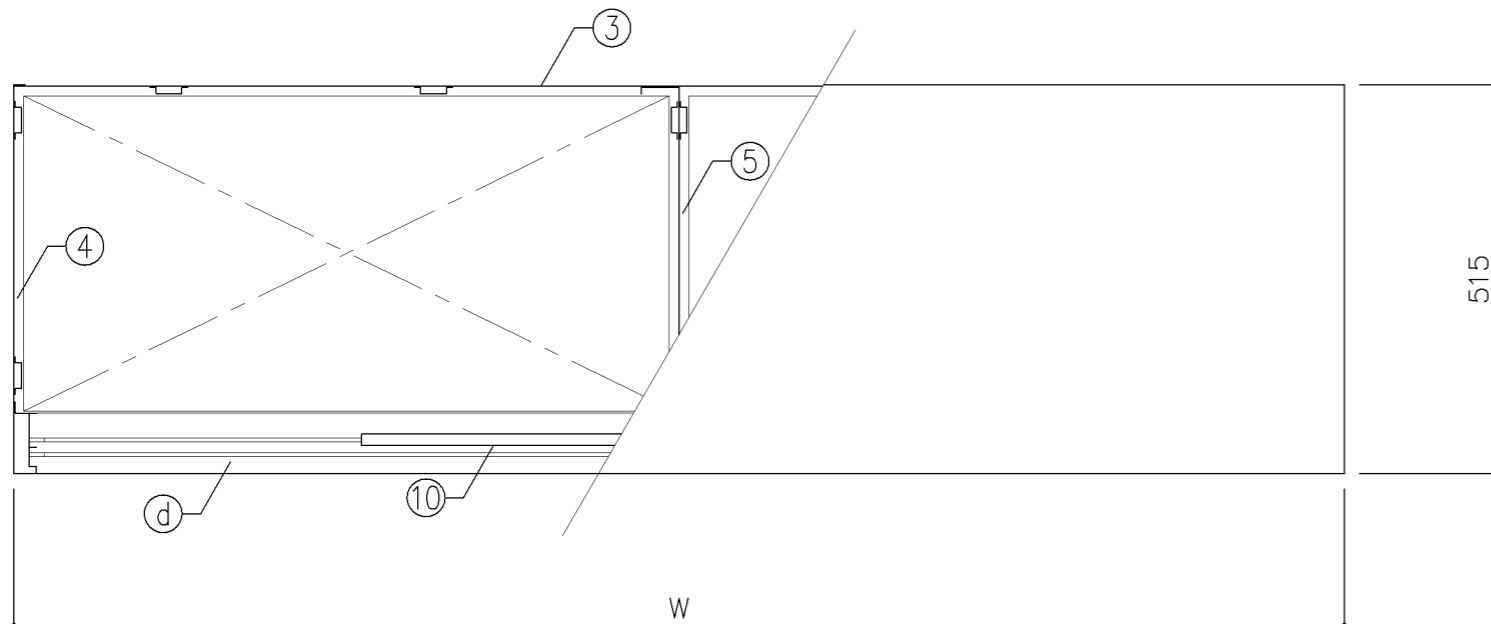
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	鍵飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
Ⓑ	掘込引手	アルミ	アルマイト
Ⓒ	レール	SPCC 0.8	焼付塗装
Ⓓ	ソリダ-ブツ鍵	亜鉛合金	ニッケルメッキ
Ⓔ	棚爪	SGC	
Ⓕ	硝子	73ポリカーボネード板	

特記事項			

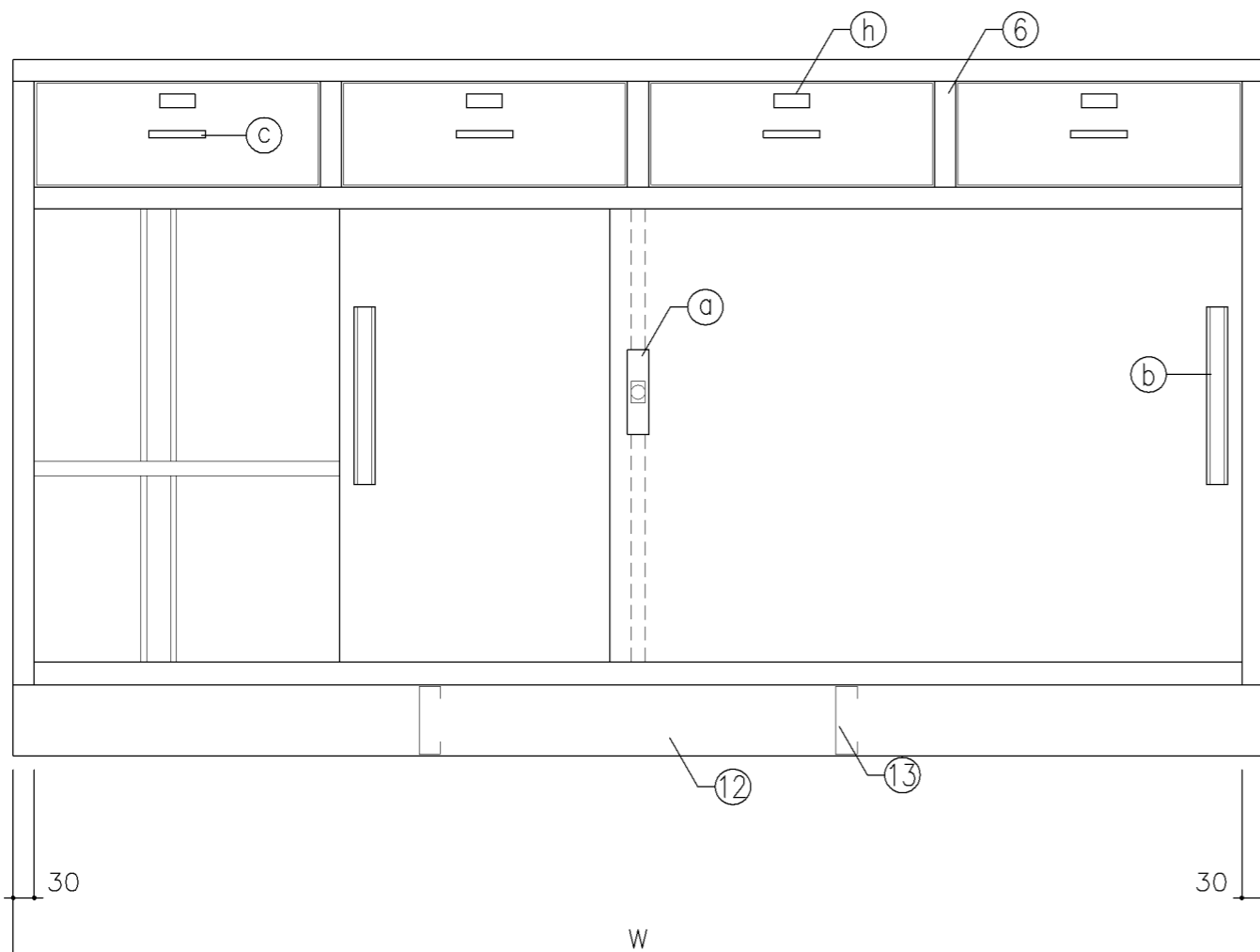
名称	整理戸棚(上段)		
縮尺	1/10	記号	G-215
設計年月日	令和4年3月		

参考図

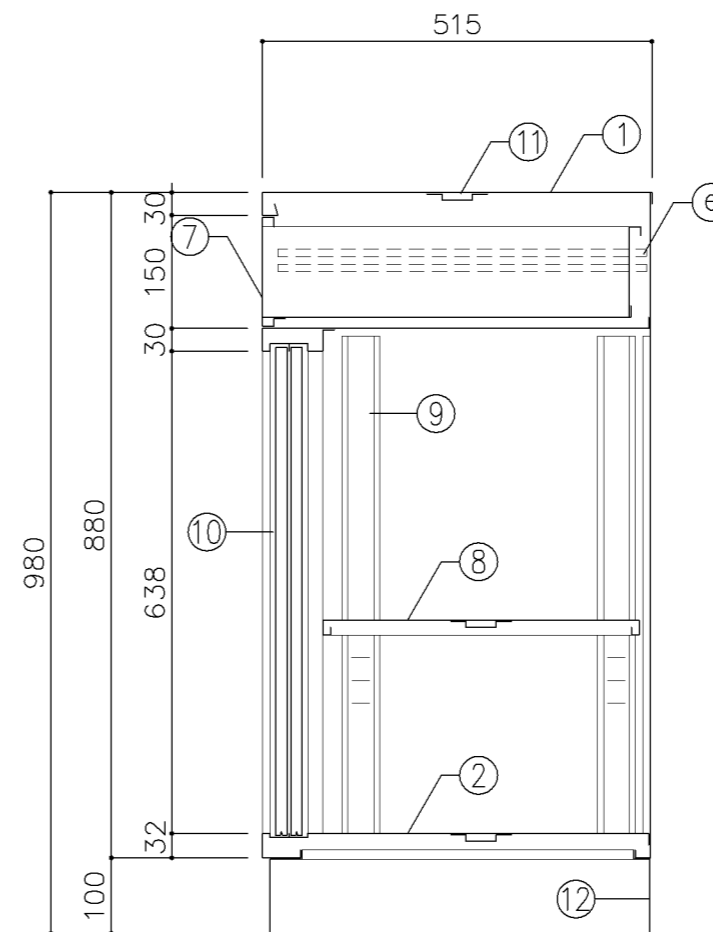
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

参考図

寸法

A: W1,650 x D 515 x H 980

B: W1,760 x D 515 x H 980

使用箇所

A: 家庭科準備室(中学校)

B: 図画工作準備室

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	引出	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	棚板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	棚受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑩	引違戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑪	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑫	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
⑬	ベース補強	SPCC 1.0	焼付塗装

金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
a	鍵飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
b	掘込引手	アルミ	アルマイト
c	掘込引手	アルミ	アルマイト
d	レール	SPCC 0.8	焼付塗装
e	レール	SPCC 1.6	焼付塗装
f	ソリダアッパツ鍵	亜鉛合金	ニッケルメッキ
g	棚爪	SGC	
h	名札入		

特記事項

名称 引出付整理戸棚

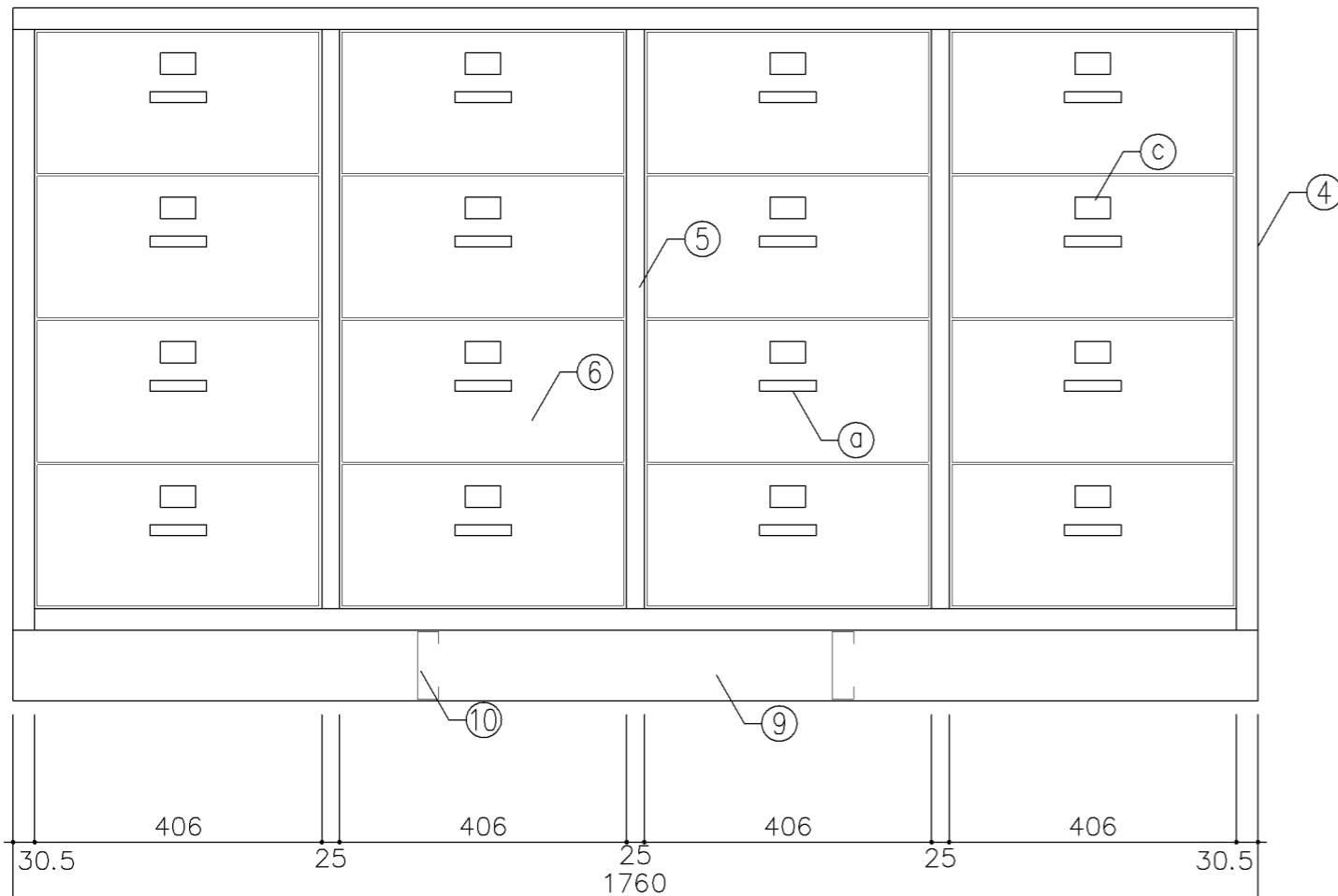
縮尺 1/10 記号 G-230

設計年月日 令和4年3月

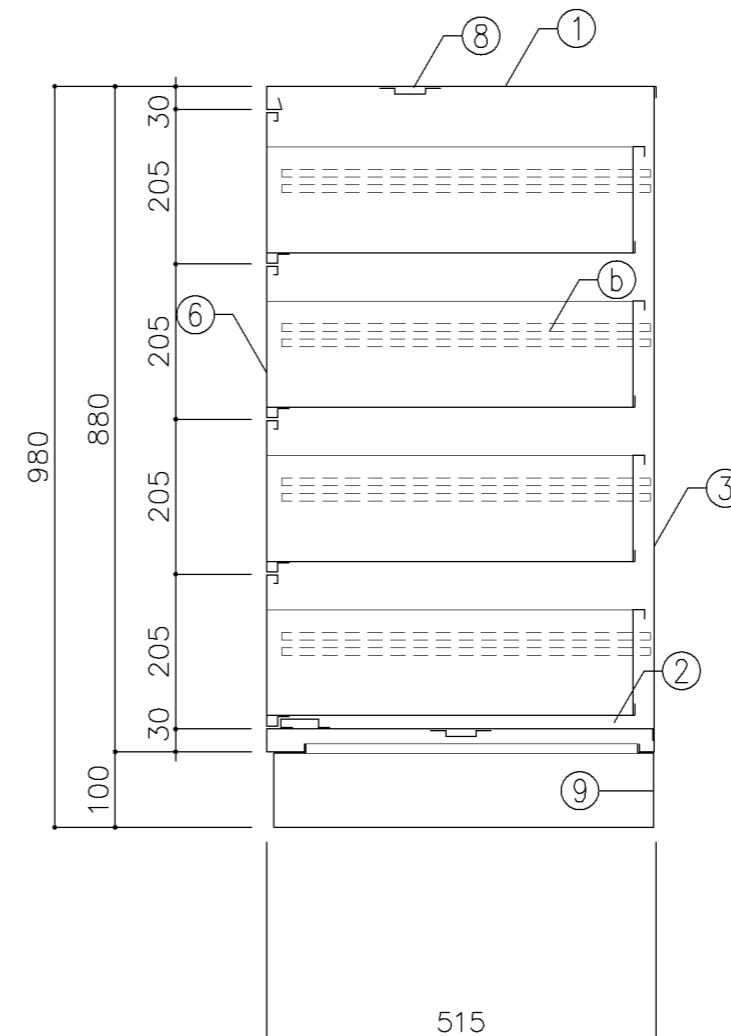
横浜市建築局



平面図



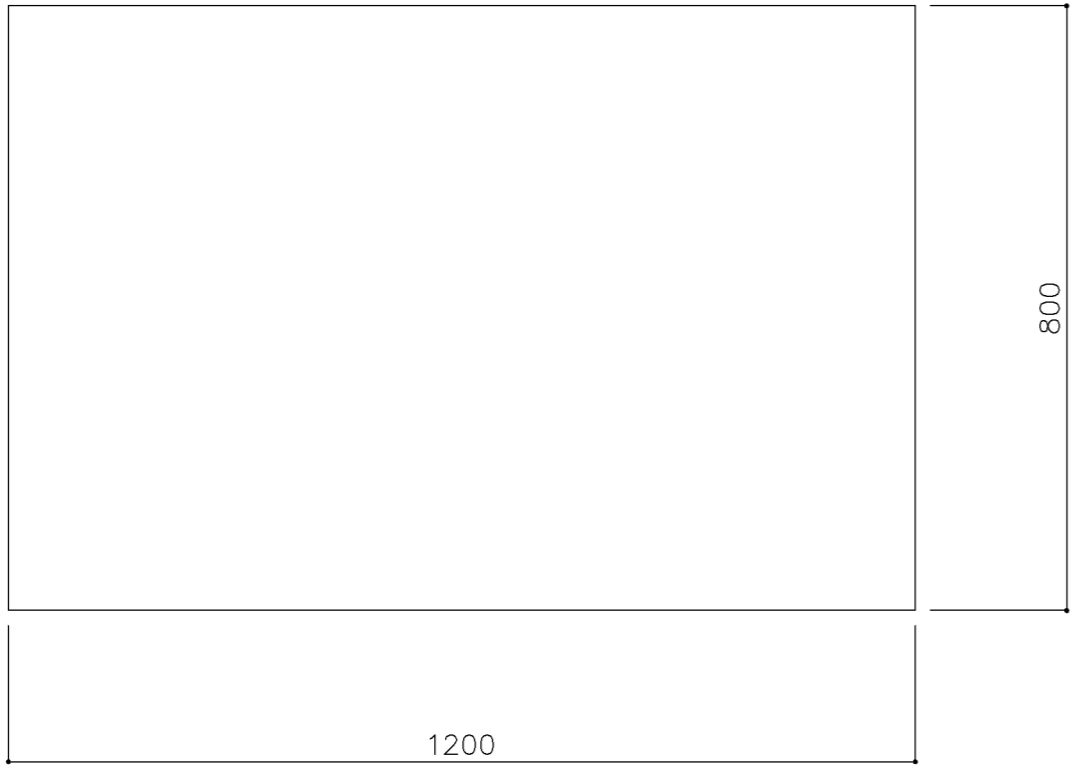
正面図



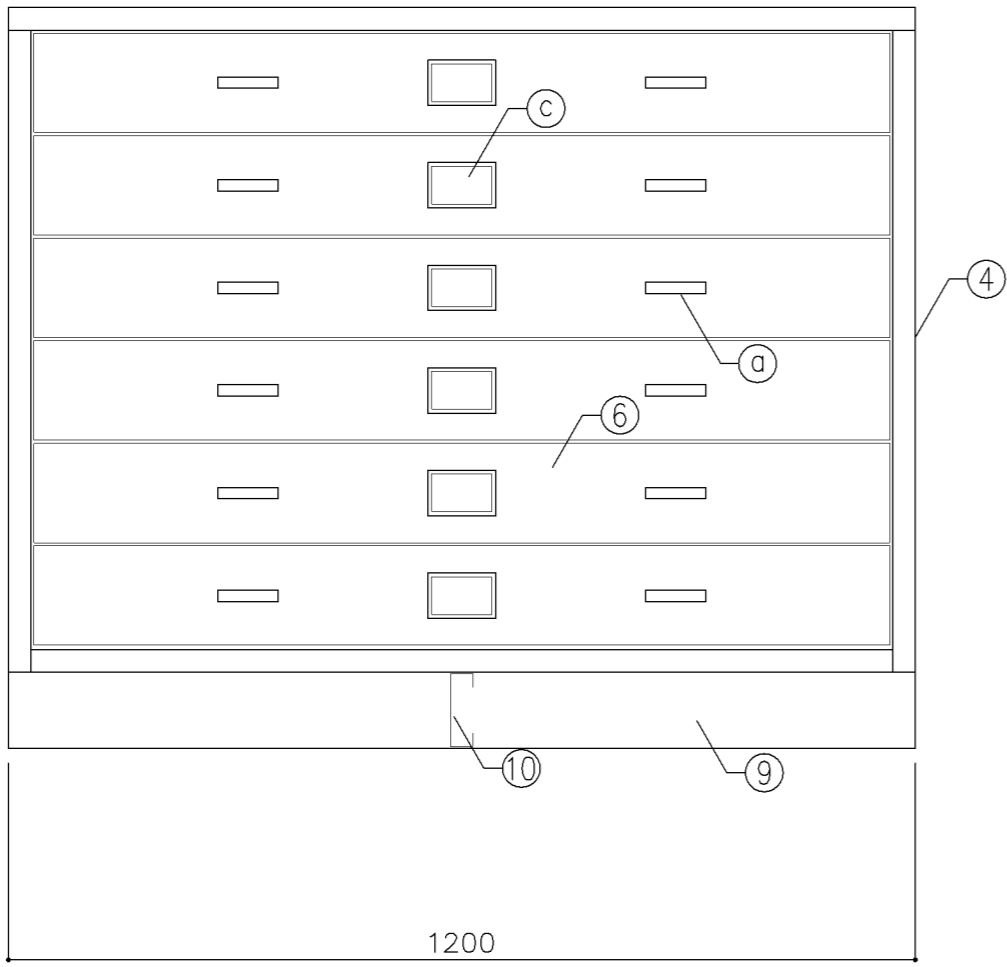
断面図

寸法			
W1,760 x D 515 x H 980			
使用箇所			
図画工作準備室			
仕様			
番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	引出	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	引出受	SPCC 1.6	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
⑩	ベース補強	SPCC 1.0	焼付塗装
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	掘込引手	アルミ	アルマイト
Ⓑ	レール	SPCC 1.6	焼付塗装
Ⓒ	名札入		
特記事項			
名称		整理引出キャビネット	
縮尺	1/10	記号	G-231
設計年月日		令和4年3月	
横浜市建築局			

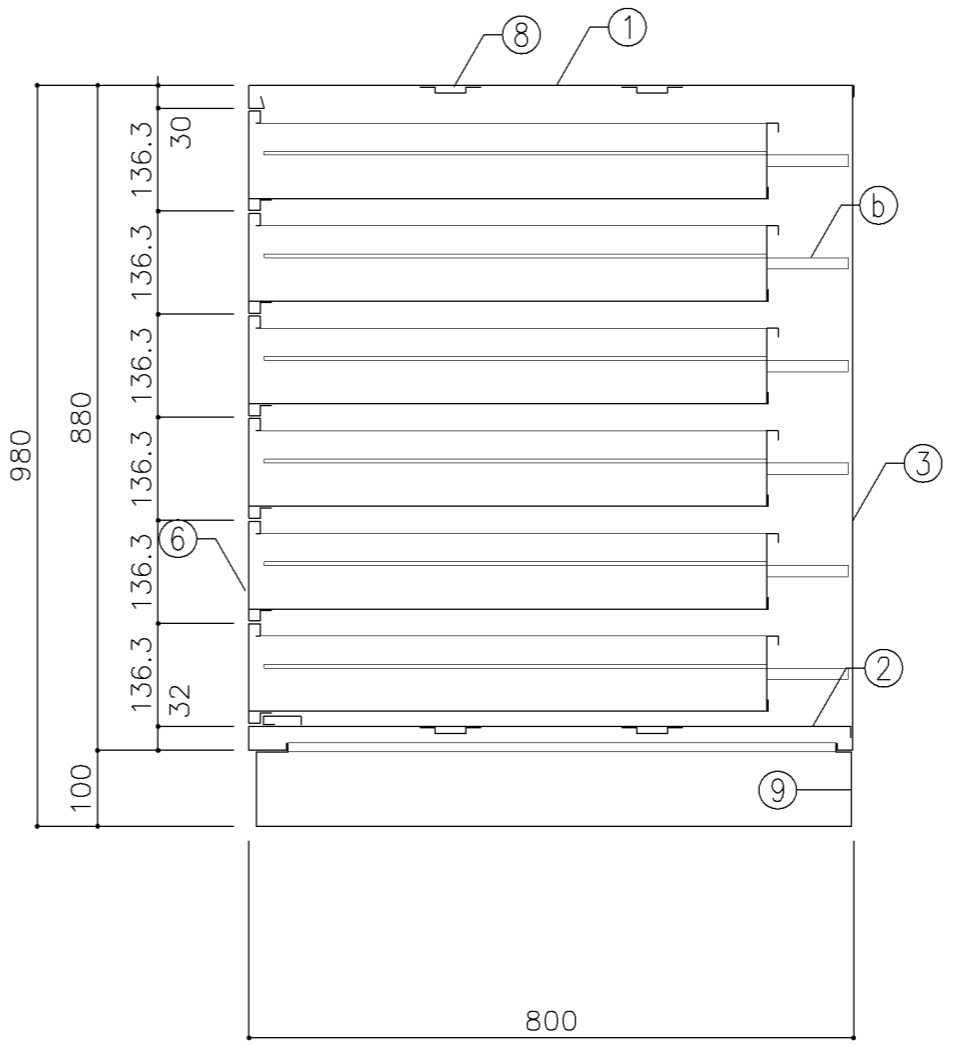
参考図



平面図



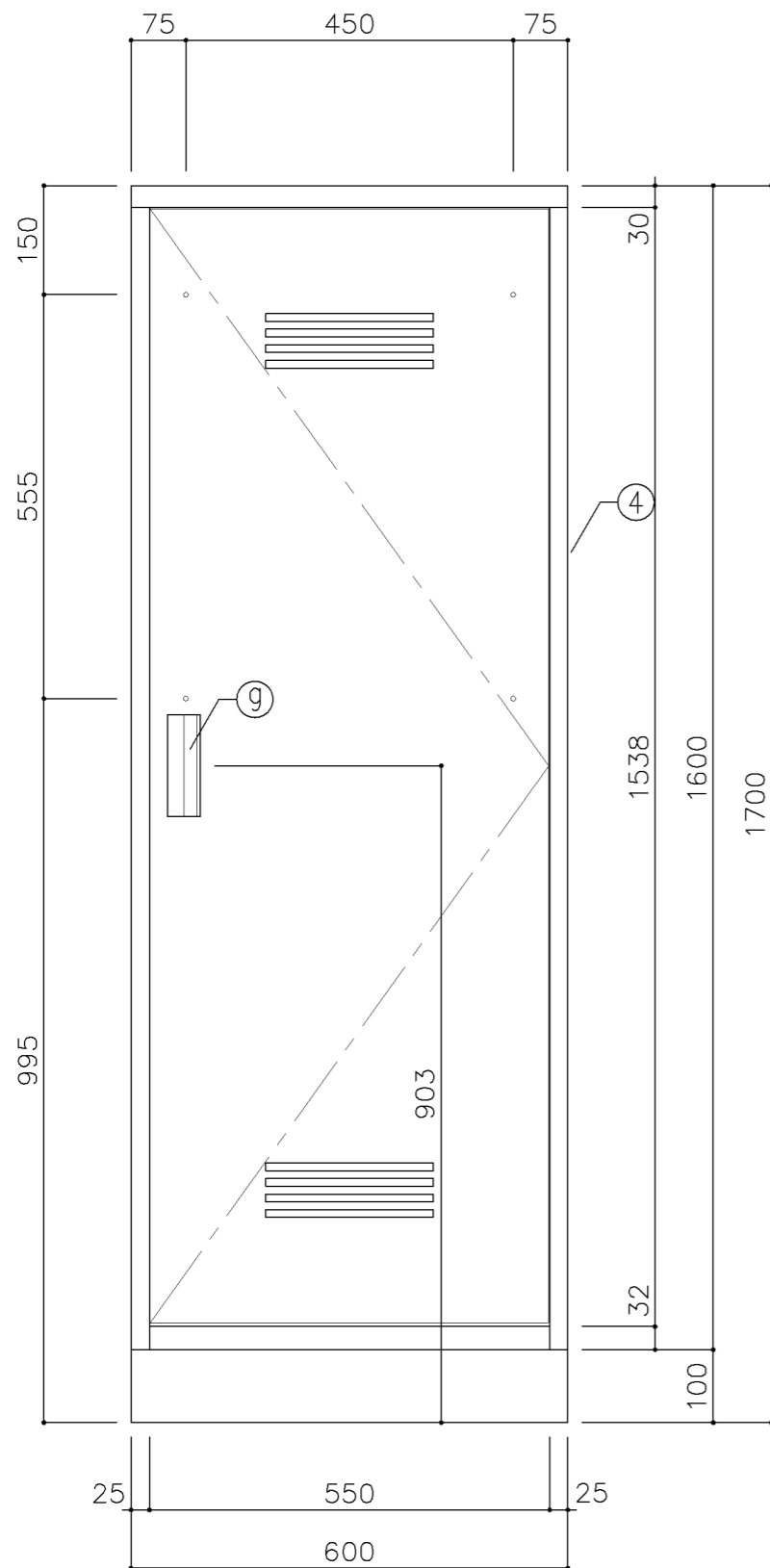
正面図



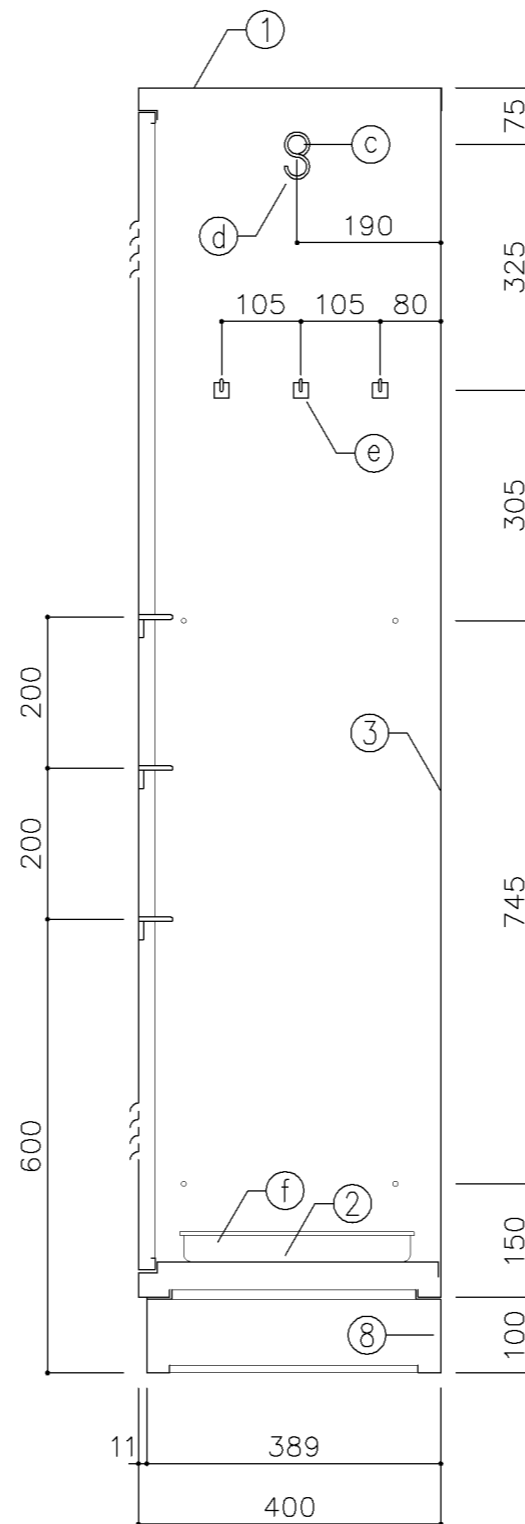
断面図

寸 法			
W1,200 x D 800 x H 980			
使用箇所			
図画工作準備室、美術準備室			
仕 様			
番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	中仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	引出	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	引出受	SPCC 1.6	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
⑩	ベース補強	SPCC 1.0	焼付塗装
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	掘込引手	アルミ	アルマイト
Ⓑ	レール	SPCC 1.6	焼付塗装
Ⓒ	名札入		
特記事項			
名称		引出箱保管庫	
縮尺	1/10	記号	G-232
設計年月日		令和4年3月	
横浜市建築局			

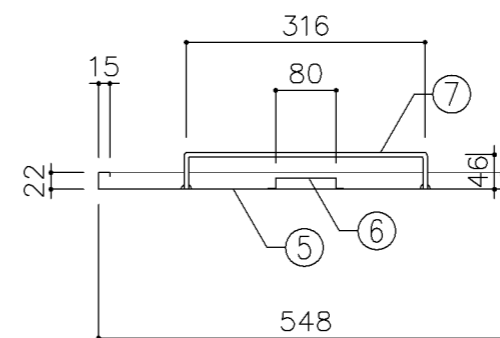
参考図



正面図



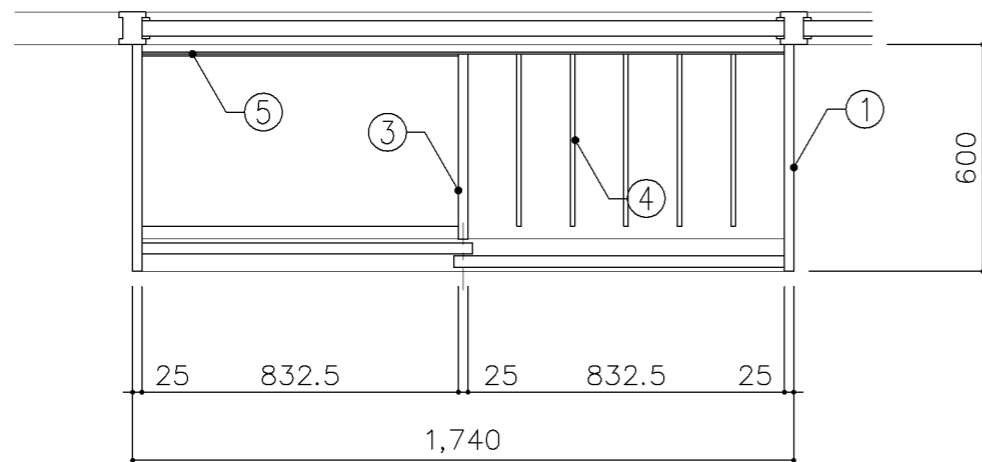
断面図



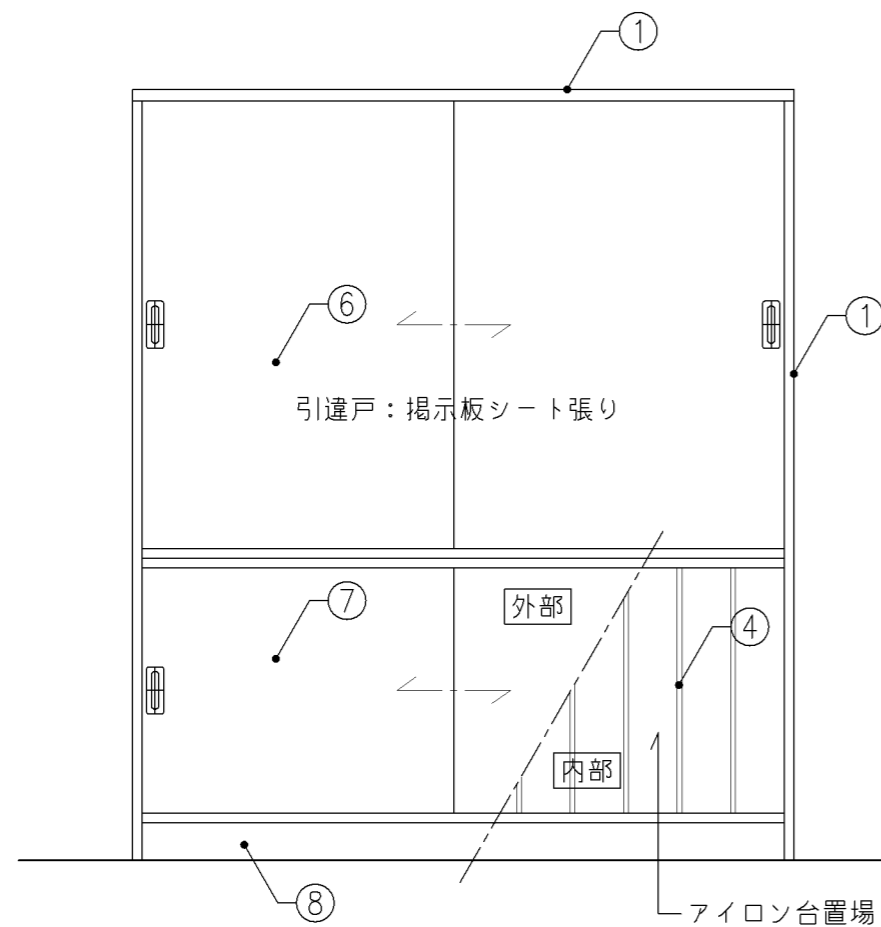
扉断面図

寸 法			
W 600 x D 400 x H 1,700			
使用箇所			
理科教室 (小・中学校)			
家庭科教室 (小・中学校)			
音楽教室、図画工作教室、美術教室			
技術教室、図書室 (小・中学校)			
教育相談室、特別活動室、進路指導室			
多目的室 (水廻り学習等)			
職員室 (小・中学校)、会議室、印刷室			
保健室・保健相談室、倉庫			
放送スタジオ室 (小・中学校)			
技術員室2 (小学校)			
技術員室 (中学校)			
給食配膳室 (1)、給食配膳室 (2)			
地域交流室、PTA会議室			
仕 様			
番号	名称	材質	仕上
①	天 板	SPCC 0.8	焼付塗装
②	地 板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏 板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側 板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	扉 板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	扉補強	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	雑巾掛	SWRM 6φ	
⑧	ベース	SPCC 1.0	
⑨	隅金具	SPCC 2.3	
⑩	アジャスター	SWRM PE	
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	T 番	SPCC 1.2	
Ⓑ	マグネット		
Ⓒ	ハガ-パイ	ハガ-パイ (SUS) 25φ	
Ⓓ	S カン	SWRM 3φ	
Ⓔ	フック	ABS	
Ⓕ	トレ-	SUS304	
Ⓖ	把手	A6063S	
特記事項			
名称	掃除用具入		
縮尺	1/10	記号	G-280
設計年月日	令和4年3月		
横浜市建築局			

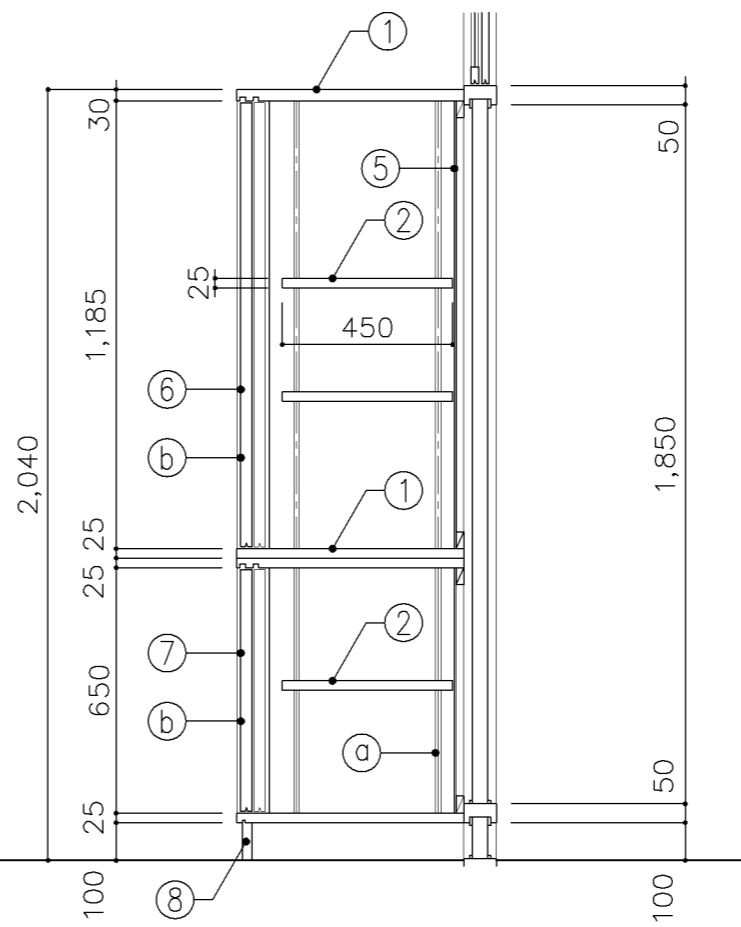
参考図



平面図



正面図



断面図

寸法
W1,740 x D 600 x H 2,040

使用箇所
家庭科教室（小学校）

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	仕切板		φ12 しな合板 木口：ナラ突板張り	UC
⑤	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	引違戸	A-1	しな合板 片面掲示板シート張り	
⑦	引違戸	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

金物	
番号	使用箇所 名称
Ⓐ	可動棚 ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
Ⓑ	引違戸 シリンダー栓錠、国産材掘込引手

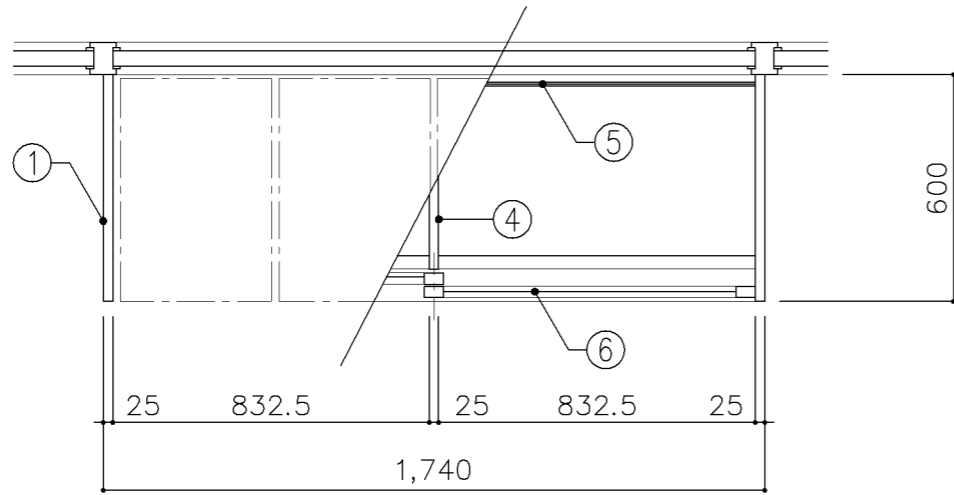
特記事項

- ・木口の形状については、G-300より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- ・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

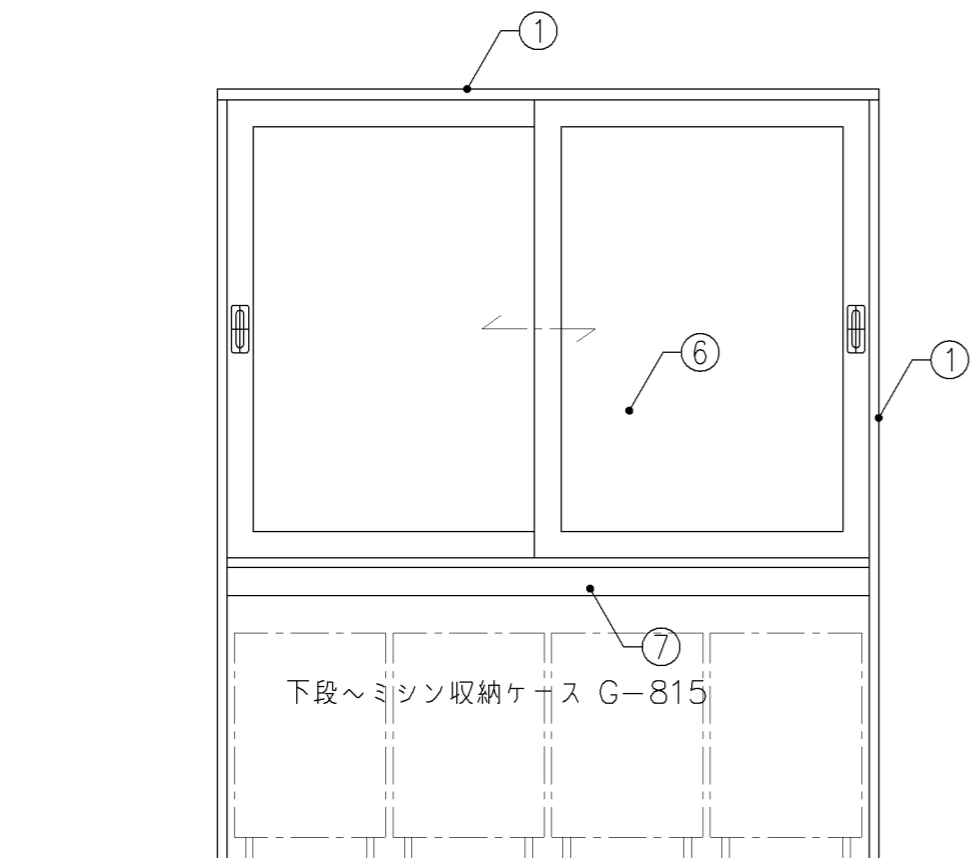
名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-311
設計年月	令和4年3月		

参考図

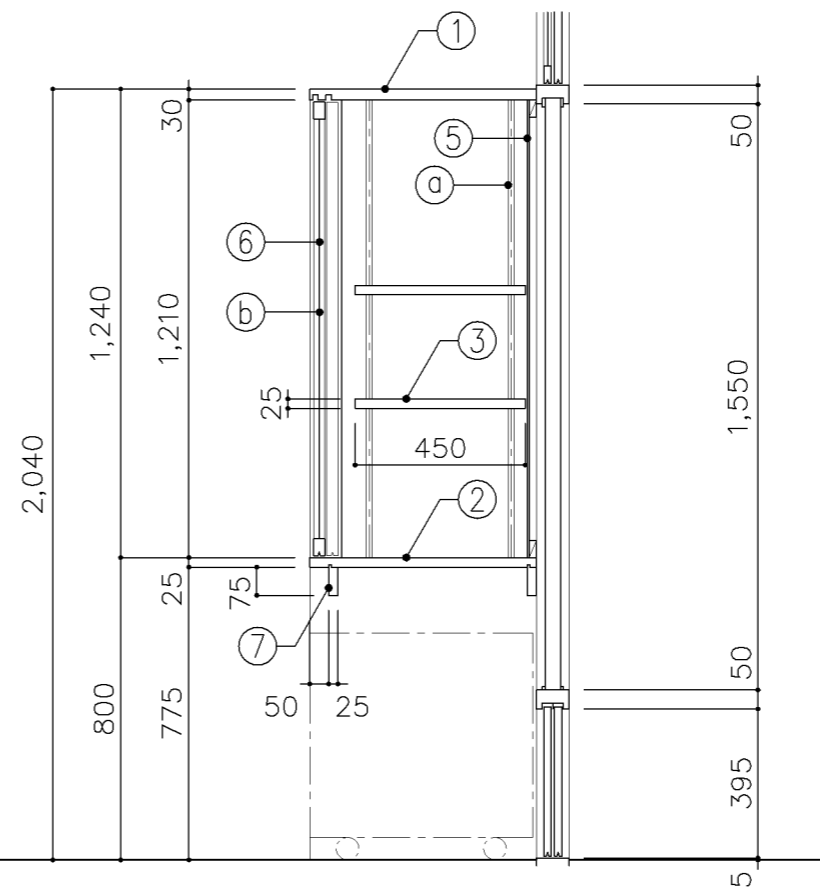
横浜市建築局



平面図



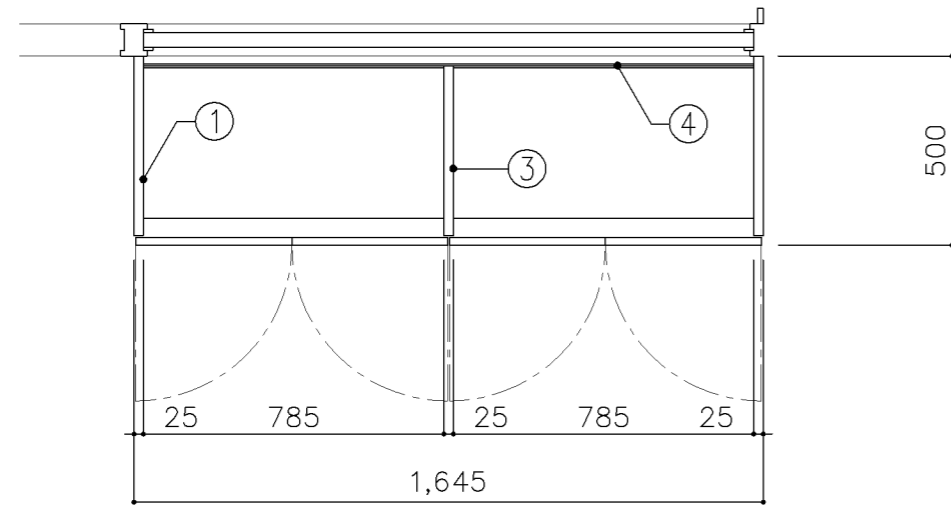
正面図



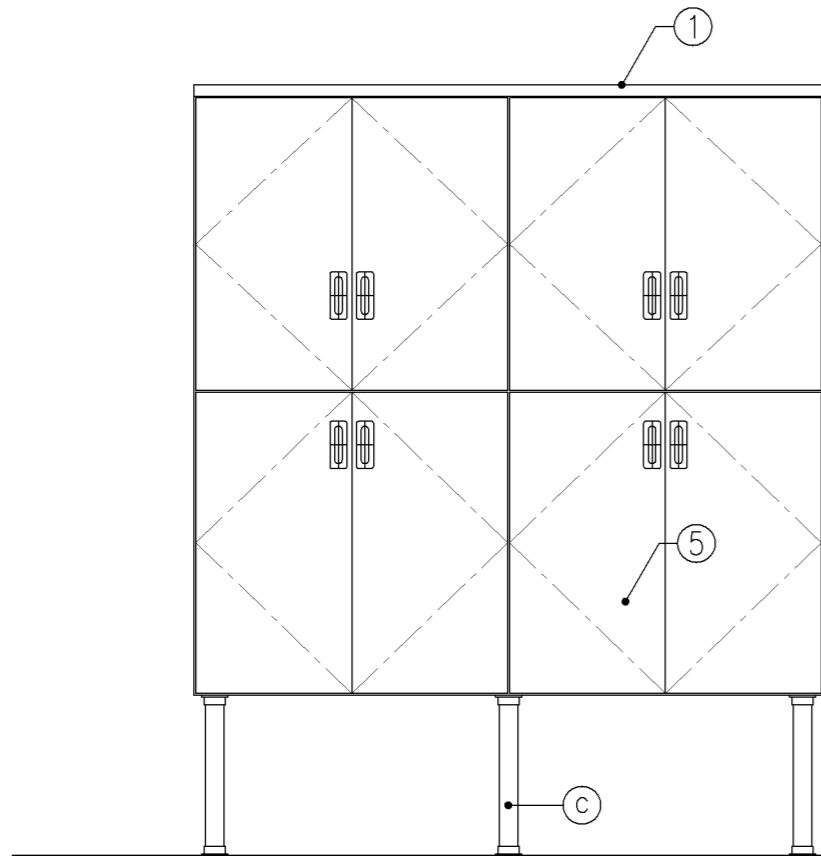
断面図

寸法				
W1,740 x D 600 x H 2,040				
使用箇所				
家庭科教室（小学校）				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	框戸		ッ3 ポリカーボネード板	
⑦	補強板	B-1	ポリエステル化粧合板	
金物				
番号	使用箇所	名称		
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）		
Ⓑ	框戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手		
特記事項				
・木口の形状については、G-300より選定する。				
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。				
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。				
・引違い戸の厚みは、30mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-312	
設計年月			令和4年3月	
横浜市建築局				

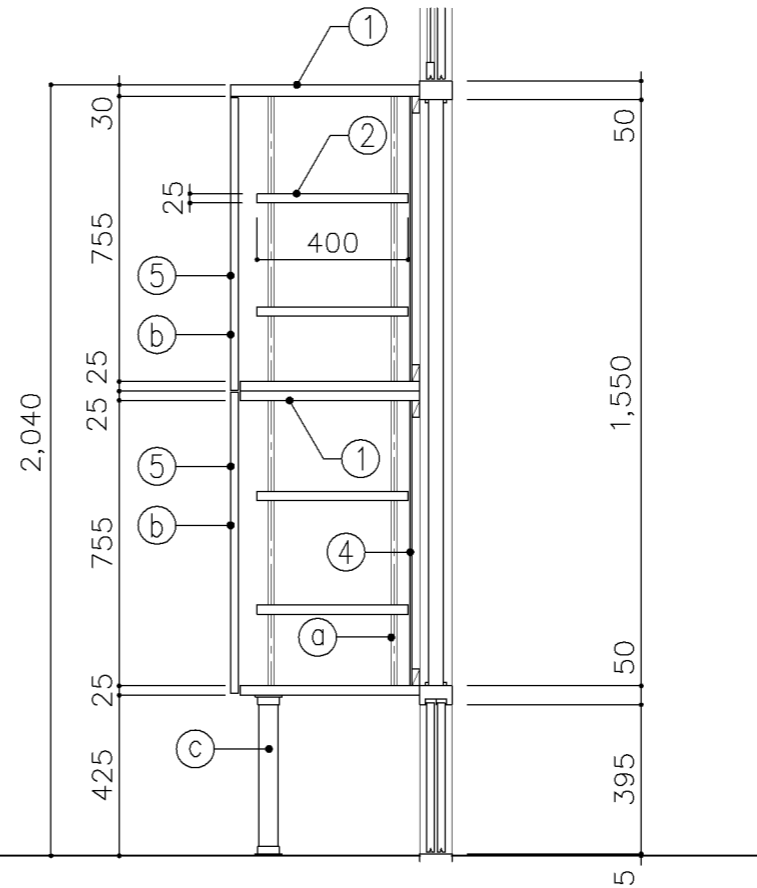
参考図



平面図



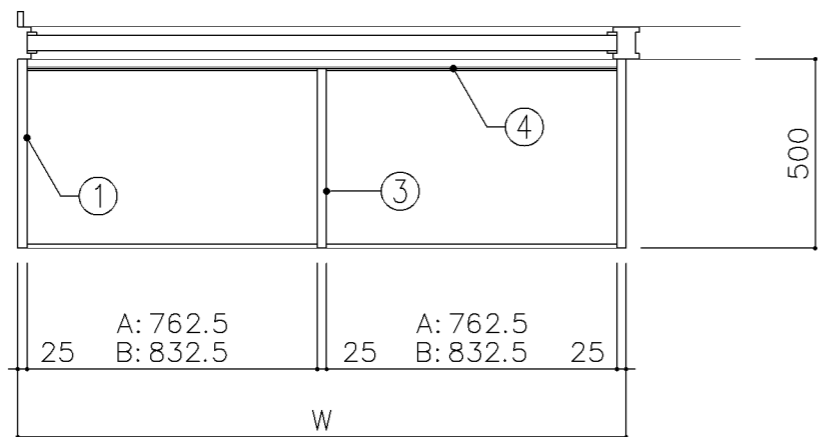
正面図



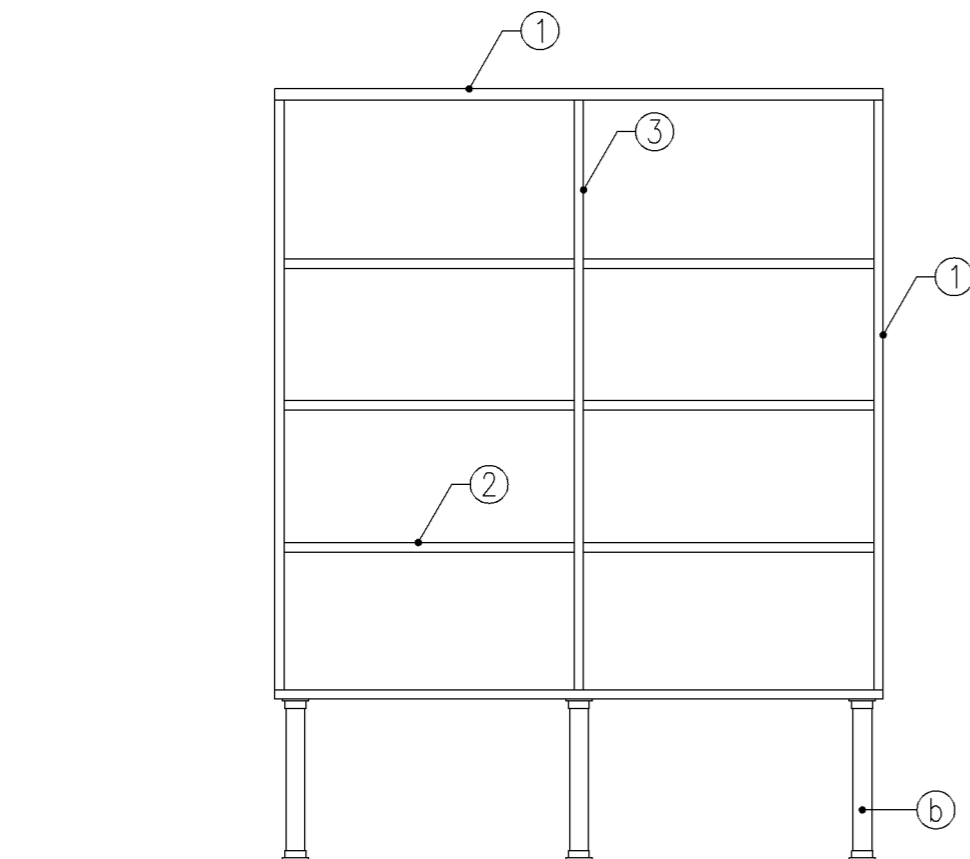
断面図

寸 法				
W1,645 x D 500 x H 2,040				
使用箇所				
美術教室				
図画工作教室				
多目的室（水廻り学習等）				
仕 様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	中仕切	A-1	しな合板	
④	裏板	片A-1	しな合板	
⑤	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
金 物				
番号	使用箇所	名称		
①	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）		
②	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、セーフラッチ		
③	脚	ステンレスパイプ 50φ（丸座共）		
特記事項				
・木口の形状については、G-300より選定する。				
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。				
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。				
・扉の厚みは、20mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-315A	
設計年月			令和4年3月	
横浜市建築局				

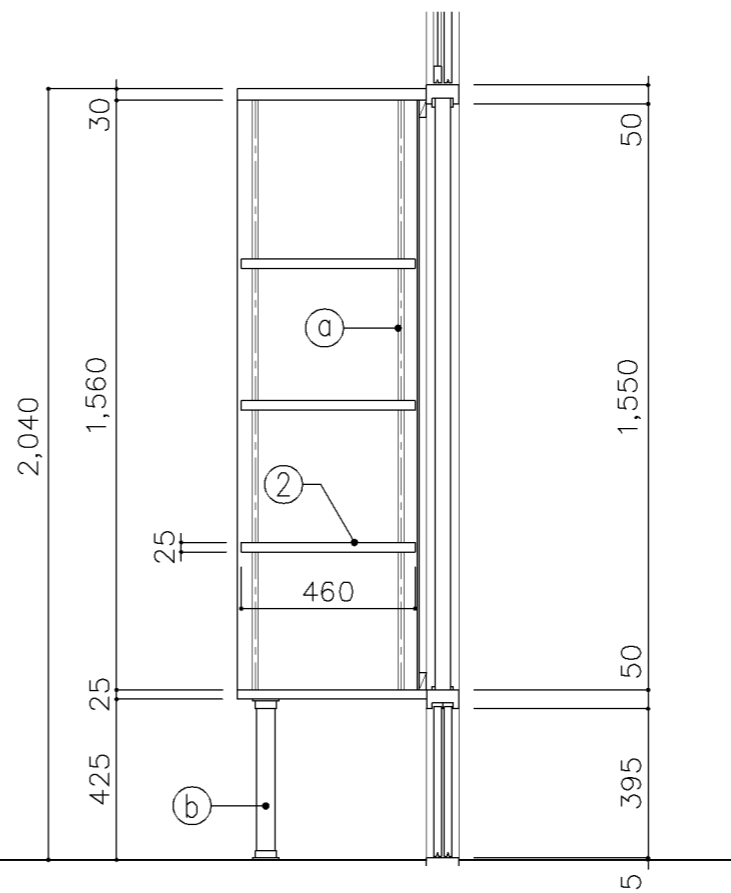
参考図



平面図



正面図



断面図

寸法

A: W1,600 x D500 x H2,040
B: W1,740 x D500 x H2,040

使用箇所

A: 保健室
B: 図画工作教室、美術教室

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	

金物

番号	使用箇所	名称
a	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)
b	脚	ステンレスパイプ 50φ (丸座共)

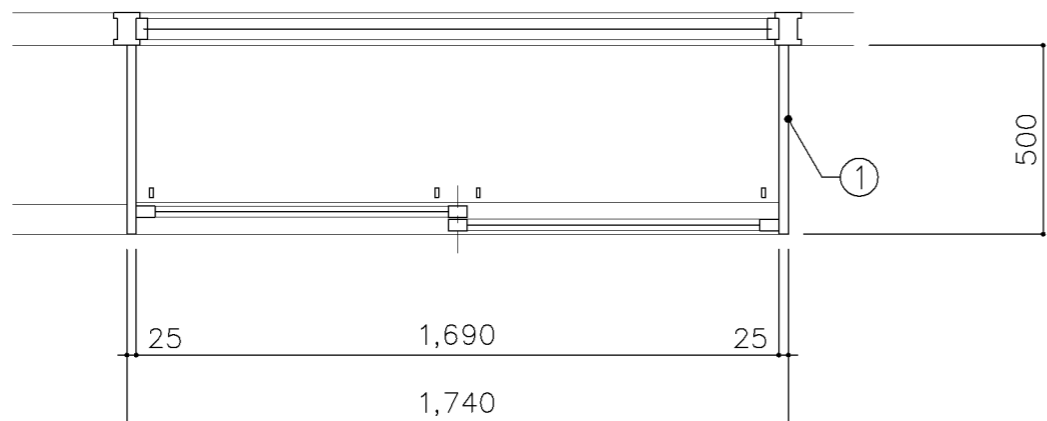
特記事項

- ・木口の形状については、G-300より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

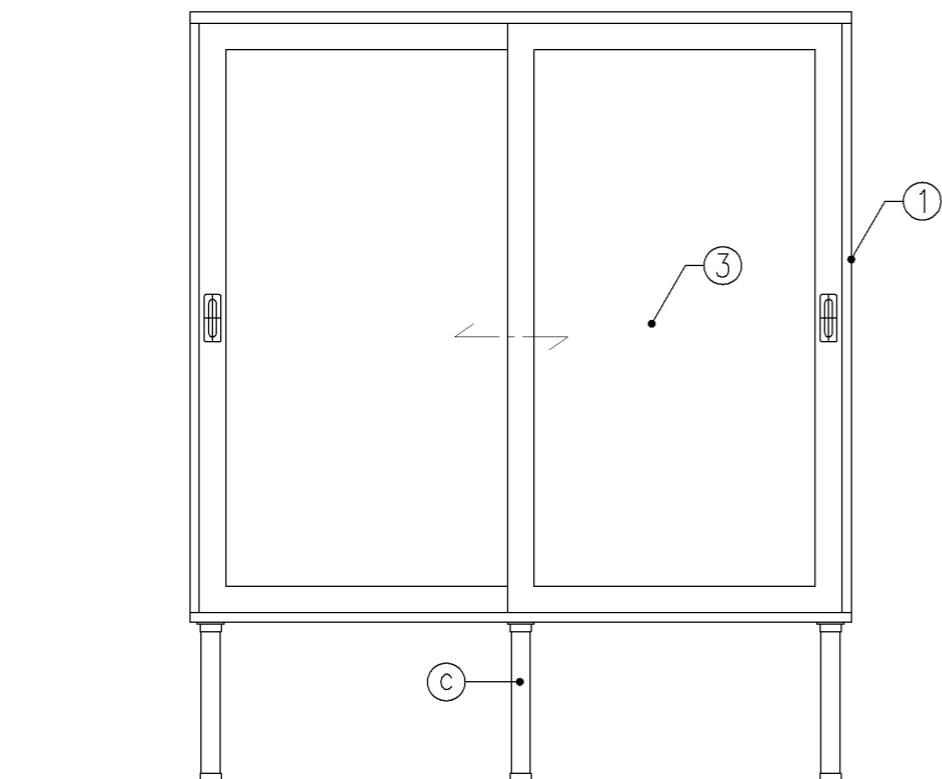
名称	展示棚		
縮尺	1/20	記号	G-320
設計年月	令和4年3月		

参考図

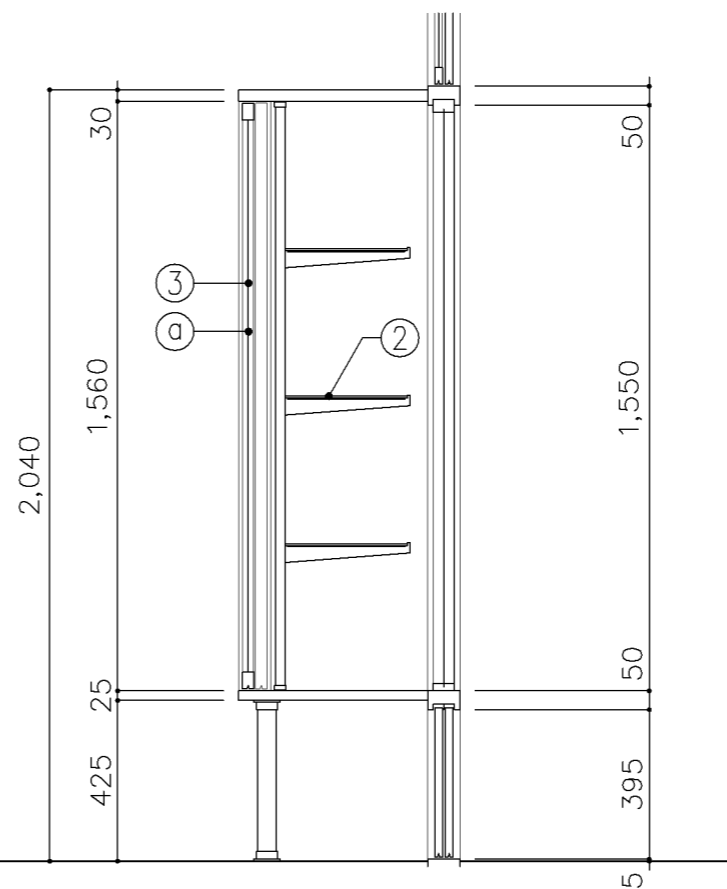
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸 法				
W1,740 x D 500 x H 2,040				
使用箇所				
図画工作教室				
仕 様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	ガラス棚		φ5 透明	
③	框戸		φ5 ポリカーボネード板	

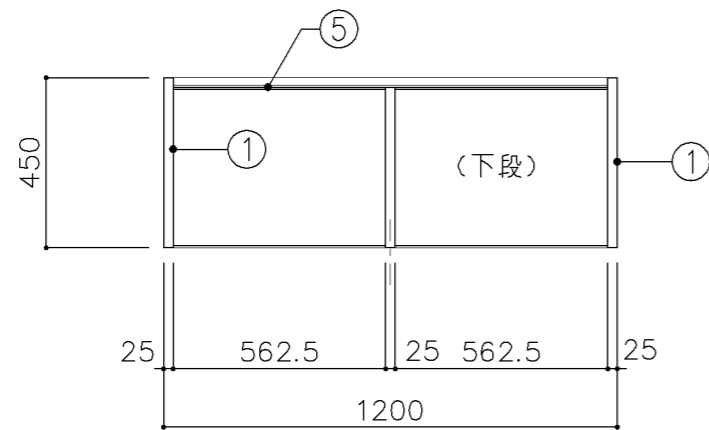
金 物	
番号	使用箇所
①	名称
①	框戸
②	ガラス棚
③	脚

- 特記事項
- ・木口の形状については、G-300より選定する。
 - ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
 - ・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
 - ・芯材は、国産杉芯合板とする。

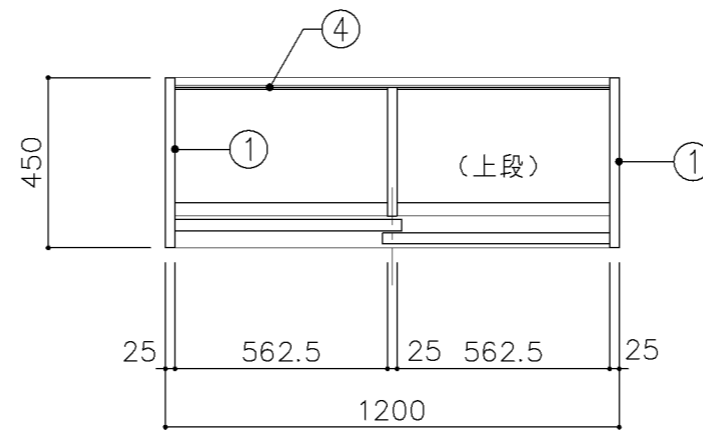
名称	ショーケース		
縮尺	1/20	記号	G-331
設計年月	令和4年3月		

参考図

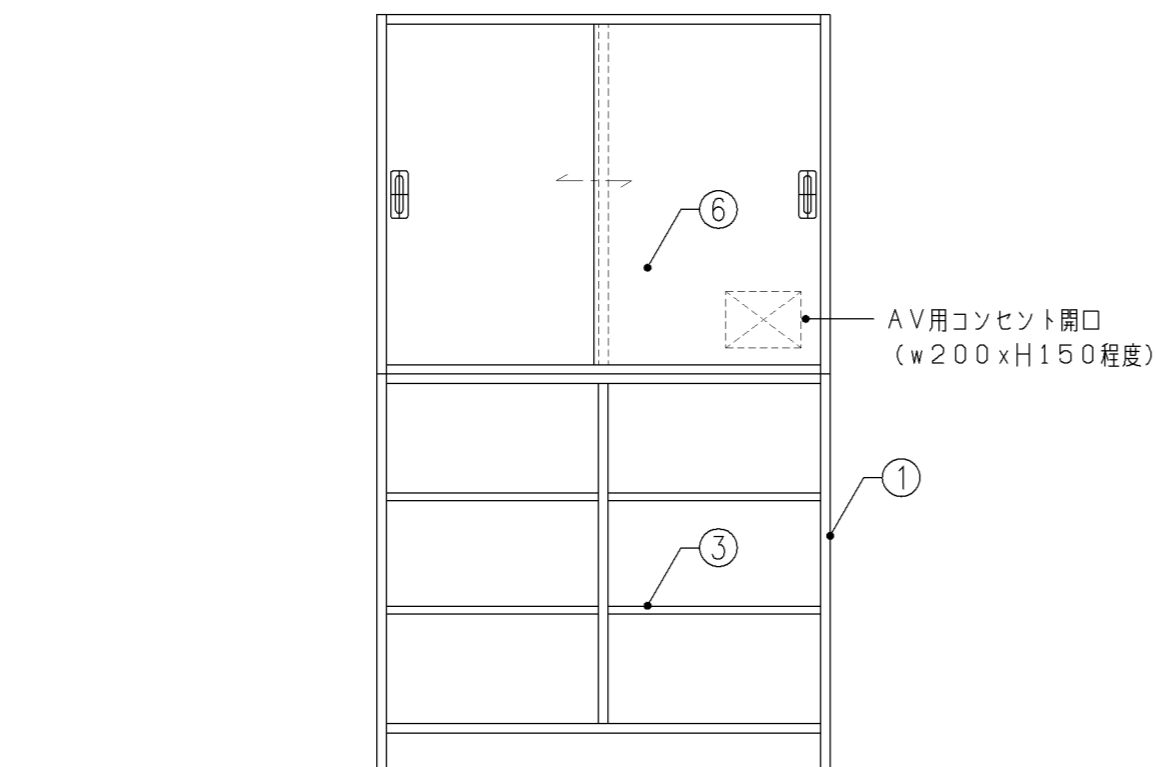
横浜市建築局



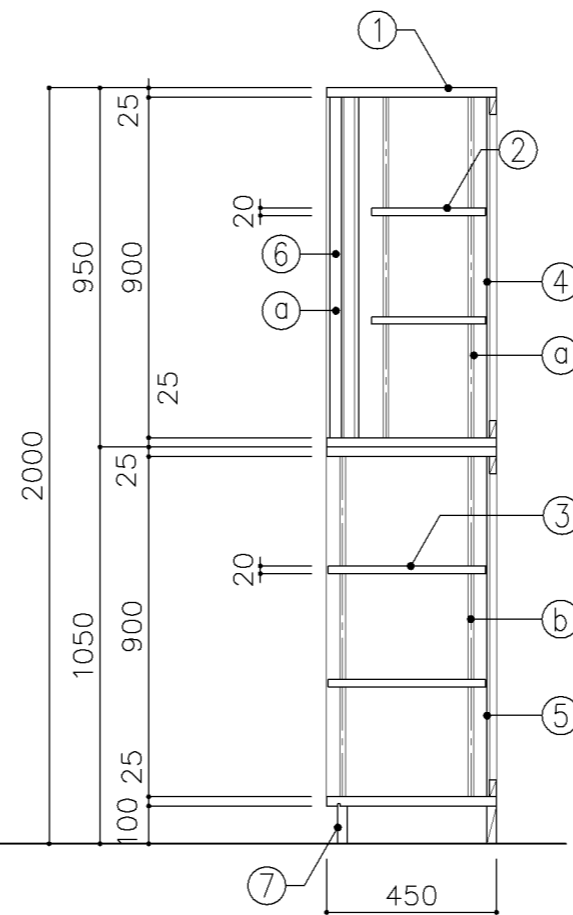
平面図



平面図



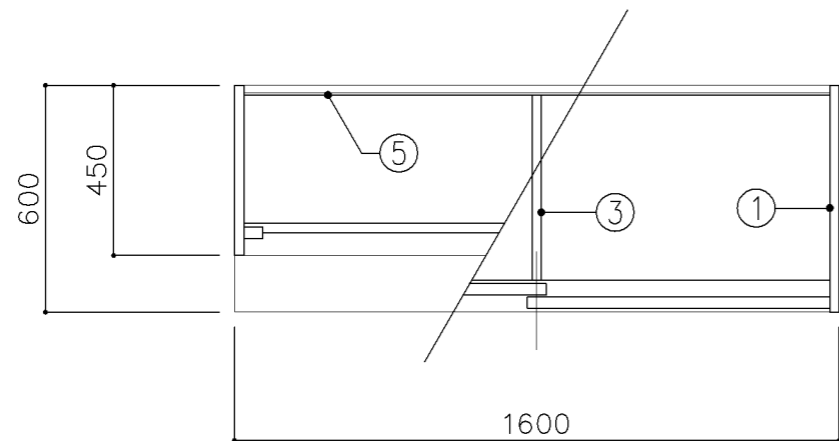
正面図



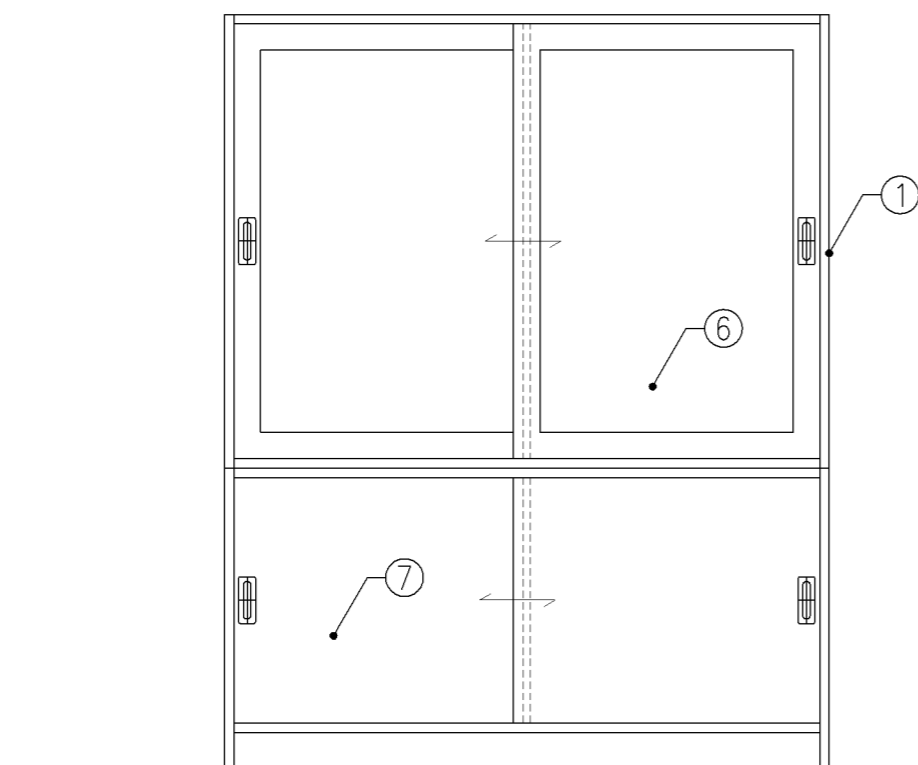
断面図

寸 法				
W 1,200 x D 450 x H 2,000				
使用箇所				
普通教室（小学校）				
多目的室（少人数）（小学校）				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	しな合板	
⑤	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	引違戸	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑦	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
Ⓐ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材堀込引手		
Ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）		
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛かりはポリエステル化粧合板とする。				
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。				
・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
・コンセント開口位置については電気工事請負業者と打合せ				
・コンセント用開口廻りは、棧にて補強する。				
名称	教師用戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-410	
設計年月		令和4年3月		
横浜市建築局				

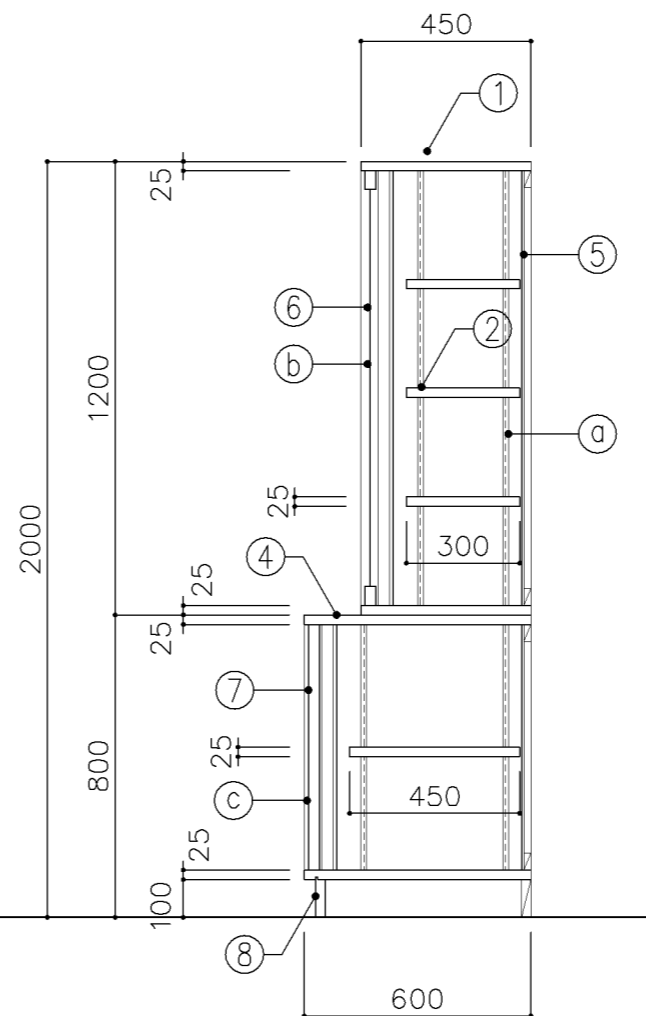
参考図



平面図



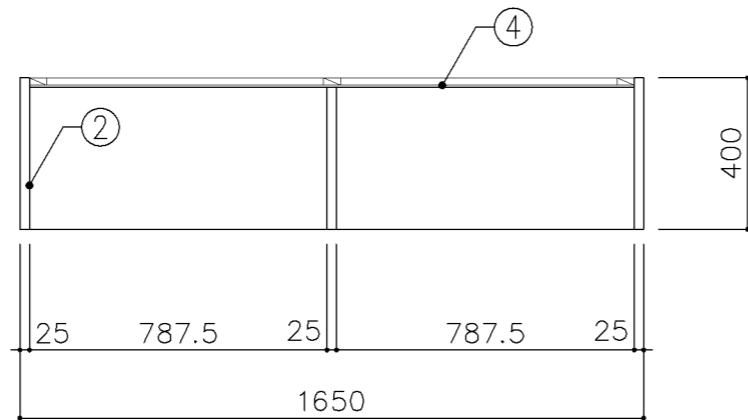
正面図



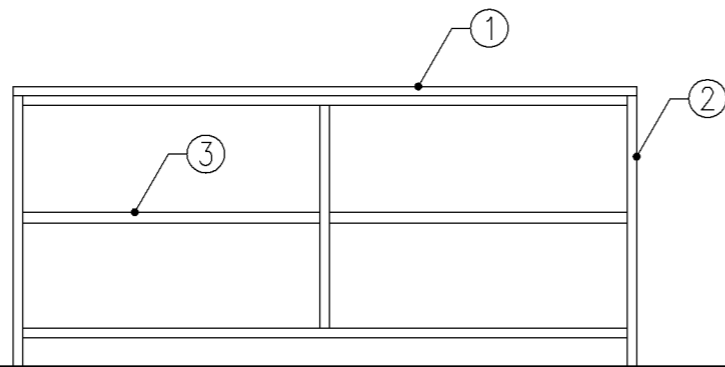
断面図

寸 法				
W1,600 x D 450/600 x H 2,000				
使用箇所				
家庭科教室 (小学校)				
家庭科準備室 (中学校)				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	天板	A-1	メラミン化粧板	
⑤	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	框戸		珪藻土ポリカーボネード板	
⑦	引違戸	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
a	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)		
b	框戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手		
c	引違戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手		
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。				
・フラッシュ戸 (引違い、扉) 内部は、しな合板とする。				
・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-416	
設計年月		令和4年3月		
横浜市建築局				

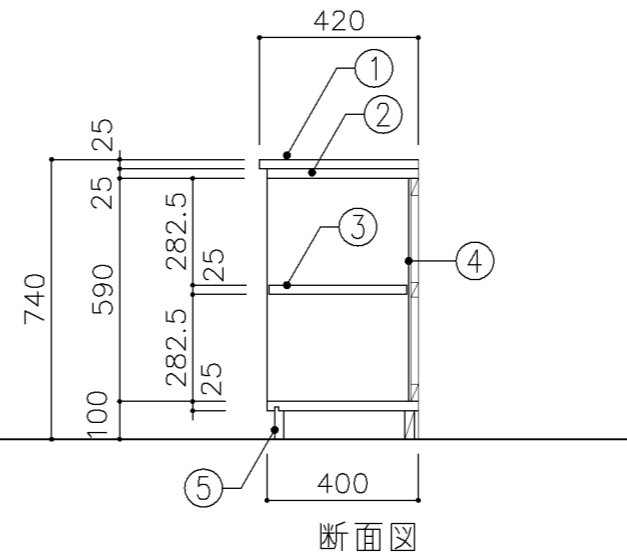
参考図



平面図



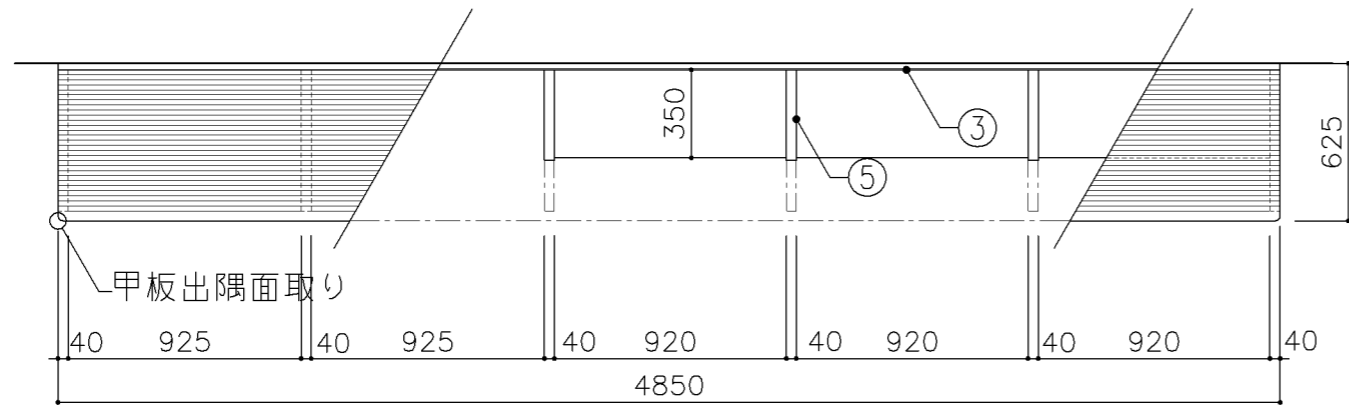
正面図



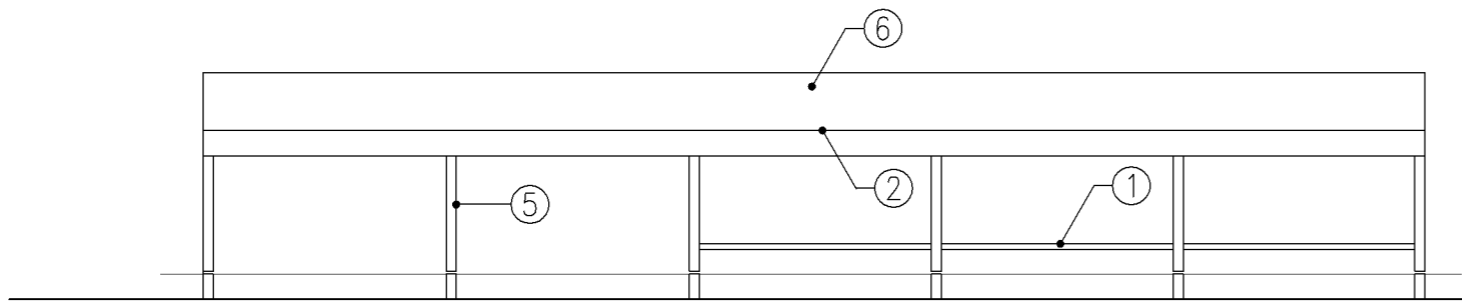
断面図

寸 法				
W1,650 x D 400 x H 740				
使用箇所				
普通教室（小学校）				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	天板		ア25タモ集成材	UC
②	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・見掛け部はポリエステル化粧合板とする。 ・天板はUC仕上とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 				
名称	観察台			
縮尺	1/20	記号	G-480	
設計年月			令和4年3月	
横浜市建築局				

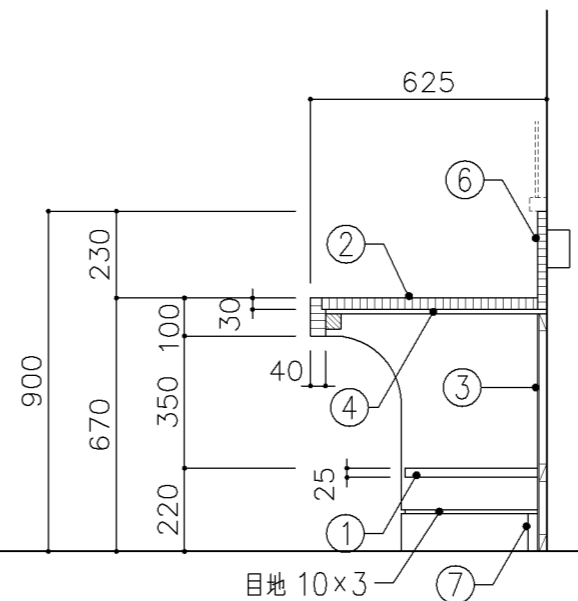
参考図



平面図 S: 1/30



正面図 S: 1/30



正面図 S: 1/20

寸法
W4,850 x D 625 x H 670

使用箇所
図画工作教室

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	天板		φ30 ナラ集成材	OS,UC
③	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
④	下地板		φ12 ラワン合板	
⑤	脚	B-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	立上り		φ20 ナラ集成材	OS,UC
⑦	巾木	A-1	ポリエステル化粧合板	

金物	
番号	使用箇所

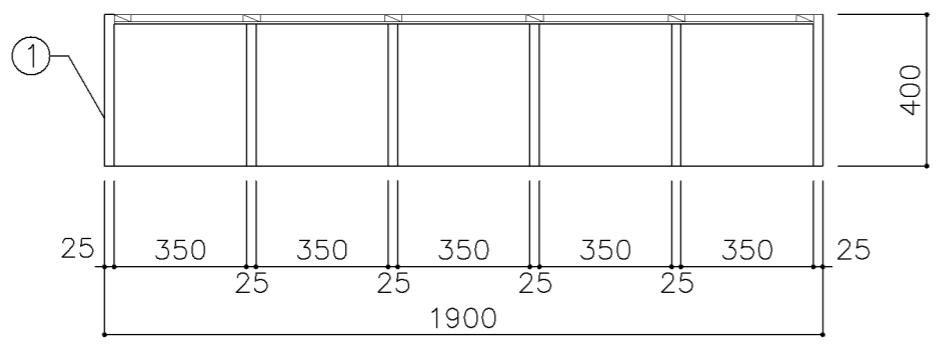
特記事項

- ・ 木口の形状については、G-400より選定する。
- ・ 立上り部にコンセント4ヶ所設置 (電気工事)
- ・ 芯材は、国産杉芯合板とする。

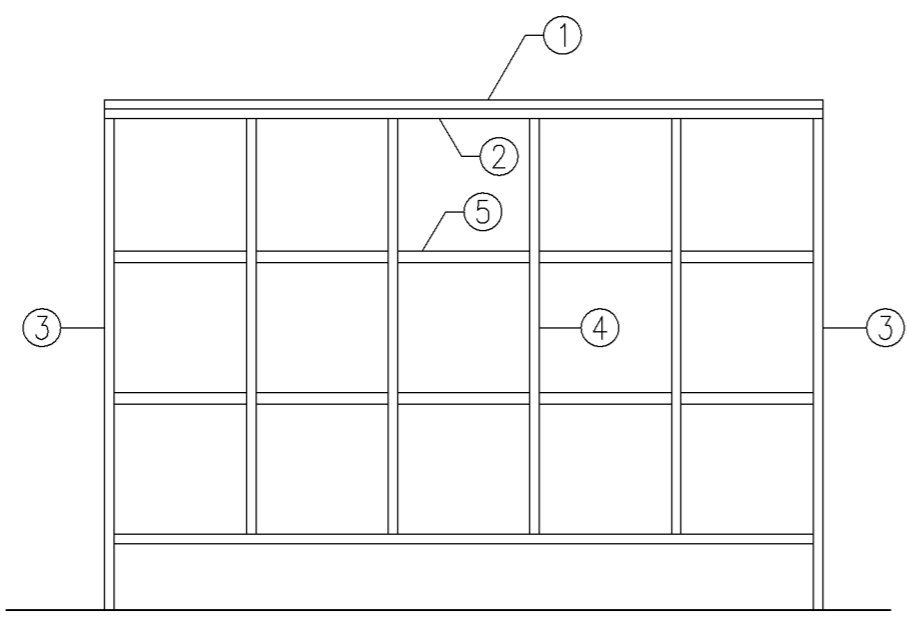
名称	作業台		
縮尺	1/20 1/30	記号	G-482
設計年月	令和4年3月		

参考図

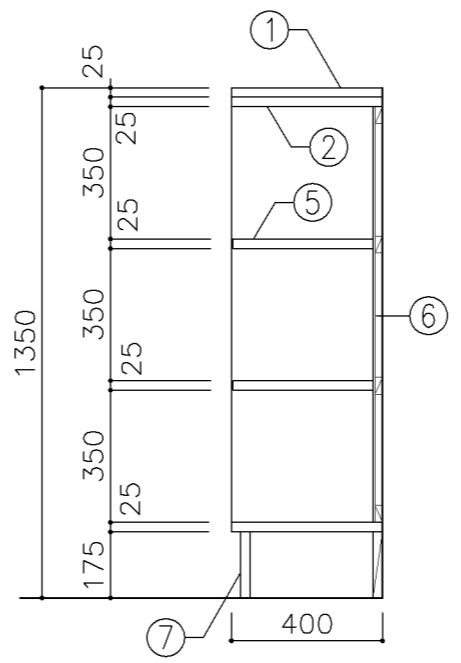
横浜市建築局



平面図



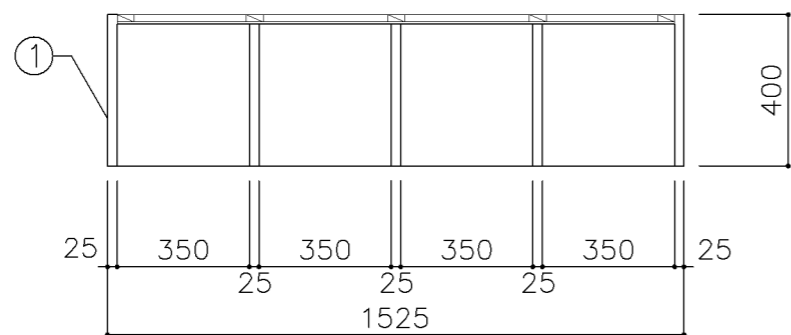
正面図



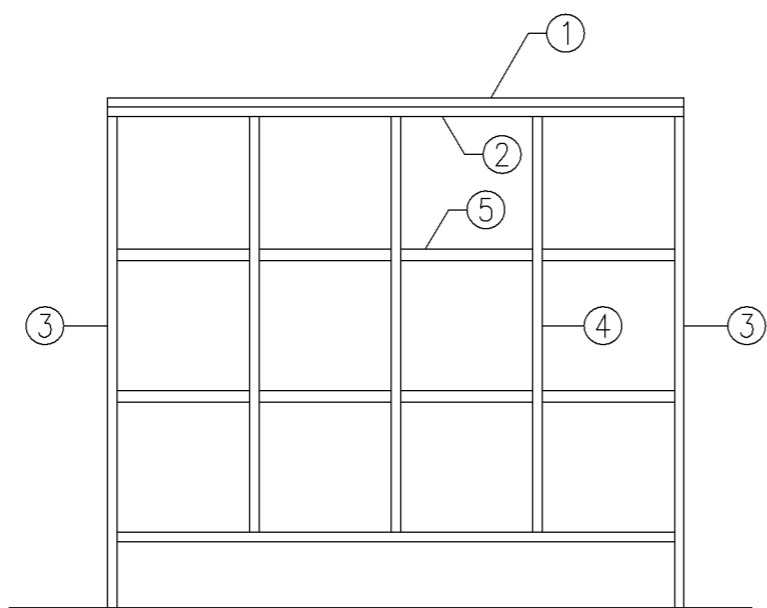
断面図

寸法				
W1,900 x D 400 x H 1,350				
使用箇所				
児童更衣室				
普通教室（小学校）旧タイプ				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	天板		ア25 タモ集成材	UC
②	本体	A-1	しな合板	
③	本体	B-1	しな合板	UC
④	仕切板	B-1	しな合板	UC
⑤	棚板	B-1	しな合板	UC
⑥	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑦	巾木	B-1	しな合板	UC
金物				
番号	使用箇所	名称		
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛かり部はUC仕上とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	児童用ロッカー			
縮尺	1/20	記号	G-510A	
設計年月		令和4年3月		
横浜市建築局				

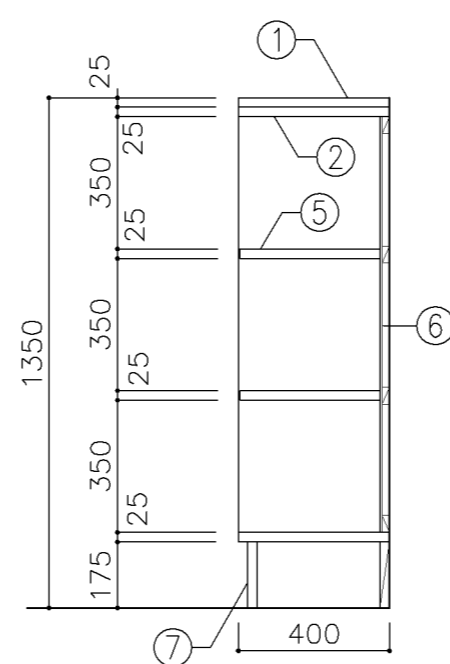
参考図



平面図



正面図



断面図

寸法				
W 1,525 x D 400 x H 1,350				
使用箇所				
普通教室（小学校）旧タイプ				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	天板		ア25 タモ集成材	UC
②	本体	A-1	しな合板	
③	本体	B-1	しな合板	UC
④	仕切板	B-1	しな合板	UC
⑤	棚板	B-1	しな合板	UC
⑥	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑦	巾木	B-1	しな合板	UC

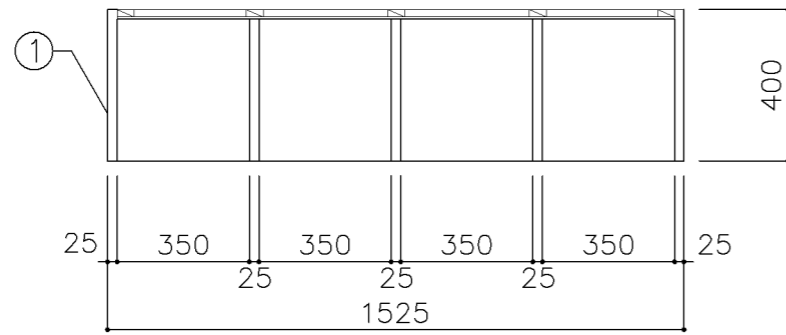
金物	
番号	使用箇所 名称

特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 木口の形状については、G-400より選定する。 ・ 見掛かり部はUC仕上とする。 ・ 芯材は、国産杉芯合板とする。 	

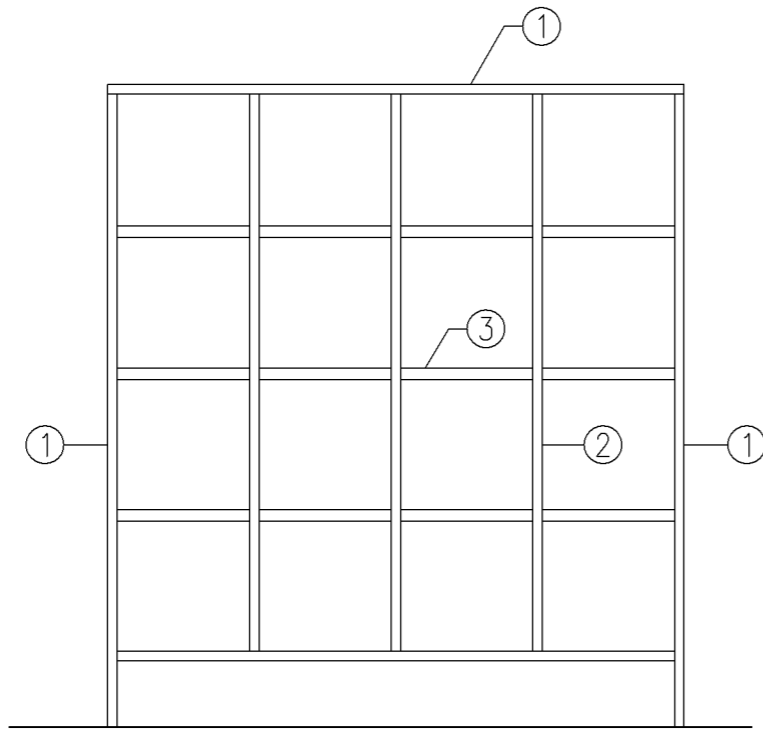
名称	児童用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-510B
設計年月	令和4年3月		

参考図

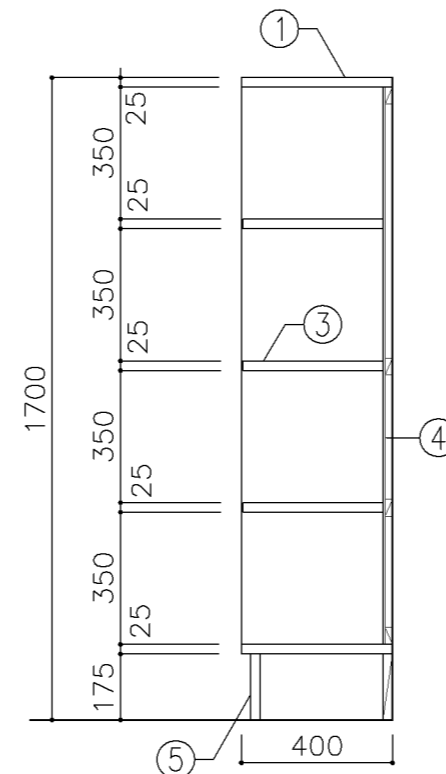
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸 法				
W 1,525 x D 400 x H 1,700				
使用箇所				
特別支援教室（小学校）				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	UC
②	仕切板	B-1	しな合板	UC
③	棚板	B-1	しな合板	UC
④	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑤	巾木	B-1	しな合板	UC

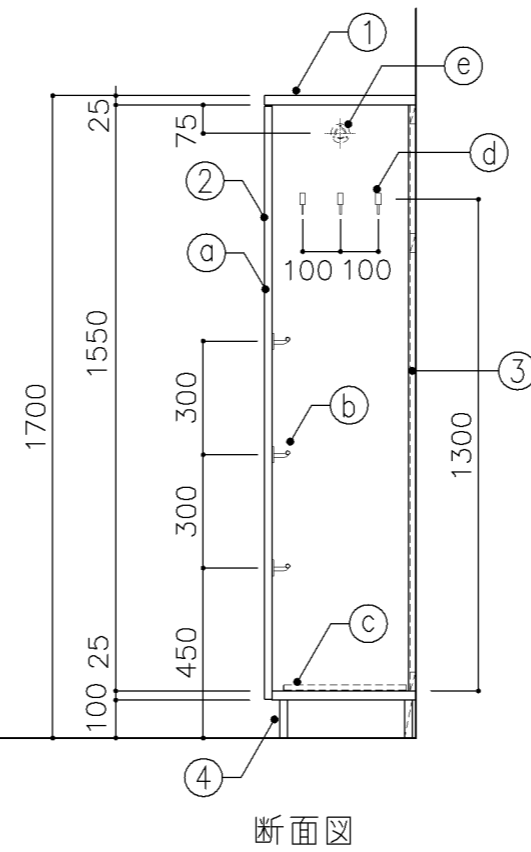
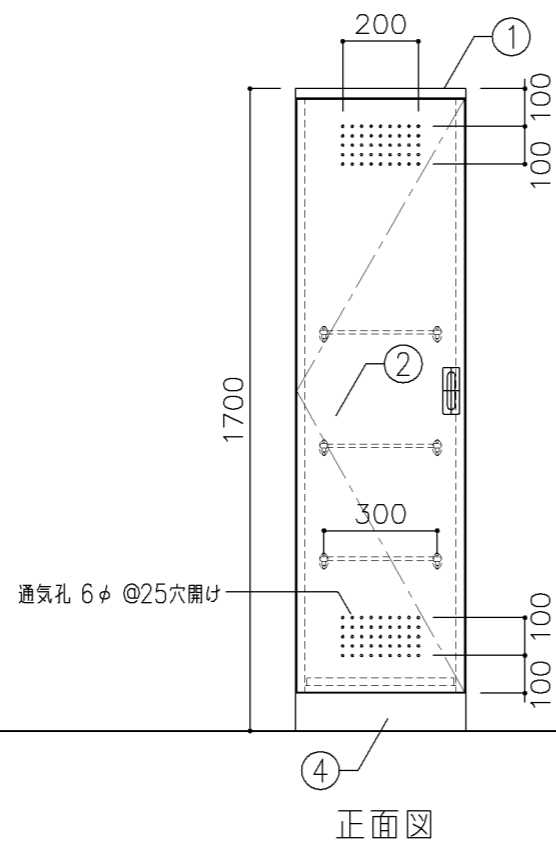
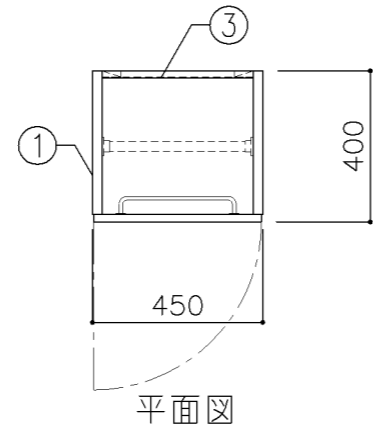
金 物		
番号	使用箇所	名 称

特記事項	
・木口の形状については、G-400より選定する。	
・見掛かり部はUC仕上とする。	
・芯材は、国産杉芯合板とする。	

名称	児童用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-510C
設計年月	令和4年3月		

参考図

横浜市建築局



寸 法
W 450 x D 400 x H 1,700

使用箇所
普通教室（小・中学校）
多目的室（集会・発表等）（小・中学校）
多目的室（少人数）（小・中学校）
多目的室（学校指定）（小・中学校）
特別支援教室（小・中学校）
児童更衣室、生徒更衣室

仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	しな合板	UC
②	扉	A-1	しな合板	UC
③	裏板	片A-1	しな合板	UC
④	巾木	B-1	しな合板	UC

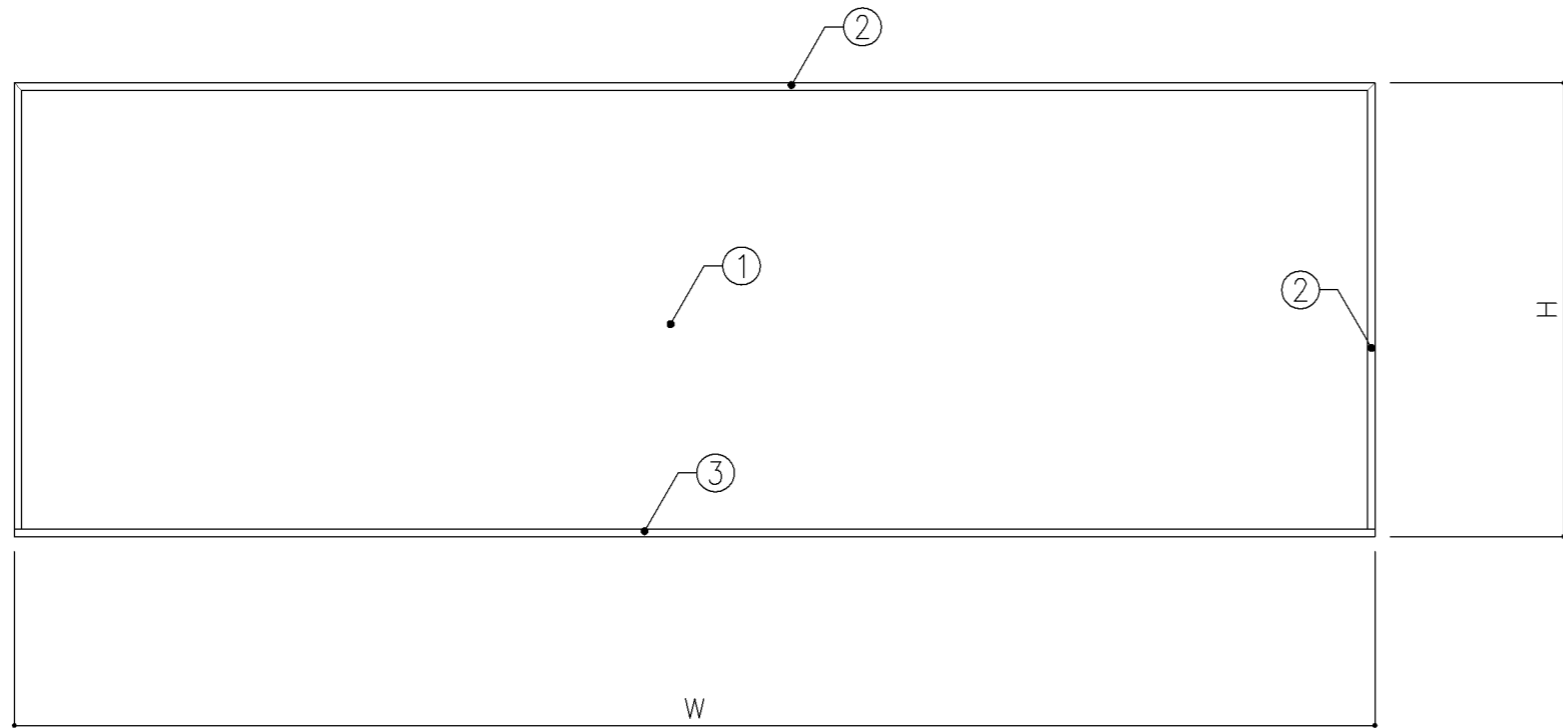
金 物		
番号	使用箇所	名 称
①	扉	ステンレス丁番、国産掘込引手、戸当り
②	雑巾掛	ステンレス
③	水受皿	ステンレス
④	フック	ステンレス
⑤	パイプ	SUS304 25φ、S環付

特記事項
・木口の形状については、G-400より選定する。
・扉の厚みは、20mmを原則とする。
・芯材は、国産杉芯合板とする。

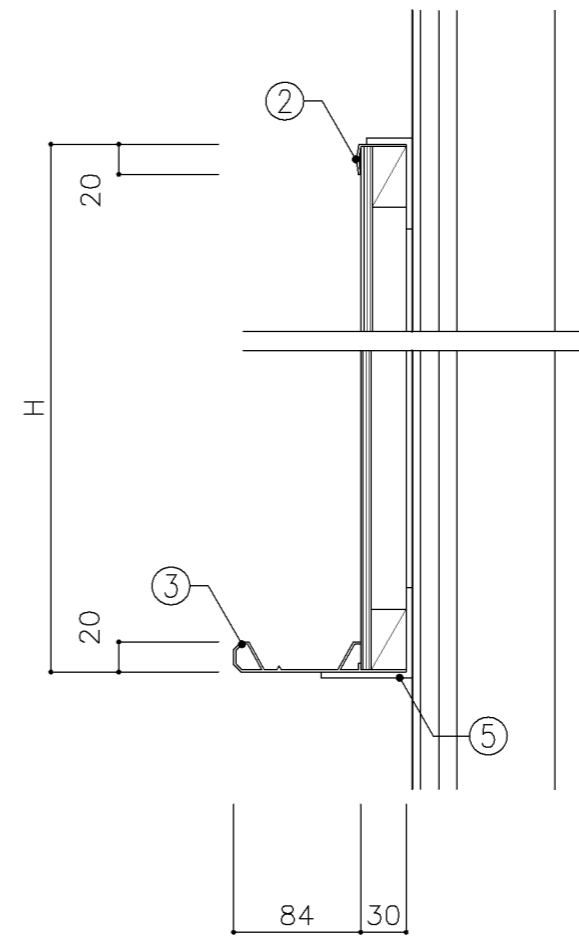
名称	掃除用具入		
縮尺	1/20	記号	G-520
設計年月	令和4年3月		

参考図

横浜市建築局



正面図 S:1/20



断面図 S:1/5

寸法	
A: W	900 x D x H 900
B: W	3,600 x D x H 1,200
C: W	3,600 x D x H 1,200
D: W	2,700 x D x H 900

使用箇所	
A:	技術員室2（小学校）、技術員室（中学校） 普通教室（中学校）
B:	家庭科教室（小・中学校）、特別活動室
C:	音楽教室（5線入り）
D:	地域交流室、PTA室、会議室

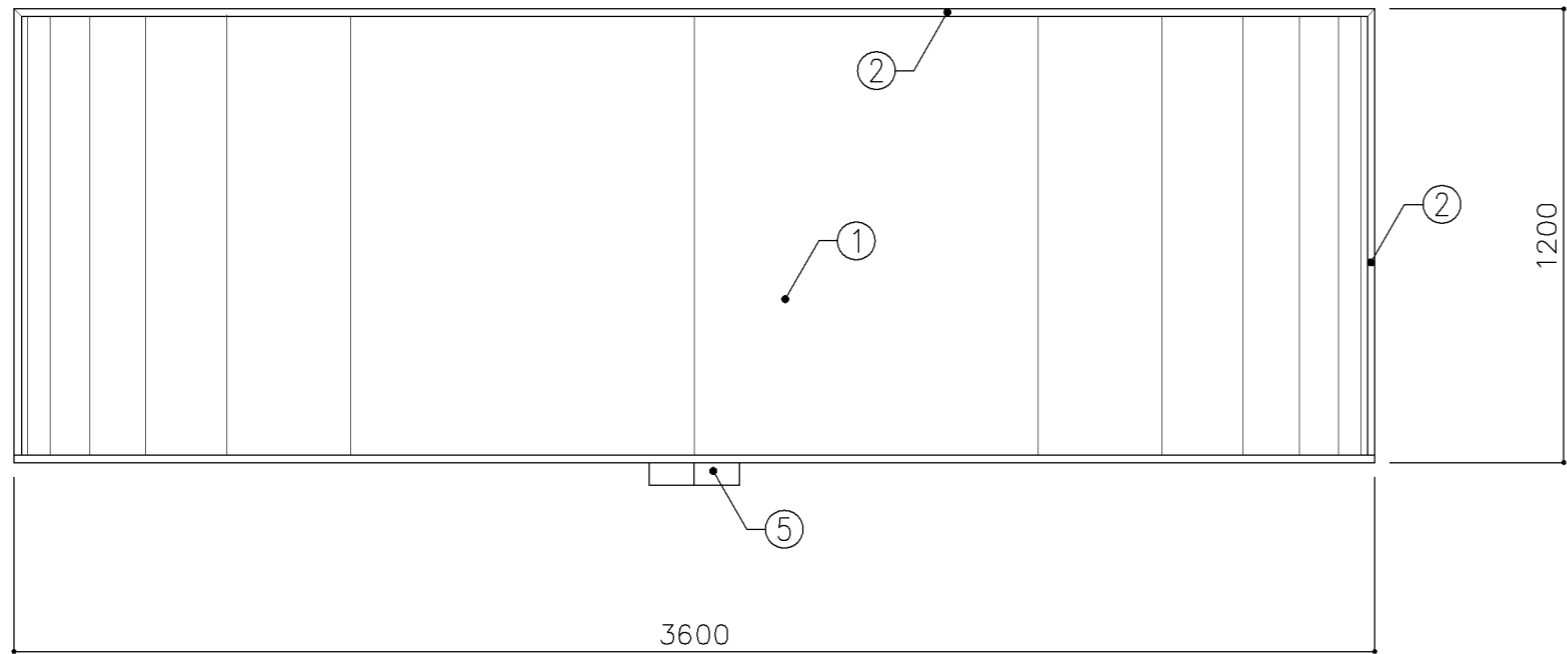
仕様		
番号	名称	材質
①	ホワイトボード	スチールホーロー φ5.5ベニヤ（T-2）下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	受け金物	φ4 スチールユニクロメッキ @900

特記事項	
C: 音楽教室は半分を五線入りとする。	
* 普通教室（中学校）は、粉受不要とする。	

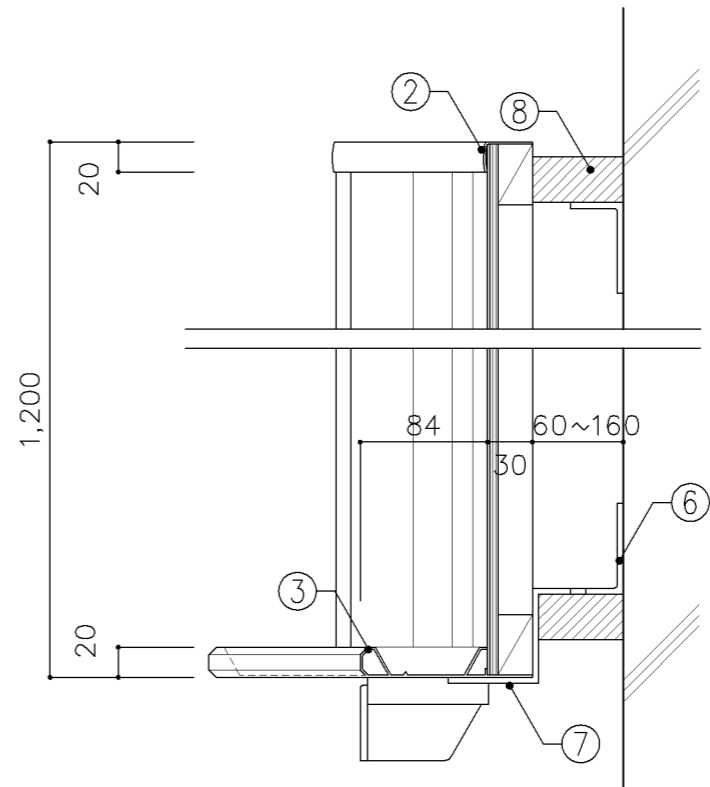
名称	ホワイトボード		
縮尺	1/5 1/20	記号	G-611
設計年月	令和4年3月		

参考図

横浜市建築局



正面図 S:1/20



断面図 S:1/5

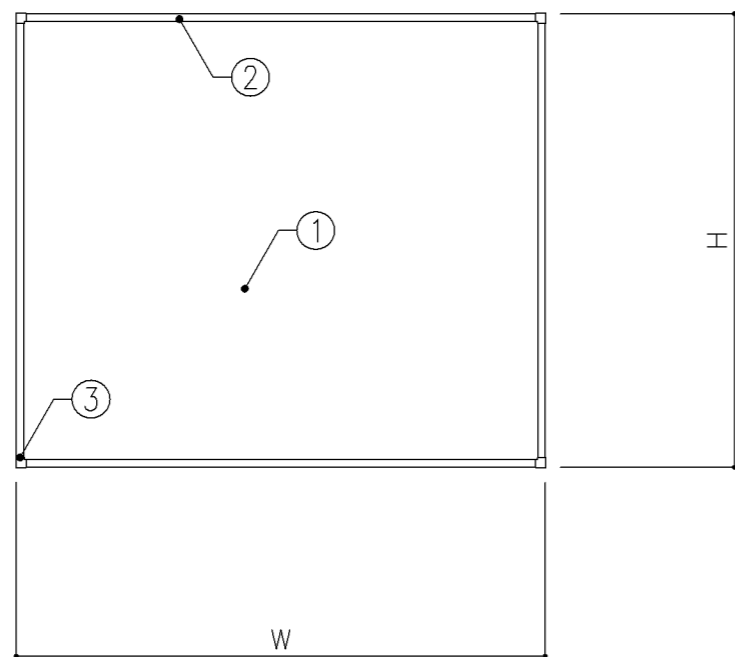
寸法		
W3,600 x D	x H1,200	
使用箇所		
普通教室（小・中学校）、技術教室		
多目的室（集会・発表等）（小・中学校）		
多目的室（少人数）（小・中学校）		
多目的室（学校指定）（小・中学校）		
仕様		
番号	名称	材質
①	曲面黑板	スチールホーロー フ5.5ベニヤ（T-2）下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	チョークボックス	アルミ製（2連）
⑥	受け金物	フ4 スチールユニクロメッキ @900
⑦	受け金物	フ4 スチールユニクロメッキ @900（クランク型）
⑧	捨て枠	フ30 ラワン

特記事項

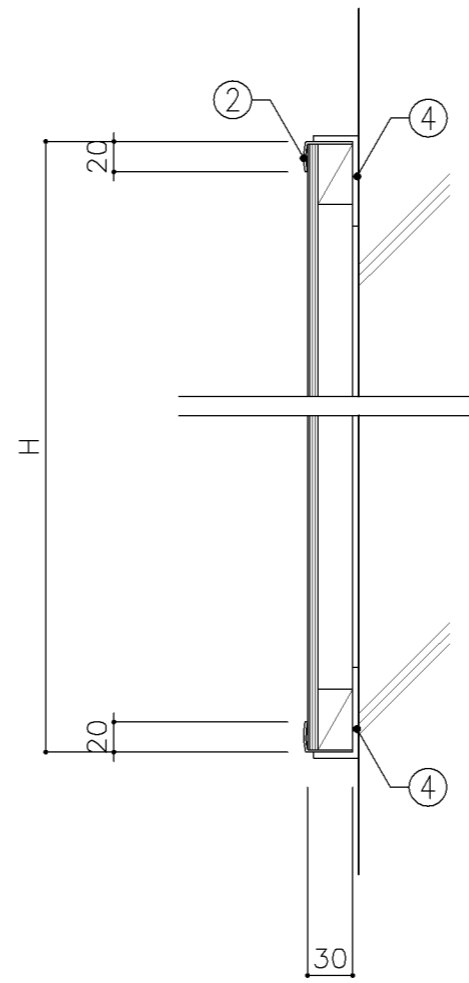
名称	曲面黑板		
縮尺	1/5 1/20	記号	G-630
設計年月	令和4年3月		

参考図

横浜市建築局



正面図 S: 1/20



断面図 S: 1/5

寸法

A: W	600	x D	x H	1,200
B: W	800	x D	x H	1,200
C: W	1,900	x D	x H	1,000

使用箇所

- A: 職員室（小・中学校）
図書室（小・中学校）
- B: 家庭科教室（小・中学校）
技術教室、多目的室（水廻り学習等）
- C: 職員・来校者用玄関

仕様

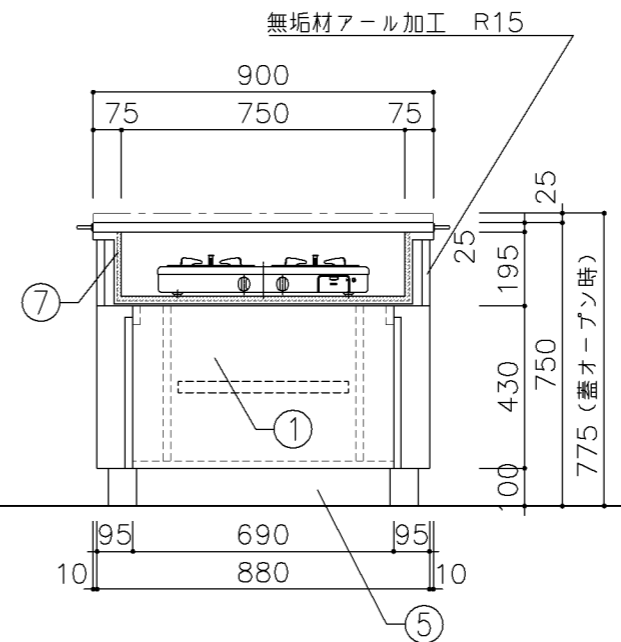
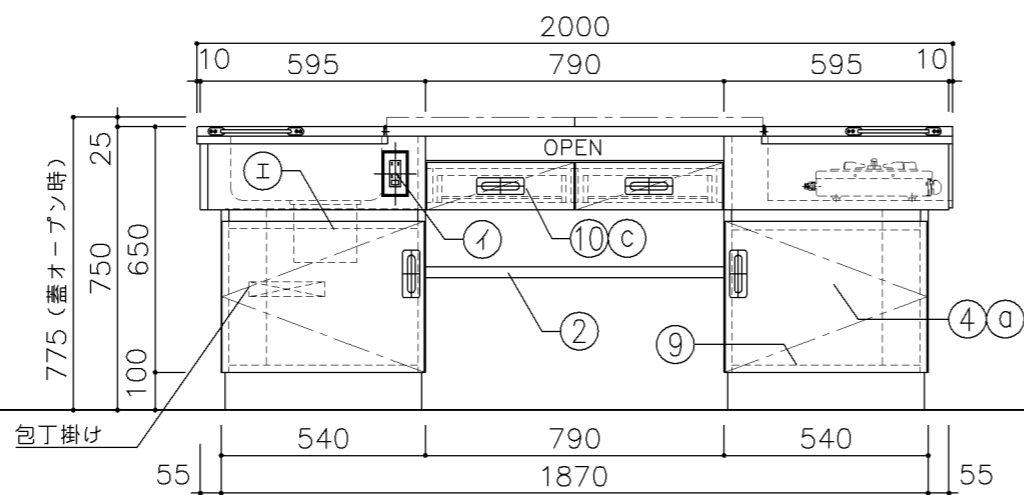
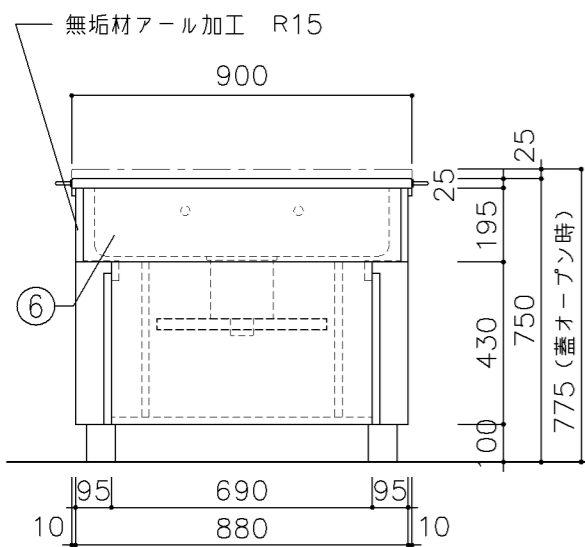
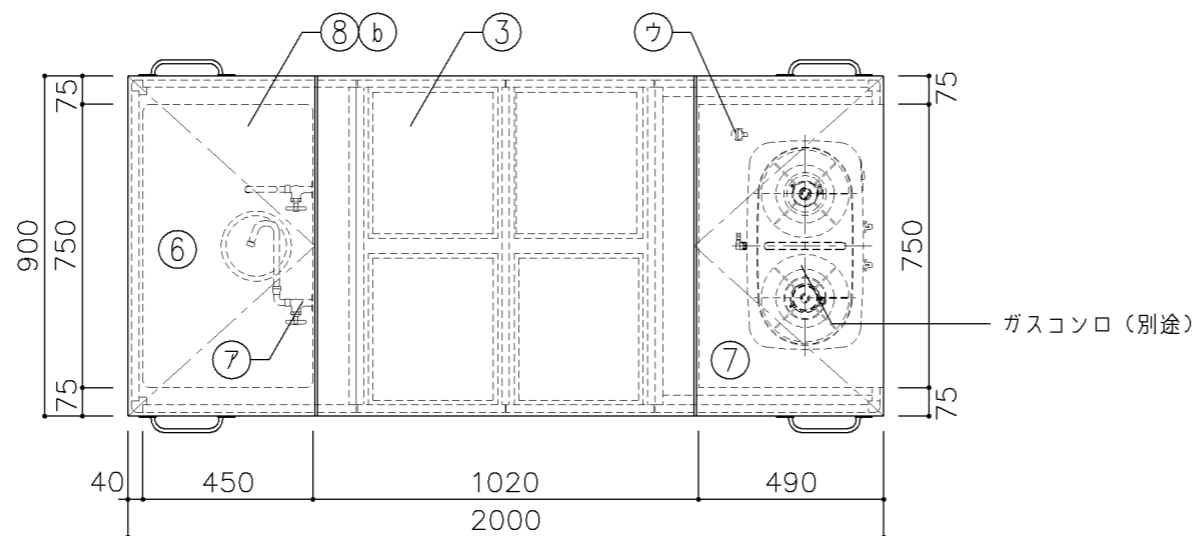
番号	名称	材質
①	揭示板	揭示用難燃クロス 〒5.5ベニヤ(T-2)下地
②	枠	アルミ製
③	セーファーコーナー	樹脂製
④	受け金物	〒4 スチールユニクロメッキ @900

特記事項

名称	アルミ枠揭示板		
縮尺	1/5 1/20	記号	G-680
設計年月	令和4年3月		

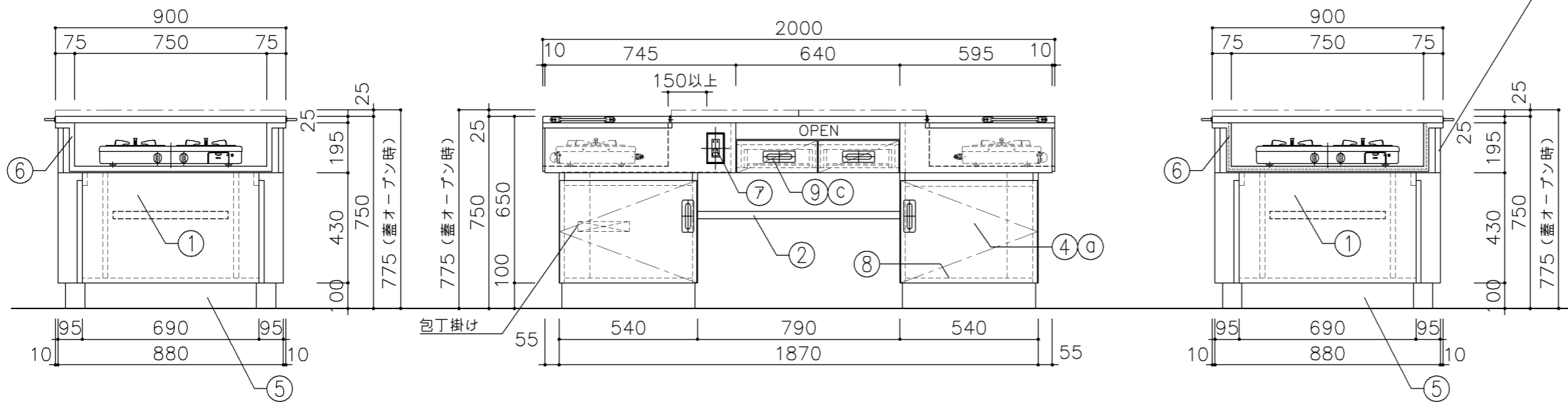
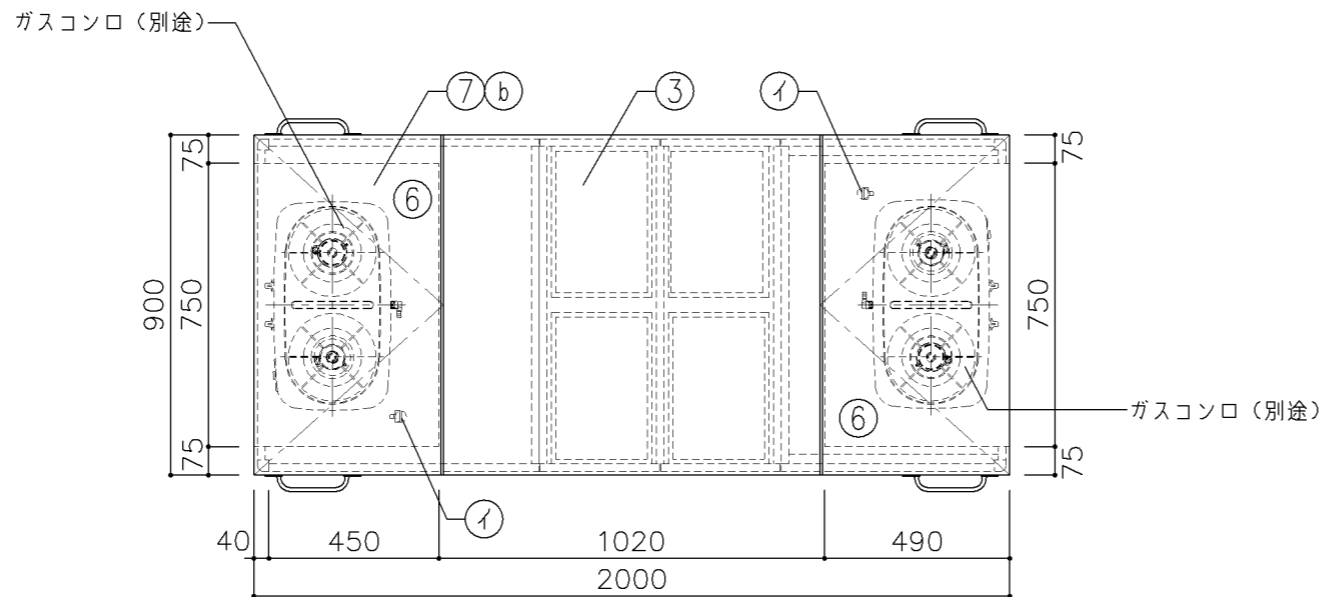
参考図

横浜市建築局



寸法				
W2,000 × D900 × H775				
*H寸法は蓋を開けた状態を示す				
使用箇所				
家庭科教室 (小学校)				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	天板	B-1	メラミン化粧板	
④	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	台輪		一般堅木材	着色UC
⑥	シンク		SUS304-1.0t	
⑦	コンロ台		SUS304-1.0t 裏張り: t12 ケイ酸 カルシウム板張り	
⑧	蓋	B-1	メラミン化粧板 裏面: SUS304-1.0t 木口: 挽板 t4張り	
⑨	底板	A-1	SUS304-0.8t	
⑩	引出シ		ポリエステル化粧合板	
金物				
番号	使用箇所	名称		
a	扉	スライド丁番、国産材掘込引手		
b	蓋	ステンレスピアノ丁番、ステンレス引手		
c	引出シ	引出シストッパー、国産材掘込引手		
付属器具				
番号	使用箇所	名称		
ア	水栓	折りたたみ自在水栓 2個 (設備工事)		
イ	コンセント	AC100V15A 2ツ口 2個		
ウ	ガスコック	卓上型 1ツ口 1個 (設備工事)		
エ	トラップ	MK-P1(2724) ゴミ収納器付		
オ	固定金具			
特記事項				
・給水×1				
・給湯×1				
・木口の形状については、G-701より選定する。				
・主材はポリエステル化粧合板とする。				
・扉の厚みは、20mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	教師兼児童用調理台			
縮尺	1/20	記号	G-720A	
設計年月	令和4年3月			
横浜市建築局				

参考図



寸法				
W2,000 × D900 × H775				
*H寸法は蓋を開けた状態を示す				
使用箇所				
家庭科教室 (小学校)				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	天板	B-1	メラミン化粧板	
④	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	台輪		一般堅木材	着色UC
⑥	コンロ台		SUS304-1.0t 裏張り: t12 ケイ酸 カルシウム板張り	
⑦	蓋	B-1	メラミン化粧板 裏面: SUS304-1.0t 木口: 挽板 t4張り	
⑧	底板	A-1	SUS304-0.8t	
⑨	引出シ		ポリエステル化粧合板	

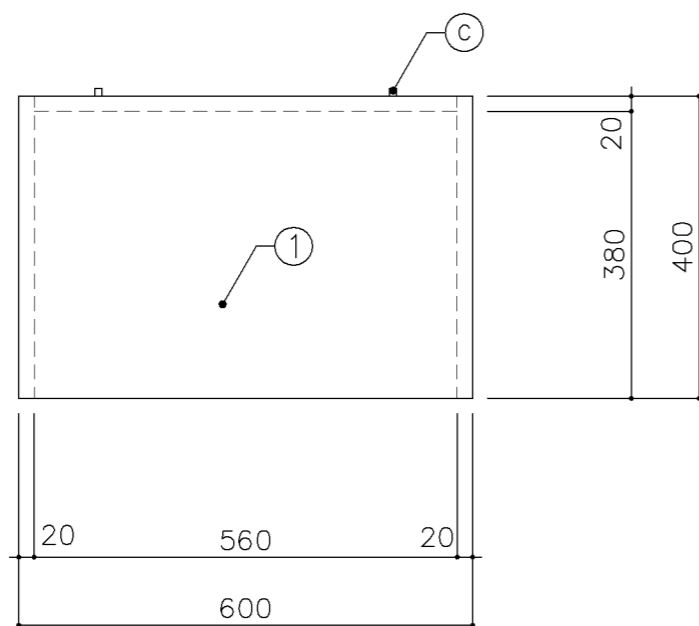
金物		
番号	使用箇所	名称
a	扉	スライド丁番、国産材掘込引手
b	蓋	ステンレスピアノ丁番、ステンレス引手
c	引出シ	引出しストッパー、国産材掘込引手

付属器具		
番号	使用箇所	名称
ア	コンセント	AC100V15A 2ツ口 2個
イ	ガスコック	卓上型 1ツ口 2個 (設備工事)
ウ	固定金具	

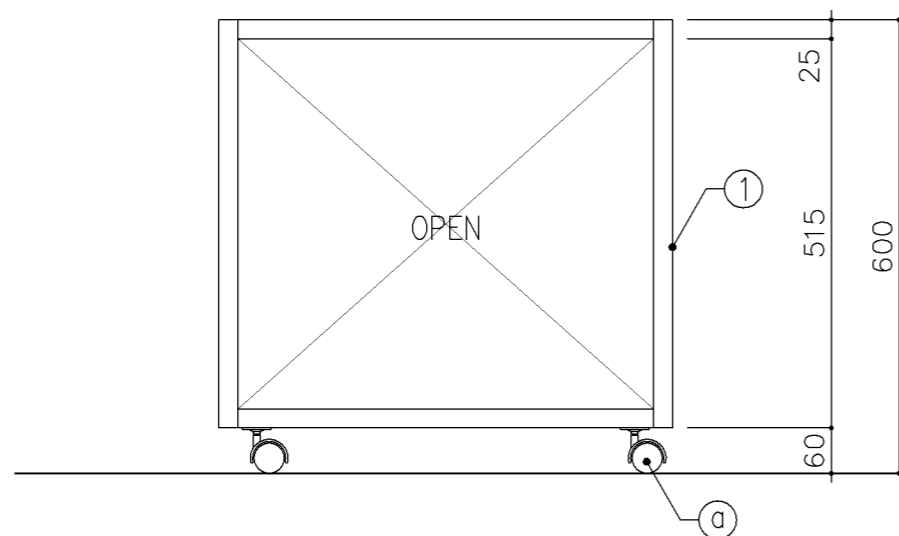
特記事項		
・木口の形状については、G-701より選定する。		
・主材はポリエステル化粧合板とする。		
・扉の厚みは、20mmを原則とする。		
・芯材は、国産杉芯合板とする。		

名称	児童用調理台		
縮尺	1/20	記号	G-720B
設計年月	令和4年3月		
横浜市建築局			

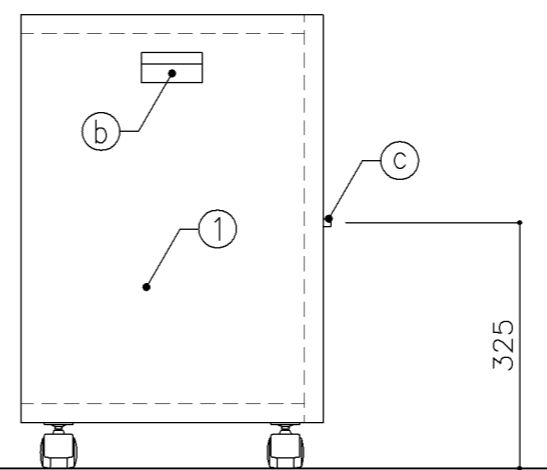
参考図



平面図



正面図



側面図

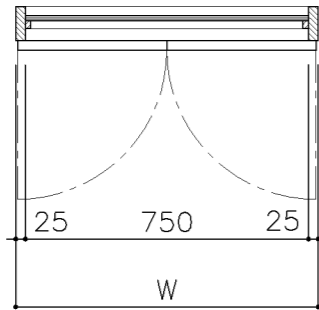
寸 法				
W 400 x D 600 x H 600				
使用箇所				
家庭科教室 (小・中学校)				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	耐摩耗シート消臭化粧板	

金 物		
番号	使用箇所	名 称
④	本体	ナイロン樹脂キャスター 30Kg用 (ストッパー付)
②	本体	手掛 (埋込型)
③	本体	戸当りゴム 10φ 2個

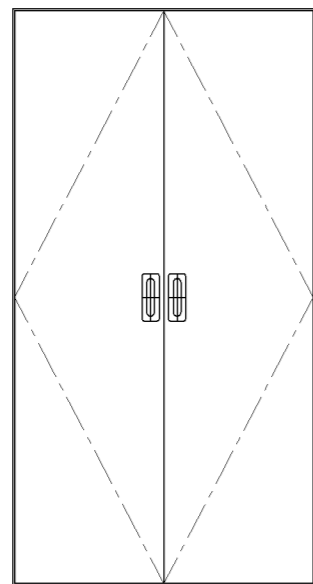
特記事項	
・木口の形状については、G-800より選定する。	

名称	ミシン収納ケース		
縮尺	1/10	記号	G-812
設計年月		令和4年3月	
横浜市建築局			

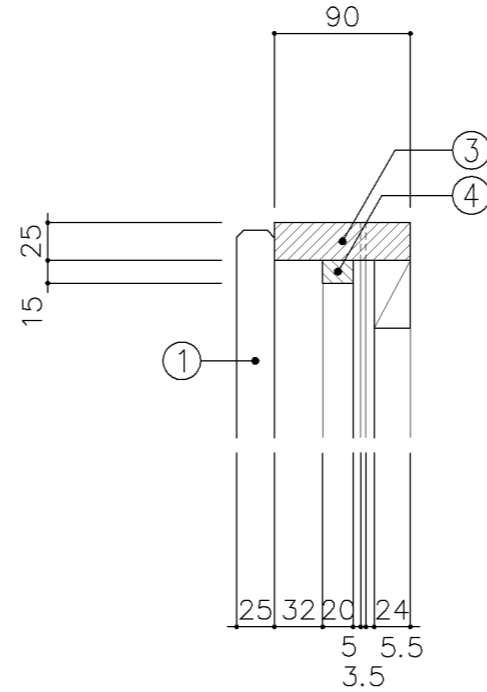
参考図



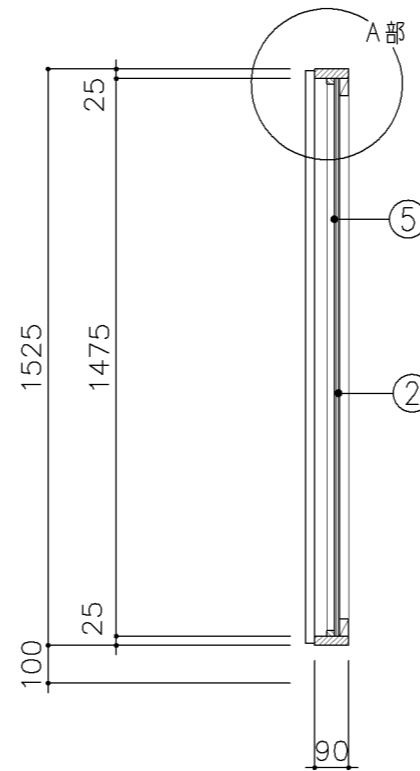
平面図 S: 1/20



正面図 S: 1/20



A部 詳細図 S: 1/5



断面図 S: 1/20

寸法				
A : W	800	x D	x	H1,525
B : W	900	x D	x	H1,525
使用箇所				
A : 図画工作教室				
B : 個別支援教室 (第二学習室) 小・中学校				
仕様				
A				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	枠		25×90 スプル	OP
③	押縁		15×20 スプル	OP
B				
①	扉	A-1	しな合板	
②	枠		25×90 スプル	UC
③	押縁		15×20 スプル	UC
共通				
④	裏板	片A-1	ラワン合板 (T-1)	
⑤	鏡		φ5 鏡 接着併用	
⑥	胴縁		25×45 @450 タテ・ヨコ共 杉	
金物				
番号	使用箇所	名称		
⑦	扉	隠し丁番、国産材掘込取手、マグネットキャッチ		
特記事項				
・扉の木口の形状については、G-800より 選定する。				
名称 姿見				
縮尺	1/5 1/20	記号	G-830	
設計年月			令和4年3月	
横浜市建築局				

参考図

寸 法
W1,350 x D 300 x H 1,630

使用箇所
武道場（玄関）、部室（玄関）
屋内運動場（改修）

仕 様

番号	名称	材質	仕上
①	本 体	SPCC 0.8	焼付塗装
②	棚 板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	裏 板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装

金物及びその他

番号	名称	材質	仕上

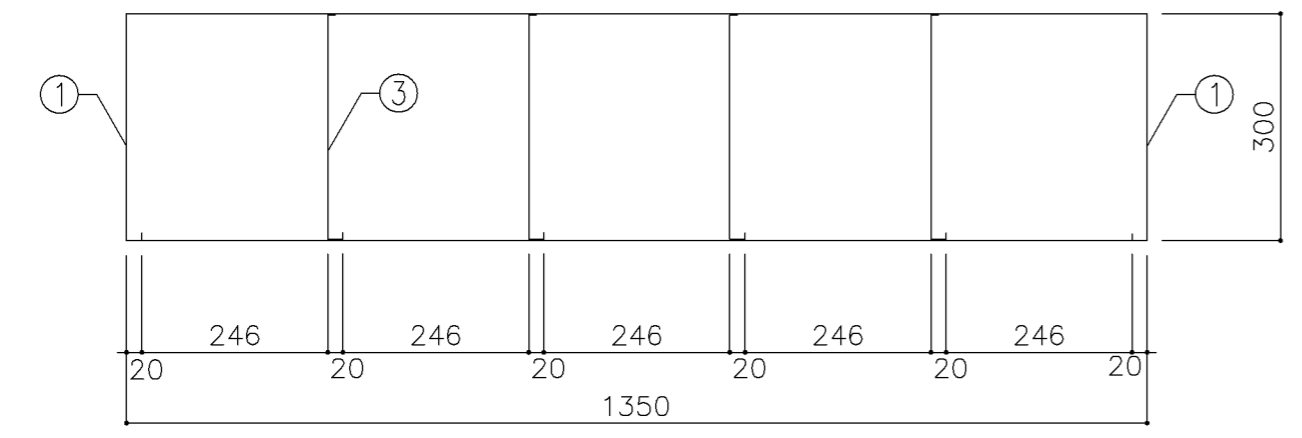
特記事項

名称 靴 入
縮尺 1/10 記号 G-1291

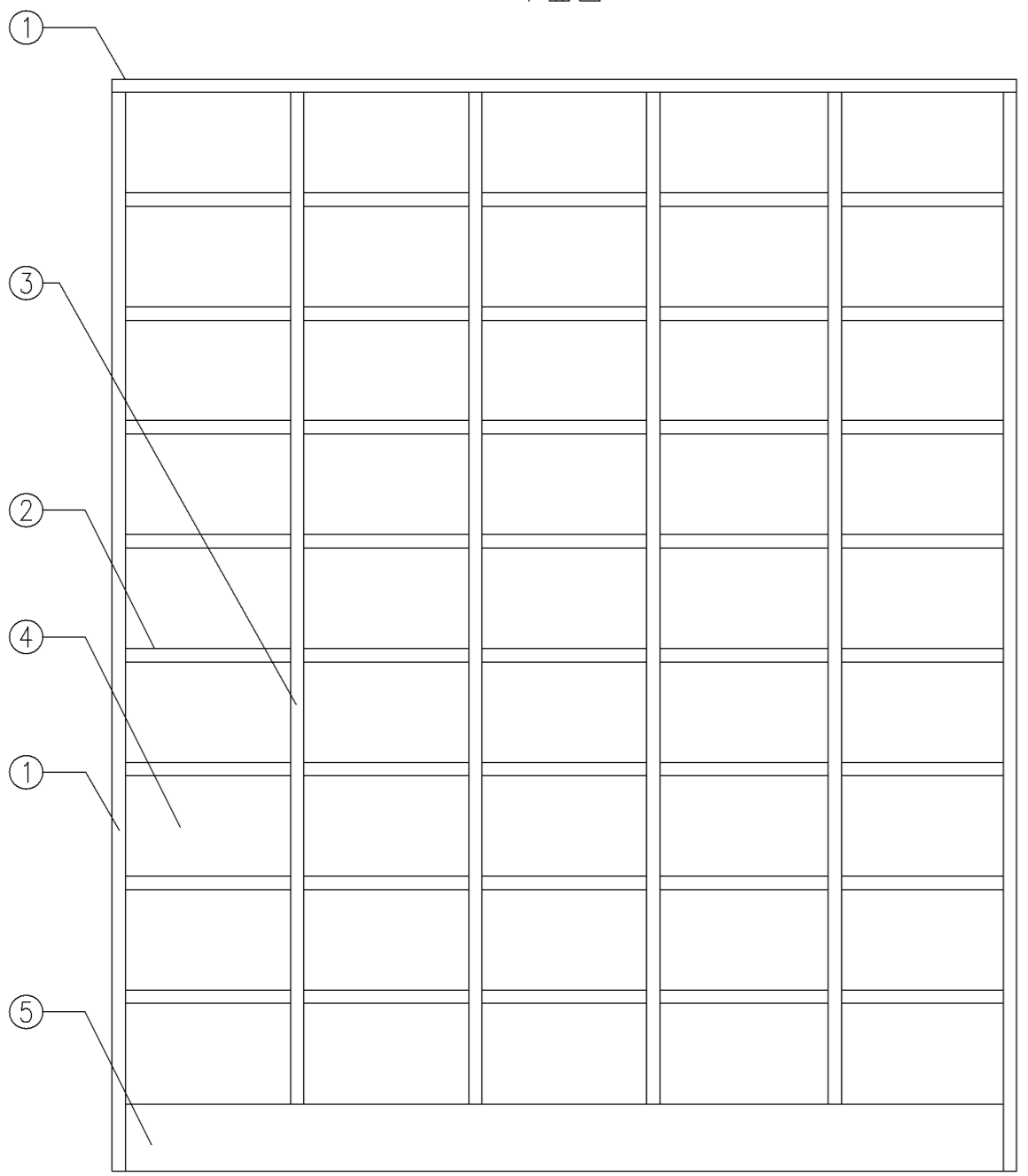
設 計 年 月 日 令和4年3月

横浜市建築局

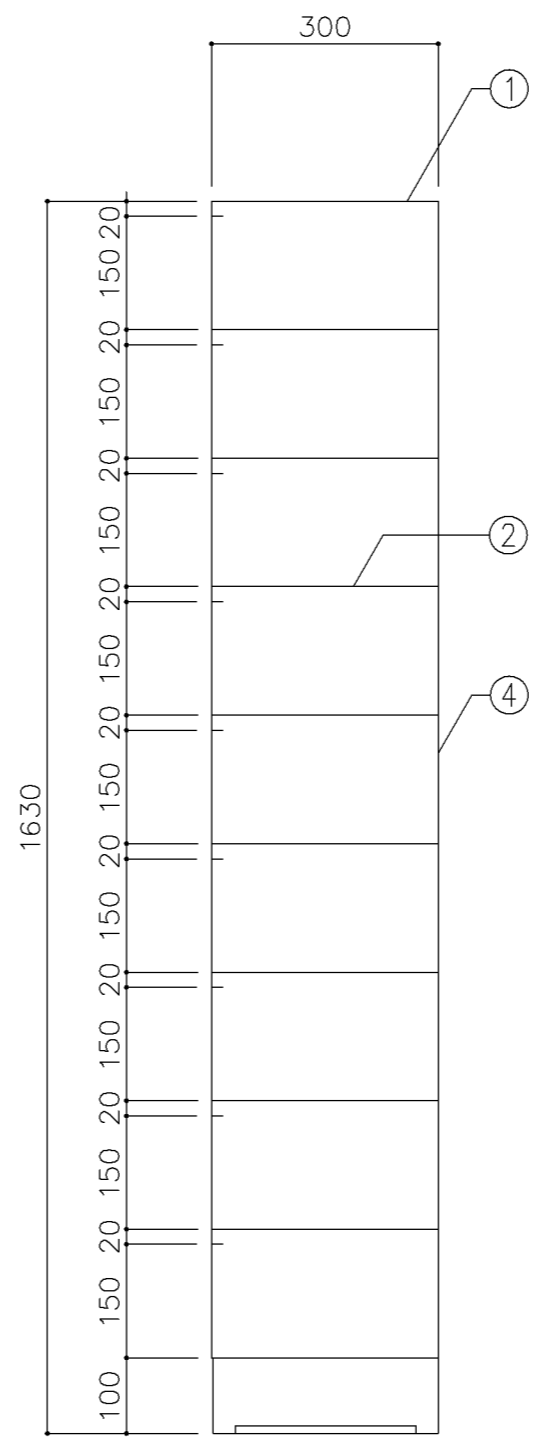
参考図



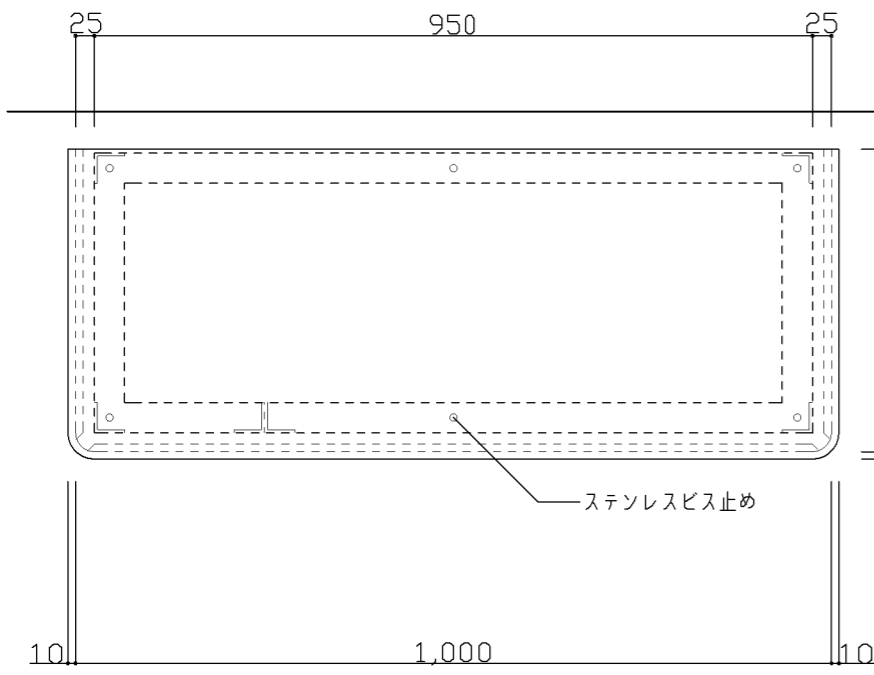
平面図



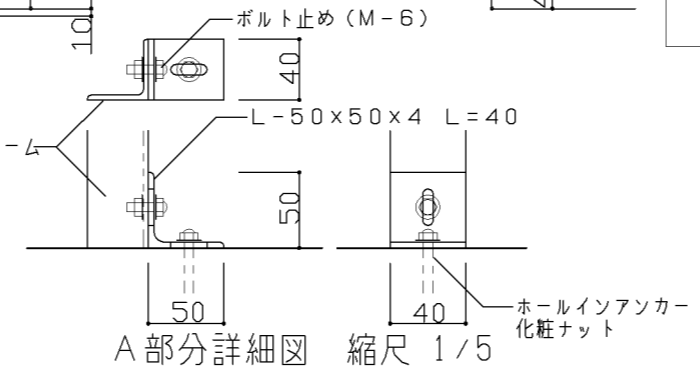
正面図



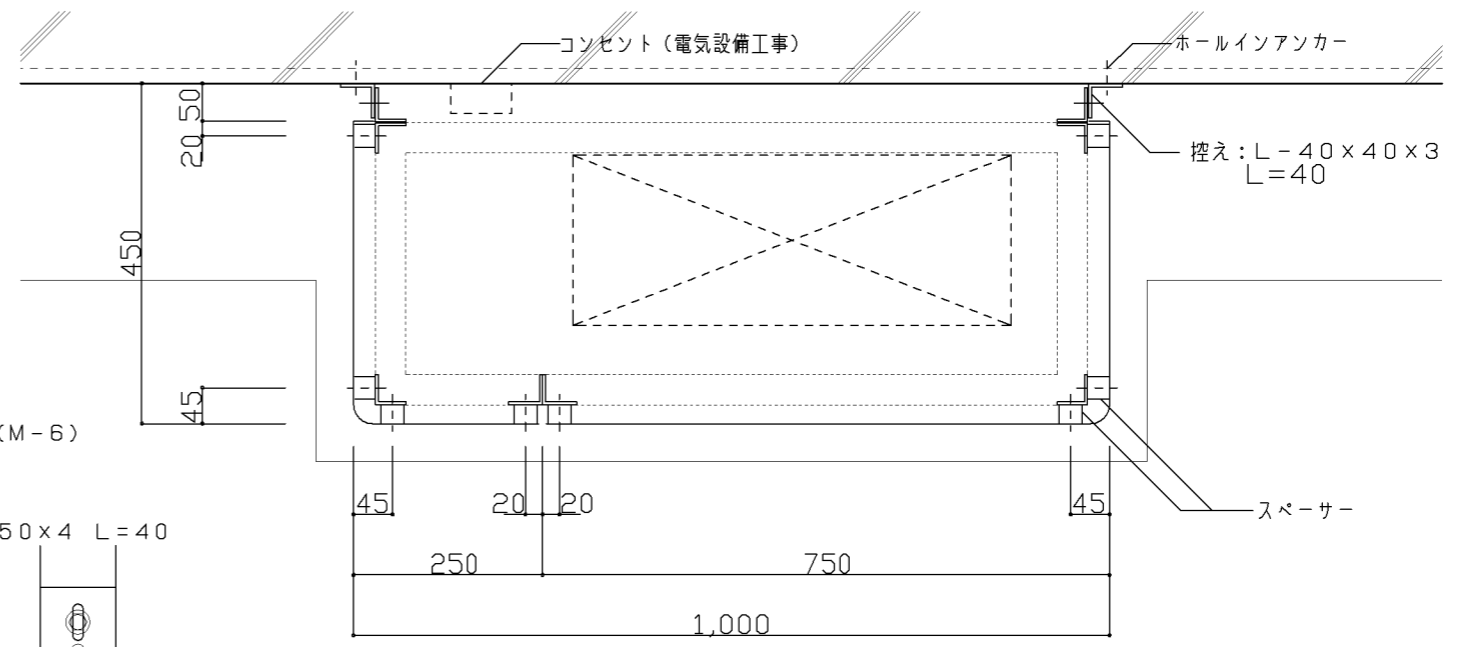
断面図



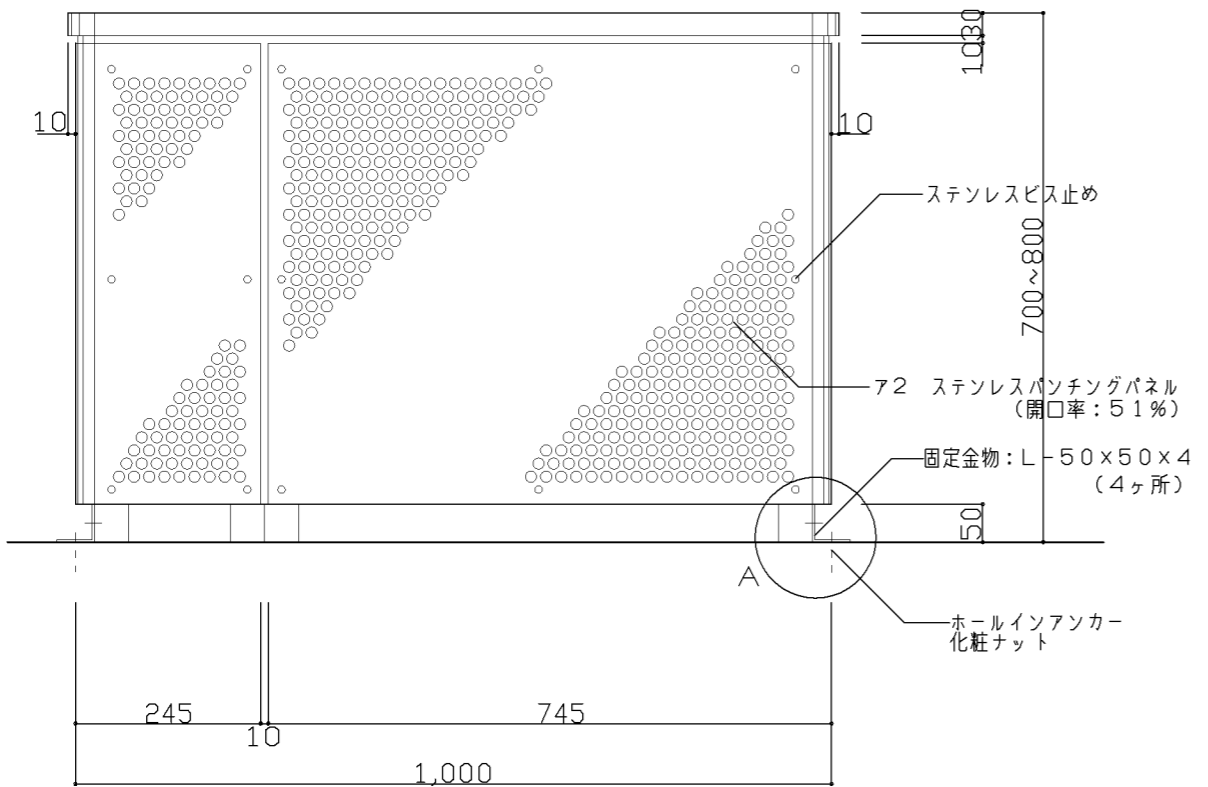
伏図



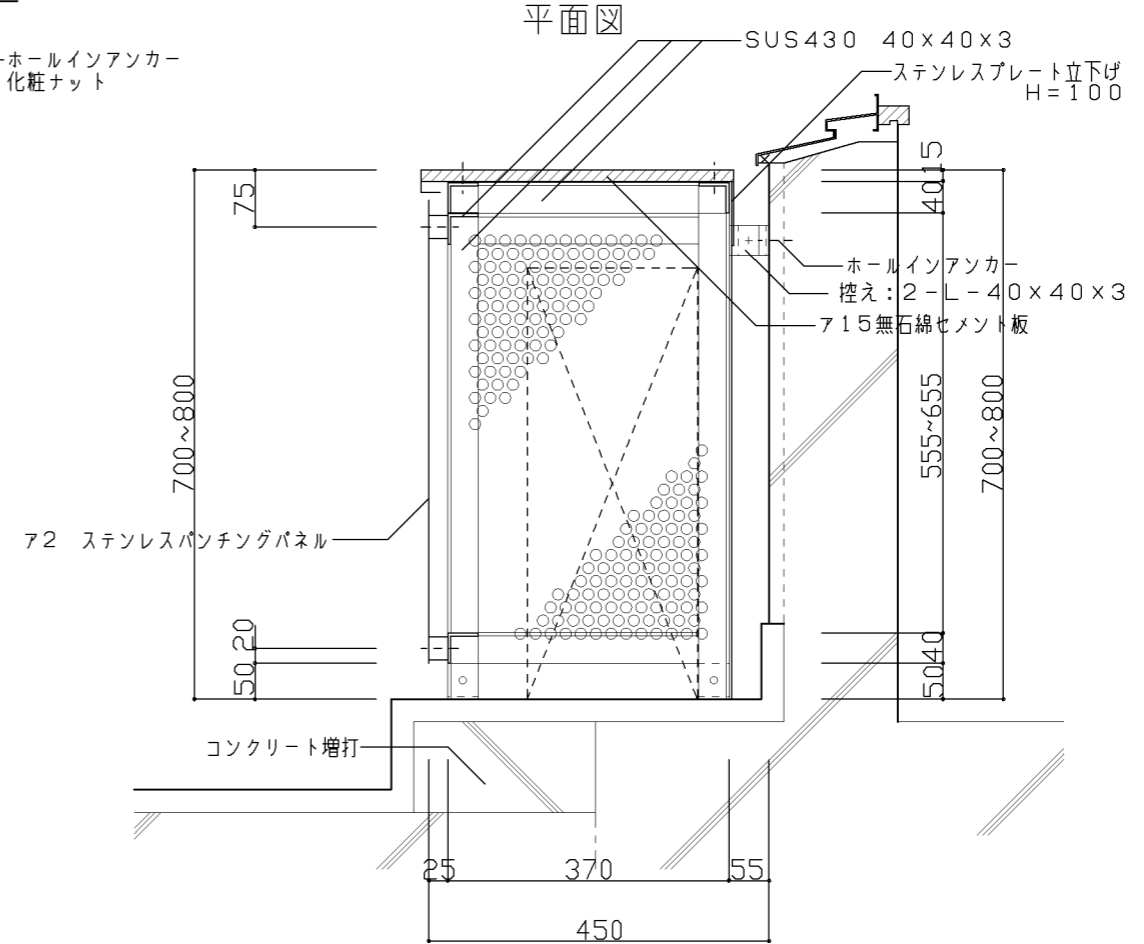
A部分詳細図 縮尺 1/5



平面図



正面図



断面図

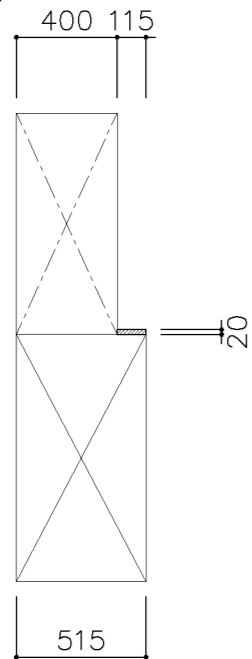
参考図

仕様 1) 部材は、見え掛りはステンレスSUS304バフ400#とする。 2) 骨組みは、ステンレスSUS430とする。 3)	特記事項 1) バルコニー、及びテラス部分の床置き型給湯器カバーを示す 2) 個別支援学級(小・中)、理科教室、家庭科教室(小・中)、美術教室、保健室、技術員室、職員更衣室	設計上の留意点 1) 給湯器はメーカーによりサイズが異なる為、設備と打合せの上寸法を決定する事	図面名称	給湯器カバー(16~32号)	
			縮尺	1/5, 1/10	令和4年3月
			横浜市建築局		I-105

G-200 スチール収納家具（化粧天板）

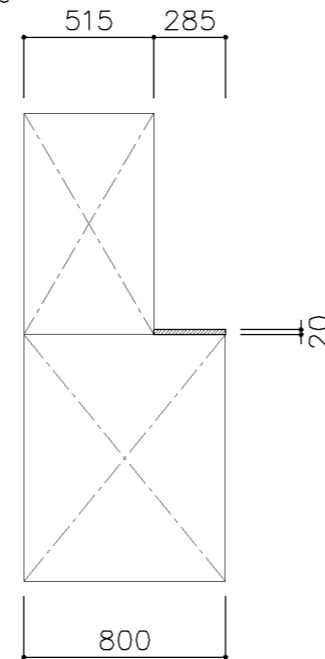
整理戸棚 1 段の場合及び 2 段の場合で、D 寸法が異なる場合は、下図の通り化粧天板張りとする。

A タイプ
W=1,200



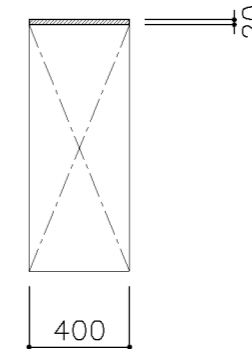
理科教室
技術教室
上: G-214A
下: G-210B

C タイプ
W=1,200



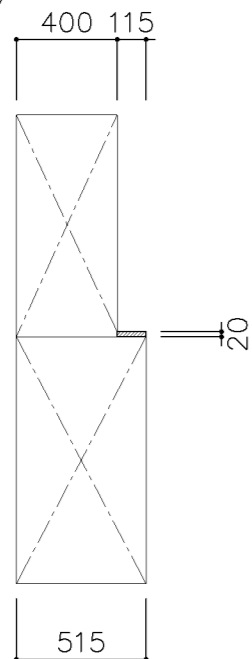
図画工作準備室
上: G-214B
下: G-232

E タイプ
W=1,760



校長室
多目的室（少人数指導）（中学校）
G-213B

B タイプ
W=1,760



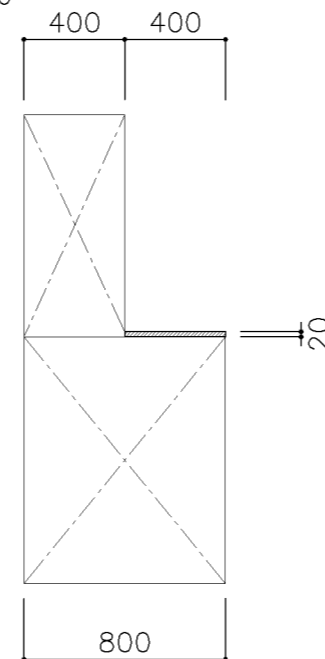
多目的室（水廻り学習等）
多目的室（少人数指導）（中学校）
PTA会議室
地域交流室
特別活動室
上: G-215A W=1,760
下: G-213C

理科準備室
上: G-215A W=1,760
下: G-211B

家庭科準備室（中学校）
上: G-215C W=1,650
下: G-230A

技術教室
上: G-215D W=1,550
下: G-211D

D タイプ
W=1,200



美術準備室
上: G-214A
下: G-232

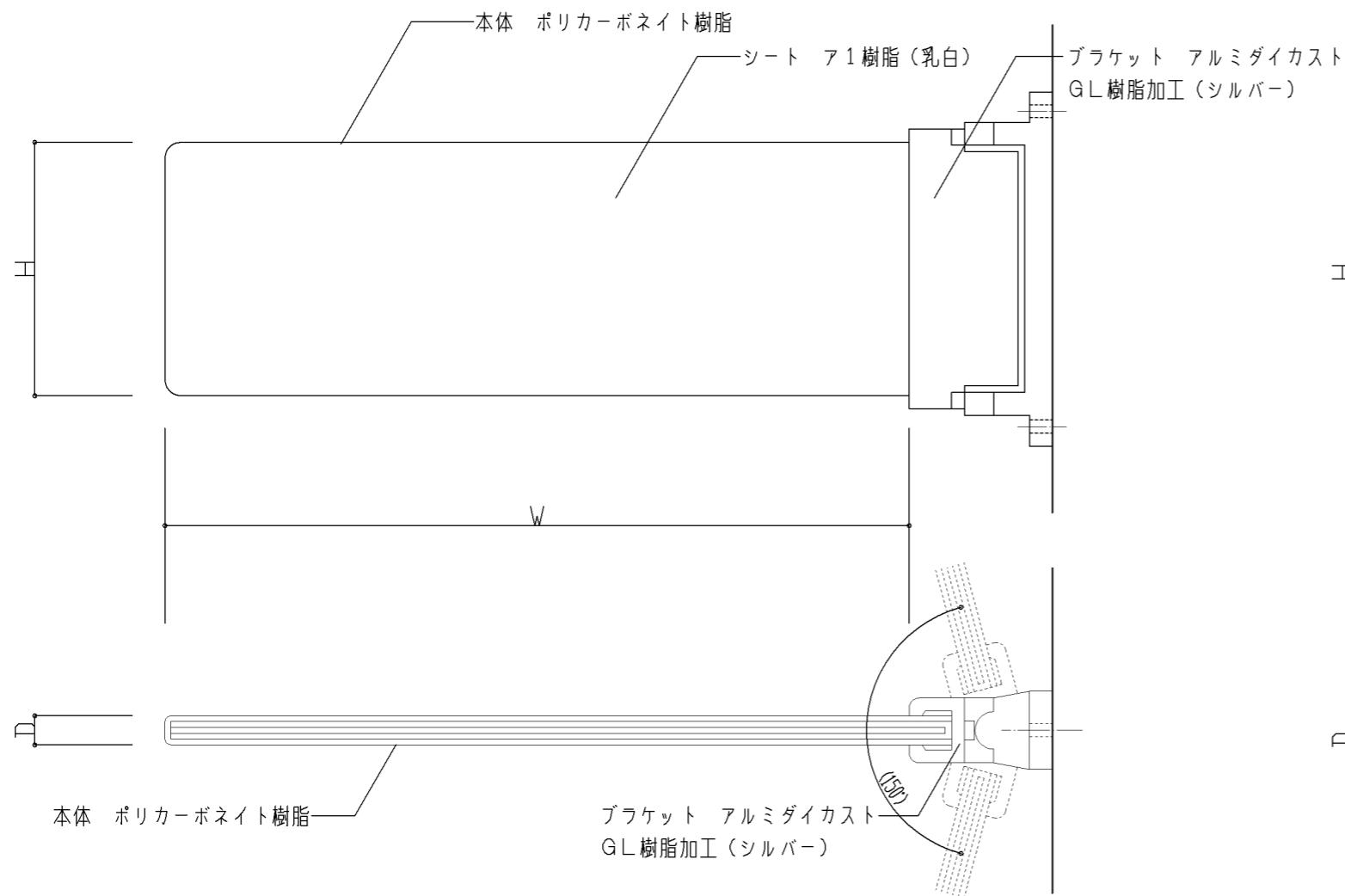
天板仕様

MDF コア、メラミン化粧シート張りとし前面は、全て丸面仕上とする。

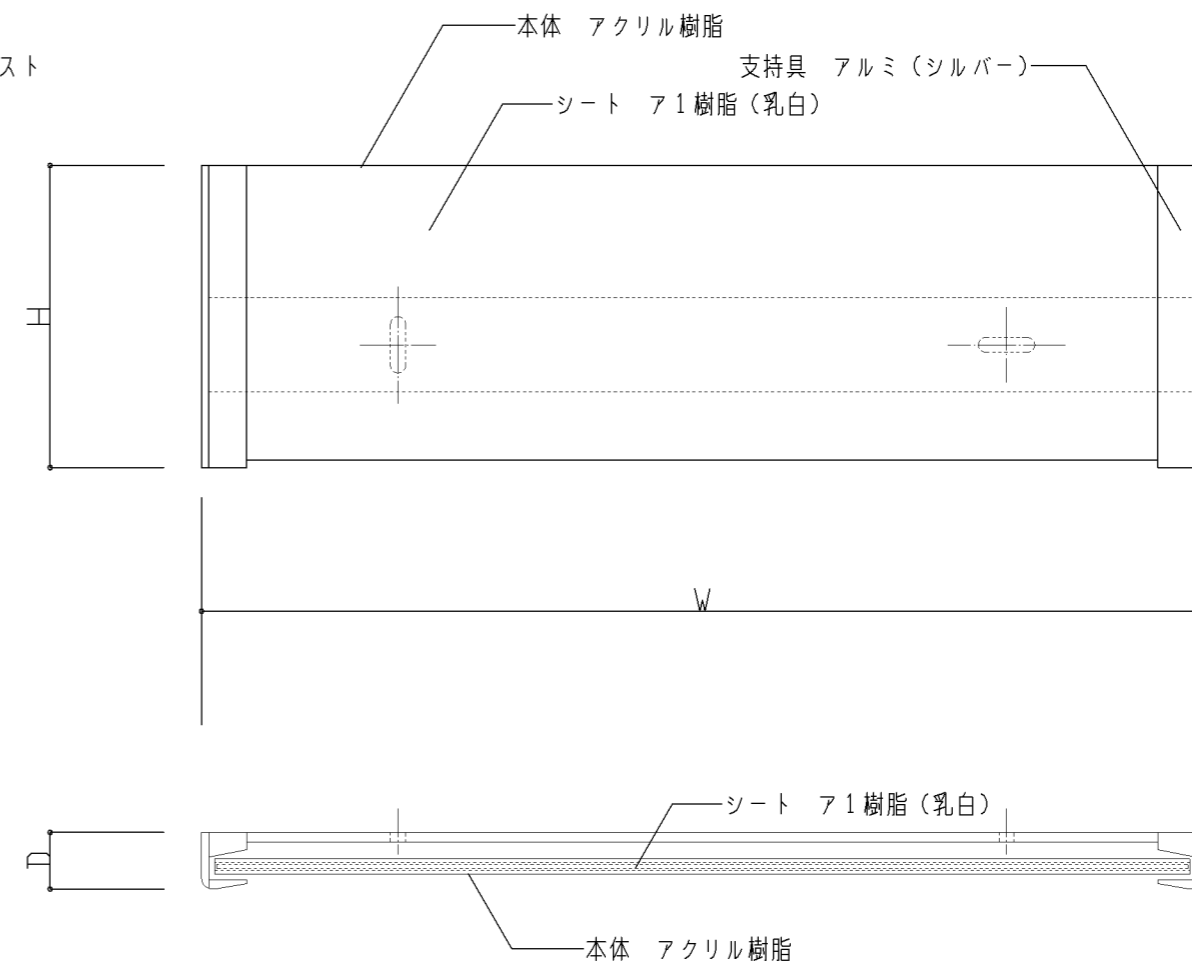
名称	化粧天板		
縮尺		記号	G-201
設計年月日	令和4年3月		

参考図

横浜市建築局



A 持出しタイプ



B 平付けタイプ

仕様

- 1)
- 2)
- 3)

特記事項

- 1) A: 小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78)
- 2) B: 中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)

設計上の留意点

- 1)

図面名称

室名札

縮尺

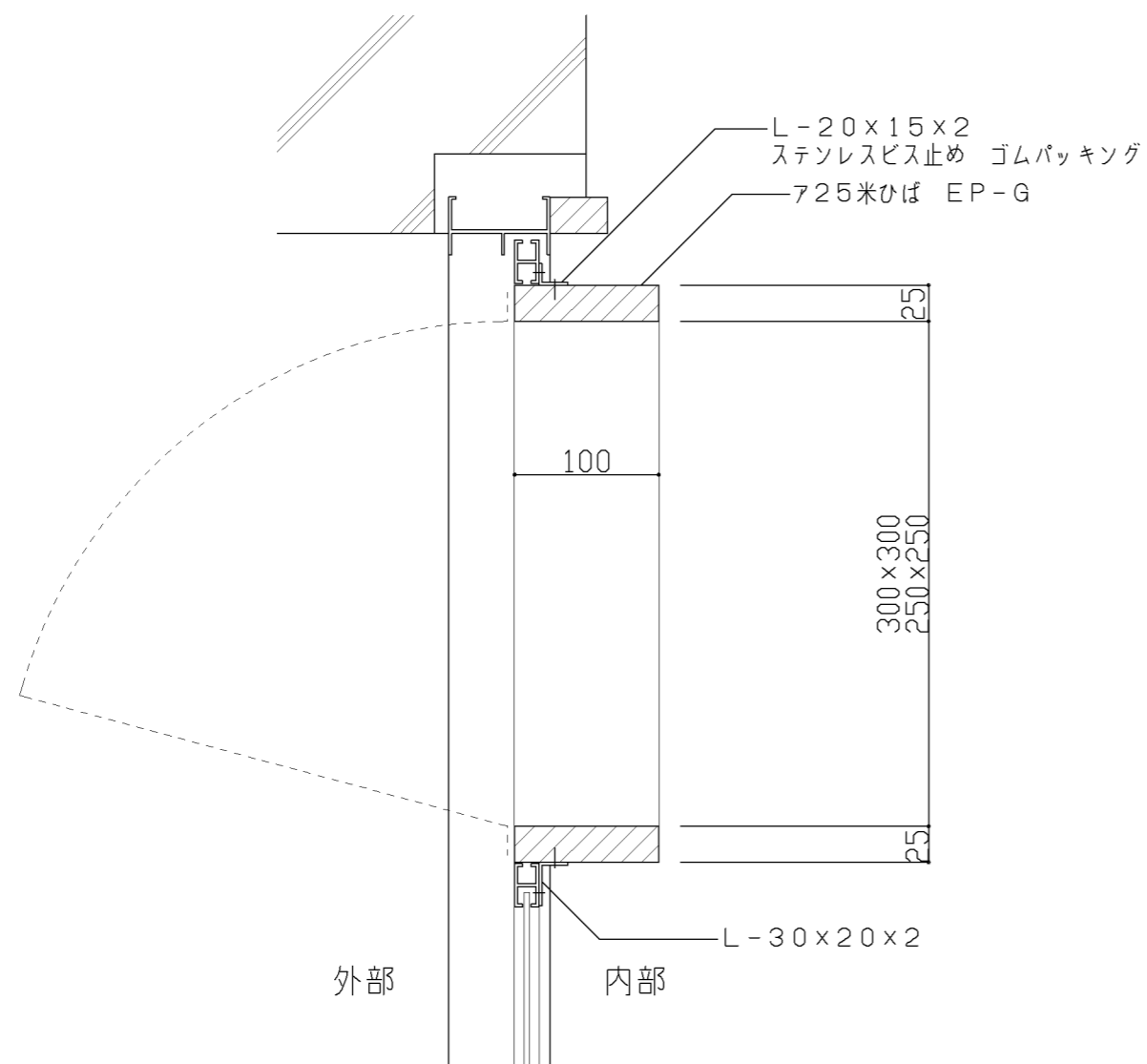
1/2

令和4年3月

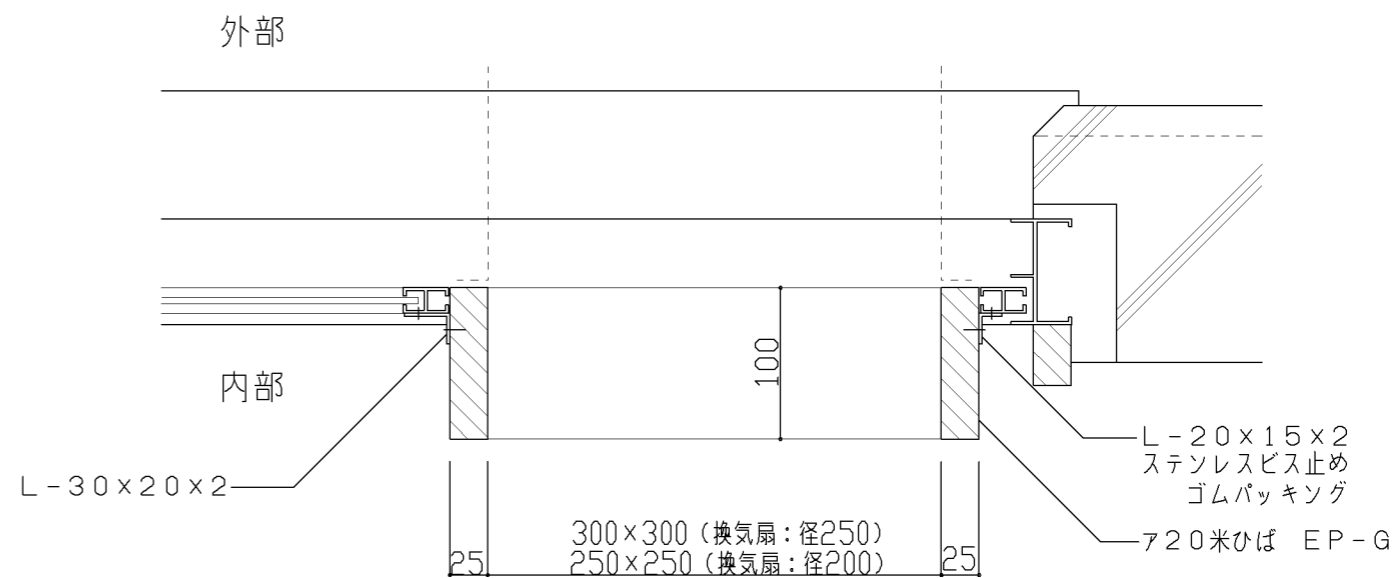
参考図

横浜市建築局

I-204



断面図



平面図

仕様

- 1)
- 2)
- 3)

特記事項

- 1)

設計上の留意点

- 1) サッシュ取付の場合のサッシュ取付枠(組子)は、サッシュ工事に含むものとする
- 2) 延焼の恐れのある部分に設置する場合には、不燃枠とする。

図面名称

換気扇枠 参考図

縮尺

1/5

令和4年3月

横浜市建築局

I-205

参考図

A、B - 天井吊りフック 1/10,1/2

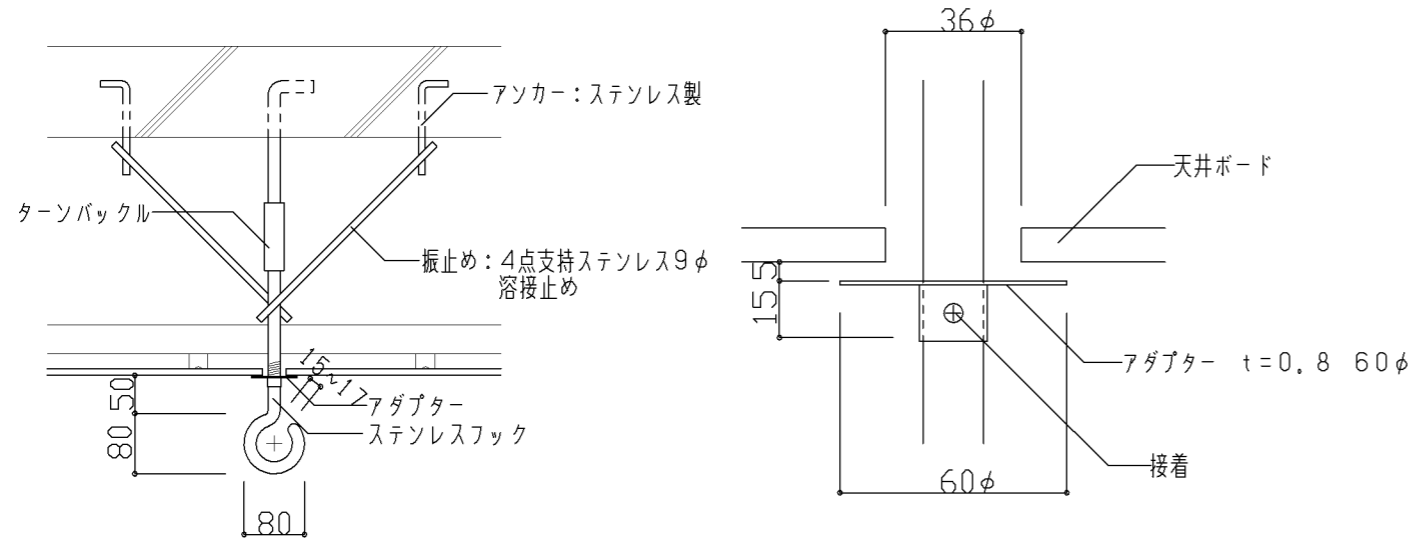
1/10,1/2

C - 柱型付フック 1/5

1/5

D - 梁型付フック 1/5

1/5

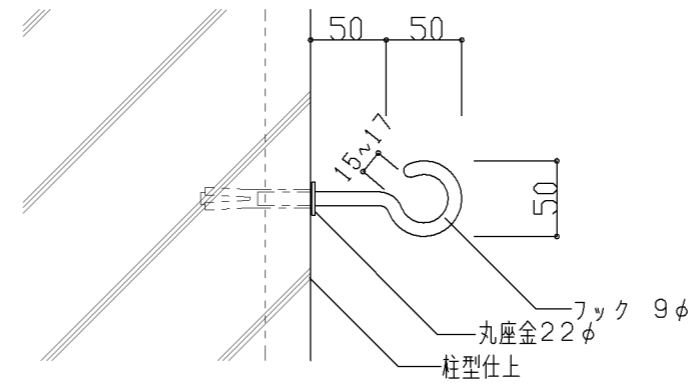


アダプター詳細図 縮尺1/2

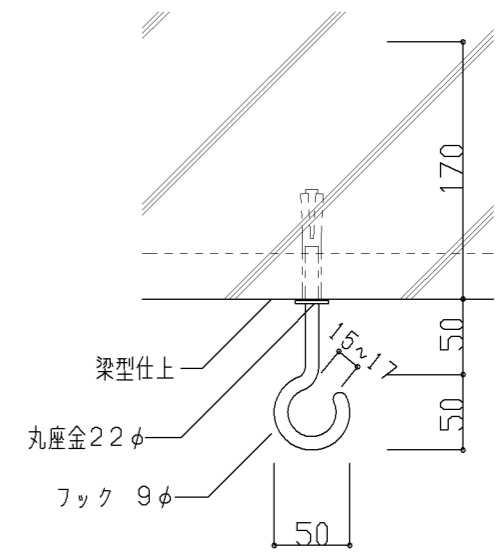
※天井材には接着しないこと

A ステンレスフック16φ:小学校個別支援教室(第二学習室)

B ステンレスフック 9φ:理科準備室・家庭科教室



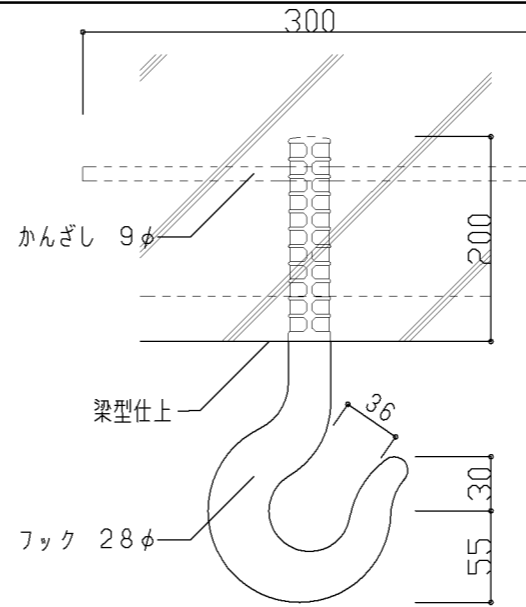
図画工作教室



理科教室

E - 梁型付フック 1/5

1/5



変電室

※ 吊り下げ耐荷重1,000kg以上

仕様

- 1)
- 2)
- 3)

特記事項

- 1) Aは小学校個別支援教室(第二学習室)に設置する
- 2) Bは理科準備室・家庭科教室に設置する
- 3) Cは図画工作教室に設置する
- 4) Dは理科教室に設置する
- 5) Eは変電室に設置する

設計上の留意点

- 1) フックを使用する物品等の形状や重量を確認すること

参考図

図面名称

ステンレスフック

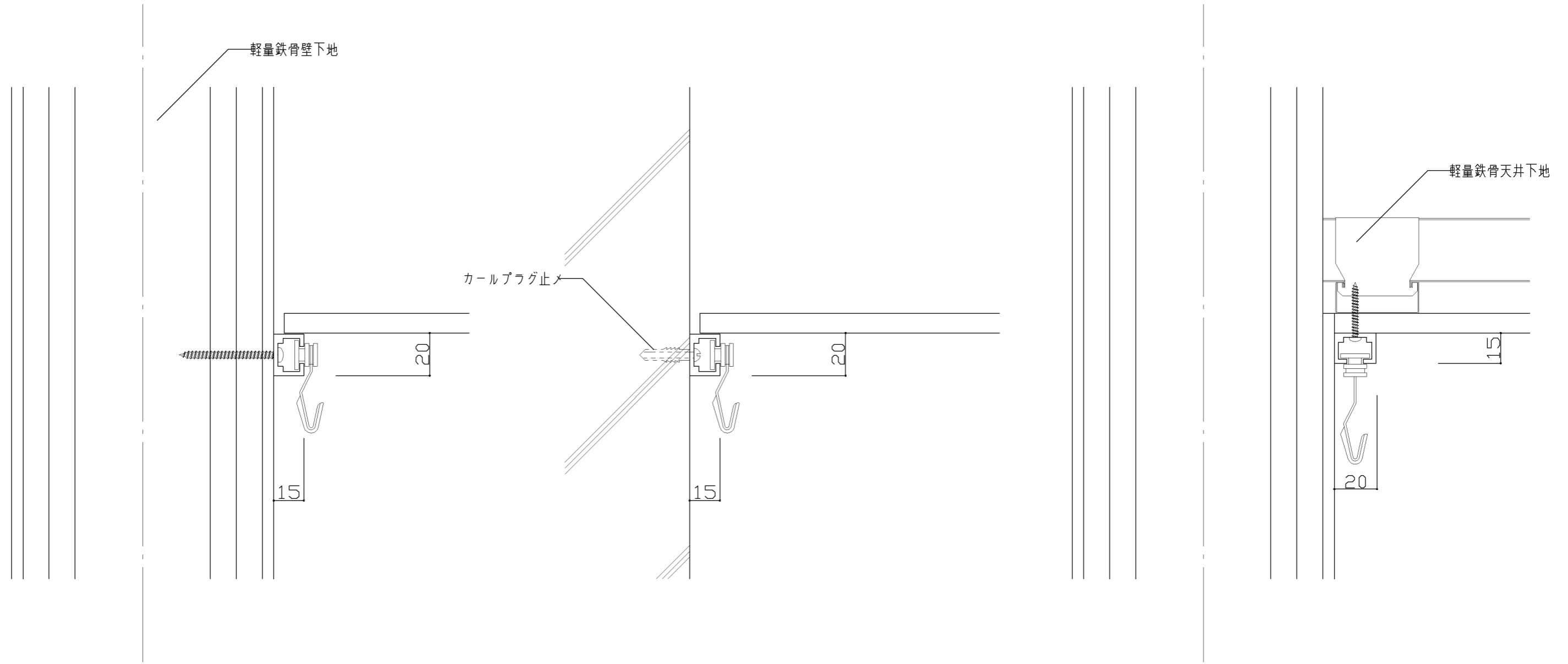
縮尺

1/2,1/3,1/10

令和4年3月

横浜市建築局

I-208



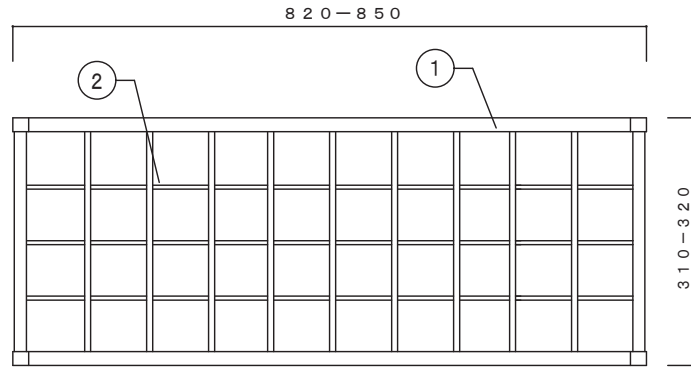
A 壁後付けタイプ（荷重：25kg程度）

B 壁後付けタイプ（荷重：25kg程度）

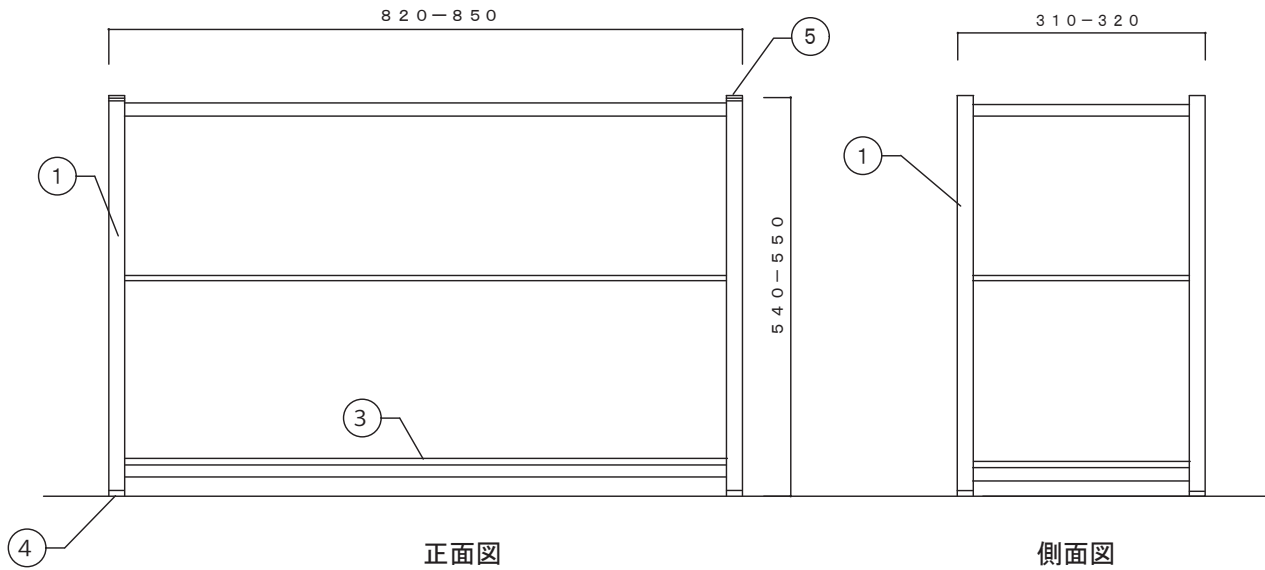
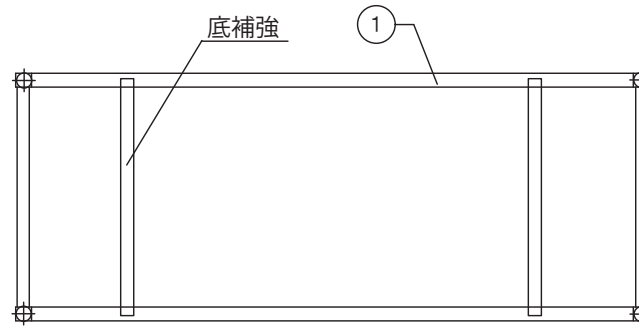
C 天井後付けタイプ（荷重：25kg程度）

仕 様 1) レール：アルミ製 2) フック：アルミダイカスト製 3)	特記事項 1) Aは、図画工作教室・美術教室・教育相談室・進路指導室に適用。 2) A・Bは、校長室用とする。 3) Cは、普通教室廊下面に適用。	設計上の留意点 1)	図面名称	ピクチャーレール	
			縮 尺	1/2	令和4年3月
			横浜市建築局		I-209

参考図



平面図



正面図

側面図

K-105C

記号	名称	材質、加工	個数
①	フレーム	角パイプ1.6×25×25塗装	1式
②	仕切棒	Φ8丸棒塗装	16
③	水受皿	亜鉛板	1
④	打ち込みアジャスター	樹脂製	4
⑤	塞ぎキャップ	樹脂製	4

40本立とする

名称

傘立て

教育委員会施設部教育施設課

参考図